夕刊 滿洲日報 七月十九日

露支折半の妥協提議を勞農側は一蹴し去る
呂督辦とチ副理事長の會見 遂に物別れとなる

【ハルビン十八日發電】東鐵副理事長チルキン氏は本國への引揚を前に十八日東鐵督辦呂榮寰氏と東鐵問題につき最後の評議をなしたが、督辦が露支協定に基き總て露支折半主義で平和的に解決を圖るべしと妥協的態度に出たるに對し、チルキン氏は折半主義ならば露國は赤衛軍を北滿に入れ露支兩軍で東鐵の守備に當るべきであるが、斷交を宣言せる今日既に遲しと逆襲し、露國の決意固く物別れとなつた露國が國際法上正當の權益擁護のため最後の手段に愬へるに際し日本の中立態度嚴守の件につき日露間に諒解成立したものと一般に解されてゐる

國民政府は十九日中に東鐵事件を中外に聲明
昨夜首腦會議にて決定

【上海特電十九日發】國民政府はロシアが對支第二次通牒を發して國交斷絕を宣言したとの報に接するや十八日夜、蔣介石、胡漢民氏等の首腦部參集して緊急會議を開き協議の結果、國民政府は近く宣言を發して東鐵事件の經過を世界に向つて聲明するとともにロシアが若し支那に向つて軍事行動に出づる場合あらば是れ瞭かに不戰條約に違反するものであるから支那は正義のため奮鬪し防衛に努めるといふことを附言し世界各國の同情を希望するに決した此の宣言書は十九日に發表を見るであらう

支那側妥協空氣濃厚 對勞農方針纏まらず

【南京十八日發電】國民政府部內には今一度兩國會議を提唱し勞農に反省を促すべしとの空氣濃厚なりと傳へられてゐる

【南京十八日發電】外交部より國交斷絕の報を受けた蔣介石氏は午後三時官邸に胡漢民、孫科、戴天仇氏等以下の國民政府要人を集め緊縮最高會議を開き之が對策につき協議し午後六時に至り漸く散會したが、各要人の意見區々で纏まらず明日王正廷氏の歸京を待つて更に會議を開くこととなつたが取敢ず張學良氏に對し國境嚴重警備方を電命した

斷交中の權益保護依賴 露支兩國より獨政府に

【ベルリン十八日發電】勞農政府はドイツ政府に對し露支外交斷絕の期間中支那における勞農の權益を保護されたき旨要求した、又支那政府もドイツ政府に對し同樣露國における支那の權益を保護されたいと申し出た、而してドイツ政府は露支兩國の要求に同意せるものと解せらる

勞農の太平洋政策失敗 支那に築いた勢力は遂に崩壞

【ハルビン十八日發電】ロシアは建國十有餘年來國力の充實を圖りつゝ國策遂行の見地から對外的には平和政策を講ぜんとして來たが、對西歐策に失敗して以來東洋は西歐を埋める穴なりとの故レーニンの遺訓に基き太平洋政策の遂行の爲め從來アウリンヨツフエ、カラハン氏等の一流外交家を支那に送り晴天霹靂の感ある一大勢力を支那に扶植し列國を驚嘆せしめたが、東支鐵道問題を轉機として今回對支國交斷絕を宣言するに至つた、斯くてロシアが千九百二十九年七月十八日を期して支那より完全に手を引いた事は種々の意味に於て國際史上に新エポックを出すものであるとされてゐる

日本の理解ある行動を望む 駐平勞農代理大使談

【北平十八日發電】露國大使館は露支國交斷絕館員引揚命令に接し天津總領事館を始め各地關係者に右命令を傳達すると共に引揚準備に忙殺されてゐるが代理大使スベルワニツク氏は往訪の記者に左の如く語つた

本國政府より今日午後對支外交關係斷絕及引揚命令に接したが鐵道不通の爲日取は未だ決定してゐない、白系露人は何等關係なくホルワツト、セミヨノフ氏等の旗揚説は全然問題ではない余等の引揚後本國政府が如何なる行動に出るか御想像の通りで十分勝算はある、露國は何れの國でも壓迫するものに對しては容赦はしない、此際日本に望む處は露國と理解ある友好關係を保たれん事である

荻川放談(69) 東支鐵道(其二)

道文支那の哈市露國總領事館捜索は縱し此必要があつたとしても其遣り口はまずい、殊に捜索の結果を東支鐵道沿線に於ける露國共產黨狩に持つて行くにも露國との國交を踏みつけた傾きがある、云ふ勿れ露國とは國交斷絕じやと、之を國民政府は云ひ得るかも知れん、併し東北四省の政權を代表する奉天官憲は現に奉露協定に基き、露國と北滿に交友の誼を保たんとするもの、此官憲から國交斷絕の口實は理に合はぬ、況んや此共產黨狩を機會に露支合辦たる東支鐵道の事業に斧鉞を入れし如き露國の憤怒を招くは當然である。

◇

尤も露國は東支鐵道に共產黨を蹇ひ、之で過去の如く再び支那を赤化せんと企て、それが奉露協定に牴觸せしことは否まれぬ同時にまた東支鐵道經營の上にも同協定を遵守せぬ點があつて支那は之に對し幾度か抗議を重ねて居る、併し共產黨狩は治安維持の爲で、東支鐵道の經營とは別箇の問題に屬す、それで縱し其共產黨狩に多少國交を踏みつけた傾きあつたとしても、露國は之に向つて餘り強くは出られまいが、これと共に別箇の問題たる東支鐵道に踏込んだので、支那は露國に抗爭の緒口を與へた。

◇

如何に露國が東支鐵道經營に奉露協定を遵守せねばとて、國家治安關係と違つて、其解決にはそれぞれ機關が備はる、若し遣大國家治安關係とともに、本問題にも解決を與へんと欲したなら、それも惡いとは云はぬが、一應は當該機關を通じて先方に其豫告こそ國際の禮儀なるべきに、支那は之を爲さなんだ、近時支那の外交は皆此遣り口で、夫れ對者に頓着なき放縱振り、支那は此等を暗黑外交と謂ひ、今これを其師匠に使向す、露國も憤怒しながらに苦笑を禁ぜられまい。

◇

こゝに露國と支那とは暗黑外交で抗爭す、誰か烏の雌雄を知らんやで、而も北滿では東支鐵道を中心に、一方が他方を互ひに奉露協定破壞者呼はりして、裏に違つた魂膽あり、乃ち支那は東支鐵道を無理に自己の掌中に收めんとし、露國は此處を極東就中支那赤化の根城たらしめんとし、睨き喧嘩の起るもこれからである、露國としては、在ゆる權益を支那に返附すると云ひし、レーニンの聲明に戻るが如き此行爲より、支那から喧嘩を賣られるは止むを得ぬが、さればとて支那が其聲明に附込んで、一たびは之が爲めに改められた東支鐵道の新協定、乃ち奉露協定を蹂躪する如きそれが褒めたことでないのみか、刻下に支那が要望しある外資なども其邊の危惧より終に支那に入らないこととゝもならん。

敵對行動を避けて滿足な回答を待つ
勞農、和戰兩樣の準備

【ロンドン十八日發電】エクスチエンヂ、テレグラフ通信社の報道によると、赤衛軍は休養地より急に呼び返された、其理由は

一、勞農が滿洲國境に策動のため有力航空隊を集中するに決した事
二、國境にある步騎タンク隊を增援する事
三、レーニングラード及莫斯科の衞戍兵を增援する事
四、和戰兩樣の準備をなし置く樣警告する事

勞農政府は此示威手段を執ると共に實際に敵對行爲に出る事は成るべく避け同政府の公文に對しては支那より滿足なる回答の來る事を待ち受けてゐる

北滿に在住する白系軍人は七萬 連絡して再起の機を待つ
前東鐵長官ホ氏談

【北平十八日發電】露支國交斷絕の急に乘じセミヨノフ將軍は北滿に分散せる白系軍人を糾合して緩衝國を建設すべく、當地獨オーストリア公使館に隱遁中の前東支鐵道長官ホルワツト氏にも蹶起を促したが、ホ氏は訪問の記者に對し美事な長髯を撫しつゝ語る

今回支那が赤露の赤化宣傳を防止する爲め起つたのは正當な行爲で赤露は世界の敵である、日本は未だ直接赤化の害毒を受けてゐないが支那が赤化すれば次で日本に侵入するは必然である此機會に日本は愼重に考慮して善處せんことを望む、滿洲シベリアには現に七萬の白系軍人があり相互に連絡して機會を待つてゐたものである、只軍資金缺乏の爲め旗擧げ困難であつたので今次余に對し頻に奮起を慫慂してゐるが、未だ其時機でないと回答してゐる次第である

英米對策協議

【ハルビン特電十九日發】十七日當地アメリカ領事は英國代理總領事を訪問し長時間に亙つて密談を遂げた模樣であるが、右は今回の東支問題に關しては列國共に頗る重大視してゐる關係上同問題に關し本國政府からの訓令に基きアメリカ領事が英國側の意嚮を聞いたものであらうと

歐亞聯絡遂に杜絕

【滿洲里特電十九日發】歐亞聯絡急行列車は遂に十八日より不通となつた

奉天の勞農官憲今夜引揚ぐ 大連經由で本國へ

【奉天特電十九日發】奉天駐在勞農總領事館は十八日午後五時駐日勞農大使館より引揚命令來着せるにより總領事代理マルテノフ氏ほか館員家族約十三名は十九日夜發大連經由歸國の途につくに決定した、不在中の事務は奉天獨逸領事館首席英國總領事ツール氏に依賴の筈、尚東鐵商業部のモロゾーフ氏は奉天滿鐵附屬地木曾町の自邸に在り、未だ我領事館に旅券查證に來らず、引續き奉天に滯在するものと觀らる

國交斷絕の諒解を求む 駐日勞農大使

【東京十九日發電】ソウエート大使トラヤノフスキー氏は十八日午後四時半外務省に幣原外相、吉田次官を訪問し露支國交斷絕の事情につき諒解を求むる處があつた

引揚赤系露人で哈市驛頭大混亂 列車毎に殺到して

【ハルビン十八日發電】メリニコフ總領事は在留民に對し十九日中に本國に引揚ぐべしと命じたので赤系露人は列車毎に停車場に殺到し驛頭は泣き騷ぐやら喧嘩やらで大混亂を呈してゐる

國境の露支兵力
赤衛軍約四萬の本據はダブリヤ 支那側の兵數は五旅

【ハルビン特電十九日發】極東における赤衛軍の兵力は全部で約四萬でダブリヤ、チタ、ブラゴエスチエンスク及び浦鹽に分駐し時局によつて守備隊は東部においてはグロデコーに主力を置きバラノフスカヤ、ニコリスク、ウスリスキーから虎林對岸に亙り西部では依然ダブリヤを本據にマツエフスカヤを前線としてゐる、又北部はブラゴエに主力を置いてゐる、之に對し支那側の國境守備は西部滿洲里には目下三旅の兵力を有し、東部綏芬並に北部黑河には各一旅で目下國境方面において示威的に對時してゐる兵數は露支兩軍とも略同數であるが武器並に戰鬪力からいへば勿論支那は露國の敵でないといはれてゐる

綏芬、虎林に支軍集中

【ハルビン特電十九日發】露國側の東部國境方面への示威的軍事行動に對抗するため、支那側でも東部沿線各地の護路軍を綏芬に集中する一方當地駐屯の第二十二旅中一團約千三百名を十六日松花江によつて虎林へ送つたが黑龍江省でも萬福麟司令は黑河、滿洲里の國境守備のため目下奉天當局と打合せ中である

吉林軍二個聯隊出動

【ハルビン十八日發電】ポクラニチナヤ國境にて兩軍衝突の入電あり同時に長春駐屯の吉林軍步兵第五聯隊及步兵第十聯隊に出動命令下り今夜寬城子より東鐵にて輸送される事となつた

張學良氏、突如消息を絕つ 歸奉途中錦州附近で

【奉天特電十九日發】張學良氏は再度蔣介石氏より至急歸奉東鐵問題に善處せよとの電命に接し十八日避暑地北戴河發歸奉の途についたが錦州に下車せるものと見え今朝までには未だ着奉せぬ、因に張氏隨行者は外交顧問胡若愚秘書長王樹翰軍事顧問干珍黨務指導委員吳鐵城等である

實行豫算繰延べ九千萬圓に上る 大藏省查定額を內示

【東京十九日發電】本年度實行豫算の大藏省查定額は十八日各省に內示されたが、夫によると節約繰延額は各省合計九千萬圓にして之に對しては復活要求をなす省もあるので其結果は尚相當の變更を見るものと觀られてゐる其內譯左の如し(單位千圓)

外務四五〇、內務一二、〇〇〇、大藏三、〇〇〇、陸軍二〇、〇〇〇、海軍一〇、〇〇〇、司法三六〇、文部三、五〇〇、農林五、五〇〇、商工一、六〇〇、遞信二〇、〇〇〇、拓務三、三八九

實行豫算審議の經過を報告 藏相、首相を訪問して

【東京十八日發電】井上藏相は十八日午後四時濱口首相を官邸に訪問し、本年度實行豫算審議の大藏省議を終つたのでその經過內容を說明して諒解を求めた

築港と製鋼所實現陳情

【新義州特電十九日發】新義州商業會議所に於ては十八日午後評議員會開催、昭和製鋼所及び多獅島築港等の重要案件を附議した結果濱口首相ほか各要路並に上京中の加藤會頭あて國家百年の大策上より愼重に考慮して是非之が實現を期すべき樣特に配慮ありたき旨打電した

三審議會の官制 十八日附で公布さる

【東京十九日發電】十八日公布された三審議會官制左の如し

●社會政策審議會官制●

第一條 社會政策審議會は內閣總理大臣の監督に屬し其諮問に應じて社會政策に關する重要事項を調查審議す
第二條 審議會は會長一名、委員十五名以內を以て之を組織す、特別の事項を調查審議する爲め必要ある時は臨時委員を置く事を得
第三條 會長は內閣總理大臣を以て之に當つ、委員及び臨時委員は之を勅命す
第四條 會長は會務を總理す、會長事故ある時は內閣總理大臣の指名する委員其職務を代理す
第五條 審議會に幹事長及幹事を置く、內閣總理大臣の奏請に依り內閣に於て之を命ず、幹事長は會長の指揮を受け職務を整理す、幹事は上司の指揮を受け諸務を整理す
第六條 審議會に書記を置く、內閣に於て之を命ず、書記は上司の命を受け諸務に從事す
附則本令は公布の日より之を施行す

●關稅審議會官制●

第一條 關稅審議會は總理の監督に屬し其の諮問に應じて關稅改正に關する重要事項を調查審議す
(第二條以下前に同じ)

●國際貸借審議會官制●

第一條 本審議會は總理の監督に屬し其諮問に應じて國際貸借の改善に關する重要事項を調查審議す
(第二條以下前に同じ)

木下長官辭任挨拶 十九日朝來連

木下關東長官は十九日午前九時半滿鐵本社を訪ひ松岡副總裁始め各理事部長と會見し辭任挨拶をなし約半時間にして引揚たが尚大連市內各方面へも同樣挨拶をなした尚滿鐵では二十日松岡副總裁以下各重役が旅順に木下長官を訪問し挨拶を述べる筈である

山本總裁の赴奉日程變更さる

山本滿鐵總裁は既報の如く二十一日着連二十三日午前九時奉天へ行く筈であつたが日程を變更し二十二日午後九時半急行にて赴奉尚奉天發も二十三日午後一時四十分大連着午後八時半に變更せられた

大觀小觀

國交斷絕の頃には既に銃砲の御見舞が飛んでゐるのが日本式。露支兩國ではなかなか簡單には參らぬ。

◇

突然毆られたロシアが憤るのは不戰條約の精神に反するさうだ。ソレで毆つた方に同情せよと世界に訴へる。

◇

斯樣な屁理窟を附けねばならぬほどの窮地に在る點にでも同情して見やうか。

◇

國民政府俄に弱音を吐く。今度はロシアが附け上る番だ。

◇

製鋼所誘致運動が漸く猛烈となつて來た。此の邊に新內閣の手加減の餘地があるわけ。

◇

明日より土用、いよいよ酷暑に入り、河童連活躍の舞臺。

天氣豫報

二十日 晴れ後曇り南東の風
日出四時四十二分日沒七時十六分
滿潮前九時五十分後十時
干潮前二時四十五分後四時四十分

各地の溫度

	十九日	昨日最高
大連	三〇、九	二九、一
旅順	三〇、九	二八、六
營口	二三、五	二四、七
奉天	二一、二	二一、一
長春	二五、四	二一、八

全國の覇權を目指し 若人の血は燃える
滿洲豫選大會迫る
來る廿三日本社で主將會議

全國中等學校優勝野球大會出場校を決する全滿中等學校野球大會は既報のごとくいよ〳〵來る二十四日より四日間本社主催のもとに擧行されること〻なつた、出場校は何れも甲子園の晴の舞臺を目ざして豫選會に覇權を覘ふものであるが、孟夏の炎威に屈せず練りに練つた妙技に加ふるに學生の本領とする純眞なるスポーツマンスピリツトを遺憾なく發揮して善戰すべく、開會の日を胸轟かしつゝ待侘つゝある、參加校は

大連商業、奉天中學、青島中學
撫順中學、安東中學

の五校で明二十日着連する青島中學を筆頭に安東、奉天兩中學は二十二日朝それ〴〵着連すること〻なつてゐる、而して二十三日正午より本社に於いて主將會議を行ひ組合せ抽籤その他につき打合せをなし、二十四日午後三時より滿倶球場に第一戰を開くこと〻なつた

清水選手の歡迎試合
組合せ決る

廿一日午後三時より中央公園滿鐵コートにて擧行される、舊日本デビスカツプ選手清水善造氏の歡迎試合の組合せは左の如く決定した

▲ダブル
清水(西山(福昌)) 澤(大連二中)河島
清水(谷岡(西川)) 小寺(滿鐵)築地
清水(曾根原(三井)) 藤田(消費)澄田(組合)

▲シングル
清水 阿部(滿鐵)
清水 小館(旅順二中)

尚ゲームは各一セツト宛にて結局五セツトマツチが行はれる譯である、臨時會員券は五十錢均一

虎疫の脅威 嚴重に檢疫する
濟南にも發生の情報 緊張して來た海務局

上海方面におけるコレラ流行情報が入ると共に當地海務局においては頓に緊張の度を加へ、今後上海方面より入港の船舶に對しては嚴重な檢疫を加へあやしいものに對しては檢疫する事になつた、一方濟南方面にもコレラ流行の情報があるが元來コレラ菌は潜伏期日が三日位であるから濟南方面よりの來連者は恰度大連入港時位に發病する勘定となるので海務局でも油斷は出來ないと云つてゐる

陸軍航空隊 新記錄
爆撃機平壤から歸還

【濱松十九日發電】三方ケ原平壤間長距離飛行の濱松飛行第七聯隊爆撃機は十八日歸還飛行の途に就き午前五時二十五分平壤を發した百二號重爆撃機は千三百五十キロを一氣に飛翔して午後二時五十五分無事三方ケ原に着陸した、飛行時間八時間半で往路に比し二時間を短縮し陸軍航空隊長距離飛行の新記錄を作つた 輕爆撃機三機も午前十一時十五分太刀洗着ガソリンの補給をなし午後零時四十五分發午後五時十五分三方ケ原に歸還した

自動車を告發
埠頭の取締り

交通事故頻發の折柄當地水上署においてもこれが取締上十八日定期船入港時の雜沓中、群集まるタクシーを片端より點檢したが乙種運轉手にして特定の車體以外のものを運轉しつゝあるもの、車體の手入不充分なもの、勤務先が移動しても所轄警察署に未屆のもの等違反者九件を發見、直に告發つ處分に附した

仁川沖の海戰を偲ぶ 旗艦千代田の檣
朝鮮博に海軍省からの出品 閉會後は仁川港頭に

【京城特電十九日發】八月七日仁川に入港する特務艦「青島」が積載して來る朝鮮博覽會海軍館への海軍省出品物のうちに古色蒼然たる軍艦マストが横はつてゐる筈である

此のマストこそ、明治卅七年二月九日の有名な仁川沖の海戰にワリヤーク、コーレツ、スンガリーの三艦を撃破した瓜生司令長官が坐乘してゐた旗艦「千代田」のそれである 星霜廻つて既にふた昔の今日、老艦のマストに對して仁川府では追憶を新たに、今更の如く當時の武勳を偲ぶの情に堪えず、博覽會の終了を俟つて此のマストの下附を受け仁川港頭に建設することになり「青島」の入港に際してはマストに對して熱誠罩めた出迎へをする筈である

交通地獄を生む通行人

交通地獄の事故防止策の一助として河原巡査部長が折角創案して建てた常盤橋十字路の標識板をすぐ目の前に控へた信濃町市場前、街路通行のこの不秩序亂雜さはどうだ、標識板の「左側勵行」の文字が災天下に哭きながら附近の交通巡査に愬へる「これではねエ、事故の發生しない方が寧ろ不思議ですよ」【寫眞は信濃町通行人の不秩序】

築堤破損で 徒歩連絡
洮昂線の一部

洮昂線江橋大興間の嫩江增水のため築堤約三十米突が十九日午前十時頃破損し列車の運轉不可能に陷つた恢復までには約十日を要する見込みである尚同所は目下徒歩連絡をなして居る

女給卅一名 召喚説諭
風紀を紊す者と無鑑札

最近大連のカフエーの女給が濁物の魅惑的な姿態を武器とし一層風紀を紊すものが多くなつたので大連署では數日前から高等特務をして内偵せしめてゐたが之れ等は主として無鑑札の女給に多い事判明したので十八日午後八時から十九日午前二時までの間、左記の者を順次呼び出して嚴重説諭する處あつた

逢坂町東バー岡田シズ子(二九)▲常盤橋中央食堂岩田モセ(一七)▲同バツカス福田カツ(一五)同吉崎松子(一八)同金子敏江(二二)▲信濃町チドリ上村花子(二〇)▲磐城町ロンドン鈴木葉子(一五)同小松秀子(一六)同安永アサ子(一六)▲岩代町樂食堂田邊ナカ(二四)▲磐城町ギンネコ伏見芳子(一八)▲信濃町ダイヤ大坪スゞ子(一七)同三谷ヨシエ(二三)▲磐城町青山カフエー堀藤ミツヨ(二〇)▲信濃町遊東カフエー本田トミヨ(二二)同廻船ヒサヨ(一六)同森川サツ(一九)▲信濃町黒猫小山シス(二二)同野田信子(二二)▲三河町オリオン小林アサノ(二一)同木下キヌ(一八)▲二葉町赤オニ吉川テイ(一八)▲奥町リリー金子ツカヨ(一九)同大黒英子(一六)同小野ハツヱ(二二)同倉屋シズ子(三〇)同平木マスヱ(二二)同松村ヒサ子(一九)同西本キミ(二三)▲春日町夜明村上トミ子(二二)

入江と羽月も 贈賄に決る
一段落で收監中の兩名保釋
水産不正事件の取調

水産不正事件に關し池内檢察官は既報の通り十八日午前十時から大連乃木町七鮮魚仲買業入江琴次並に西通り一〇四漁業羽月治郎兵衞の兩氏を證人として召喚、種々證言を徵する處あつたが、更に午後收監中の關東廳水産技手柳生大三郎を呼び出し取調べた結果前記兩名の罪狀明白となり、十九日いよ〳〵兩名とも贈賄に決定した

入江の罪狀は昨年十月所有船入江丸に關東廳より補助金の下附を受くる際柳生に對し吉野町大連亭並に浪速町ほていに於て遊興の贈賄を行つたもので羽月の罪狀は昭和二年所有船滿洲丸の船體檢査を受ける際並に昨年第三一清丸、第五一清丸に關東廳より補助金の下附を受ける際、別府並に柳生に對し華濃町新喜樂並に春日町つるやに於て遊興の贈賄を行つたものである

尚取調べの進行と共に全部の罪惡が擧つて證據湮滅の虞が無くなつたので收賄で收監中の水産會評議員老虎灘漁業高橋德藏および鐵山貞藏の兩名は十九日夕方保釋出獄を許される模樣である

人殺し
自動車判明

去る十六日小平島に於いて支那人を轢き殺し其儘逃走した自動車の行方に就いては當局に於いても極力搜索中十八日午後二時聖德街五丁目ホマレタクシー沙六六の自動車に不審の點があるので運轉手津野久衞(二〇)及び助手河野順一(一八)を引致し嚴重取調べたる處遂に加害者たる事を自白した

尚運轉手津野は轢き飛ばした際停車もせず逃走し助手にも固く口止めして居た者で過日も薩摩温泉前で妙齡の婦人を轢き未解決の儘の、事故常習犯で警察でも注意中の者であつたと

西伯利經由で Z伯號飛來
日本からも數名搭乘

【東京十八日發電】十八日ツエツペリン伯號飛行船飛來に關し獨逸政府より我航空局に對して通達あり、日本領土通過に關する許可及び着陸の許可を依頼して來たが それによればツ伯號は最初エツケネル博士操從の下にフリードリツヒスハーフエンより米國のレーキハーストに飛行し同地より東廻りに世界一周飛行を開始する即ち着陸地はフリトドリツヘヒーフエン、東京、カリホルニヤ、レーキハーストの四地點である

我國への航路は獨逸より西伯利を經て飛來し三日間滯在の後、千島アリユーシャン列島を經て米國に飛行する筈である

我陸海軍遞信各當局等の準備も既に成つたが乘組員は約三十名と旅客十四、五名で日本からは將校一名及で大朝大毎電通記者も搭乘する筈で起點レーキハースト發は八月始めとなる筈である

晴衣をつけて 短氣な自殺
養女との折合が惡く 離婚する筈の人妻が

十八日午後四時頃沙河口霞町四七滿鐵工場仕上工水口太郎―假名―方に於て異樣な臭ひがするので近隣の人が不審に思ひ扉を捻ぢ明けて調べた處家中一杯にガスが充滿し八疊の部屋には妻キヨ(二)が晴着に身裝も整然と打伏た儘人事不省に陷つてゐるので直に應急手當を施したが絶命した

自殺の原因は水口家には元來子が無い爲本年五月夫の姪ユリ子(一七)―假名―を養女に貰ひ受けた處娘とキヨとの折合が旨く行かず絶えず風波の絶え間が無かつたが、此程キヨは離婚し千九百圓貰つて家を出る事となつてゐたが何時迄も金が出來ない爲氣短のキヨは斯く自殺を圖つたものであると

自轉車取締り

小崗子署に於ては十七日より一齊に管内自轉車取締をやつたが十九日午前中に既に科料一圓に處せられたるもの三十四件、其内大部分は音響器の不完全が多いと

第四夫人と同居の 褚氏はどうなる
劉氏が歸烟して處分

芝罘より來連せる支那要人の談によれば謎の人褚玉璞氏は最近同地劉珍年氏の別邸に移され大連より赴ける第四夫人と同居中であるが赴平した劉珍年氏は蠻に部下をして卷きあげしめた身の代金五十萬元及び褚氏生命の處分方につき蔣介石氏より何等かの指示をうけしもの〻如く十九日頃芝罘に歸任の筈で北平に於ては褚氏を釋放するかの如く傳へ芝罘に在る劉軍の幹部は恐らく銃殺されるであらうと見てゐると

繪筆に親む名流夫人 華鬘草社作品展
けふから三越で開催

滿鐵理事夫人梅野、藤根同理事夫人安子、石本美子、西野のり子、吉富君子、田中八重子、田中せつ子、向坊つま子、上田清子、國松義子(撫順)前田なつ子、船田春野、古川藻子、三宅鶴子等の各夫人令孃十四名が今回「華鬘草社」なる同人會を創設、日頃親める繪筆の習作など持ち寄り十九日より廿一日まで三日間三越呉服店樓上に於て第一回展覽會を催し十九日は特に招待日とし各方面へ案内狀を出し鑑賞を乞ふたが、出品數は九十三點で一人三、四點づゝを出展してゐるが何れも女性の優美さがトアルの上に反映して就中三宅鶴子夫人の作品など素人ばなれした却々の出來榮えで目を引いた(寫眞は會場)

駒ヶ嶽再び爆發
今曉又復大鳴動して

【函館十九日發電】其の後緩漫なる噴煙を續けてゐた駒ヶ嶽は十九日午前零時又復大鳴動と共に噴煙を開始し大混亂を極めてゐる 降灰甚だしく午前九時には降灰猛烈を加へ熔岩の流出甚だしき爲め山麓の留澤北部地方は逸早く避難

棍棒强盜
周水子を襲ふ

十九日午前二時ごろ大連管内周水子會南山郭家屯八農業郭清芝かたへ棍棒を所持せる苦力風體年齡三十歳前後の四人組支那人强盜現れ中一人は表玄關に見張をなし二人は暑氣のため明けてゐた窓より侵入し表戸を開き更に一人を招じ入れ都合三名は就寢中の郭を叩き起し棍棒を突き付けて脅迫し依頼箱の中なら小洋十元、衣類十五點時價百圓を强奪・折柄の暗に紛れて悠々逃走した

午前五時屆け出により大連署より星司法主任、上郡山刑事部長以下オートバイを飛ばし現場に急行したが、事件後既に三時間を經過し賊等逃亡の後とて發見に至らず目下各方面に手配搜査中である

編物手藝の 講習會
尼子女史招聘

滿鐵社會課及大連市社會課主催、本社後援の下に今回尼子式編便手編機の創案者である尼子松代女史を招聘して經濟的で趣味に富んだ編物手藝研究講習會を開催するが開會に先だち二十二日午前九時より午後四時まで常盤町市社會館に於て同女史の製作手藝品百餘點の展示を行ひ同時に「婦人と手藝」に就て同女史の家庭講演會を催す筈

研究講習會は來る二十三日より三十日まで一週間毎日午前九時より正午まで〻場所は市社會館會費は二圓で申込は社會館である

尚は講習會終了後八月四日午後九時より午後四時まで會場に於て同會の製作品展覽會を催し希望に應じ廉價にて販賣もする事になつてゐる

滿洲豫選 參加チーム物語【五】
運動精神を目標に 侮り難い實力
連日血の滲むやうな猛練習
撫順中學チーム

「勝敗は眼中にない、意氣と熱との化身となつてスポーツそのものを最後の目標に精進する」と監督の人は言つてゐるが、其の實力は可なりに充實したものである事が知れる

創立日尚淺くしかも本年度のチームは全然今春新しく組織されたものであり其の練習の苦さも察するに餘りはある、今春來清水、勝木兩氏の熱心なコーチと西本教諭の涙ぐましい指導によつて連日血のにじむ樣な猛練習をつゞけてゐる、撫中四百健兒の名譽を双肩に擔ひ炎熱九十五度の炎天下で汗と土に顏の見分けもつかなくなつた十數名の野球部員は今やフリー、バウティングに精進してゐる。

◇―◇

寺西、佐土原、加藤そう云つた連中が遠慮容赦もなく素晴らしい長打をカン〳〵と憂飛ばしてゐる、打撃の練習がすむと少しの休む暇もなく直とシートノックが開始される、捕手寺西は齡僅十八歳にしてしかも身長五尺八寸、體重二十六貫の巨軀を利して一軍を叱咤し糸を引いた樣な眞直な球を二壘に投じてゐる、本大會の花形であらう、清水コーチの猛烈なノックは選手の疲れを問題にせず、倒れてしまふまで續けてゐる。

◇―◇

内野の守備では吉野主將が矢張り一段と光つてゐる、確實な其のゴロの構へ、外野は揃ひも揃つて駿足を集め何とかして敵の長打を喰ひ止めんとしてゐる。然し何と言つても同軍の一番の强みはバツテリーではあるまいか。巨漢寺西に配する第一投手下田はインシュートのスピードボールと外角に大きく落ちるアウトドロップに眞正面から三振主義に改めんとし、第二投手生田はオーバースローの速球を時に交へるスローボールに依つて投手の第一要件とも言はれるチエインヂ、オヴ、ペイス(緩速交々主義)の巧味を發揮し將に下田を凌がんとしてゐる。」

◇―◇

兄貴分とも言ふ可き全撫順の試合を常平生に見せられてゐる同軍に走壘の拙からう筈はなく、所謂試合上の駈け引にも玄人筋を驚かすものがあるであらう何れにしても熱と意氣とを誇りとし學生チームの本領の發揮を目的として今夏初めて參加する撫順軍が健鬪の日を心からして待つてゐる。

◇…去る十日に通遼監獄に收監中の未決囚十一名が共謀して土塀に穴をあけて脱獄したのを發見し三名を逮捕したきりで大騷ぎをしてゐる【鐵嶺】

◇…京城放送局では新しい試みとして明廿日に仁川デーを催し今後引續き各地の地方色をラヂオで紹介すると【京城】

◇…大連東山町三福昌苦力收容所二九號王振揚かた苦力張明揚(二三)は氣狂ひじみたこの頃の天候で精神に異狀を來しこの十三日頃から病勢昂進し家人の隙を見ては戸外に飛び出し通行人を拳骨で毆打し或は刄物をふり廻して傷害を加へるので十九日大連署の手で伏見臺の瘋癲病院に收容した

平安異香（54）

葉多默太郎作　中一彌畫

陷穽（六）

「昨日誰か使廳から來たさうですね」

邦貞の態度は短刀直入的だつた利刃を擬して父の懷中へ飛込む——そんな風な態度だつた。兵は神速を尚ぶと兵法にある。一氣呵成に敵陣へひた押しに押して行つて、敵に逃げ口實を考へる暇を與へず一擧に春光赦免の命令書を書かせよう——といふのが、使廳から邸までの馬上で覺悟した邦貞の、父に對する手段だつた。

で、父の顏を見ると直、邦貞は唐突に使廳の判官小串範行の話を持ち出したわけで、流石の師輔も自分の不品行を子に指さゝれて狼狽するかと思つたが、陰謀書策をもつて處世の秘訣と心得てゐるらしい師輔だ、生白い自分の子供に擧足をとられてまごつくやうなへまはしない。邦貞の鋭鋒を輕くかはして、

「あゝ來たよ、判官の小串範行がやつて來た。が、それがどうかしたのかな」

さらりと流して、事もなげに微笑んでゐるのだつた。

邦貞も負けてゐない、折返し二の矢を番へてきつて放つ——。

「あなたは私をお僞りになりました。先日蒔繪師是信の娘のことに就いてお願ひした時、娘を召すのは止さうと約束して下さつたのでしたね。立派にさう仰しやつておきながら、暴力で以て娘を誘拐なさつた。しかも——」

「待て待て——誰が娘を誘拐したといふのだ？」

「あなたがです。お父樣がです。私には斷念すると約束をしておきながら……」

「待て〳〵。さう激昂してはいけない。何とかいふ若い男が、そんな事を云つて使廳へ訴へて行つたさうだが、それは邸の三左衛門がいつたのだと云つてゐるさうだ。で、昨日範行からそんな話があつたので、三左衛門を呼んで訊いてみたが、奴血相變へて怒つてゐたよ。何かためにする所のある奴に相違ない。怪しからぬ若僧だと云つてな」

「さうです。使廳へは三左衛門を訴へて出ました。だが我々は——」

「待て待て邦貞、その我々といふのは何だ」

「訴へて出た當人の宮部三郎春光と私とです」

「ふむ、成るほど——それで？」

「我々は始めから娘を奪はせたのはあなただと知つてゐたのです。が、あなたに反省をして頂く餘地をつくつておく爲に、わざと三左衛門を訴へたのです。それも、訴へたのは春光ですが、かういふ手段を提議したのは私でした——春光はたゞ……」

「馬鹿なことをしたものだな——」

師輔は太い眉を寄せて、吐出すやうに云つた。

「實に馬鹿々々しいことだ。も少しおぬしには思慮分別があると思つてゐた。實に輕率極まる。邦貞將來もあることだ、もう少し考へてくれなきやいけないぞ。わしはおぬしにとつては甘い父親だが、それだけがわしの全部ではない。同時にわしは檢非違使の別當といふ要職にある師輔だ。その間の消息も考へて……。それにだ、此度のことなど全然わしは知らない。どういふところからそんな想像が生れたのか知らないが、わしには迷惑千萬な話だ」

「さうなりたいのです。私共の見込が見當はづれであることを祈つてゐるのです。誰が自分のうみの父が、處女を誘拐して、野獸に等しい行ひをしようとしてゐるなどを信じたいものですか——」

「野獸——」

「怒らないで下さい。決してお父さんと指してゐるのではありません。そんな破廉恥なことをする人があれば野獸に等しいといつたまでゝす。私は飽くまでもその野獸をつきとめて、可憐な娘を救はねばおきませぬ。だがそれよりも先に、私は春光を救ひ出さねばなりませぬ。それでお父さんのお力をかりに來たのです。春光と協力して娘の所在をつき止める事が出來れば、自然お父さんの嫌疑は晴れるわけですから、あなたは喜んで春光赦免の命令書を書いて下さるだらうと思つてゐるのです。御異存はありますまいね」

邦貞は一氣呵成に衝きこんで行つて、じつと父の肉肥た顏の動きに目を注いだ。

＝蜂須賀小六＝

第一篇 長江半之丞八巻を見た。監督は高橋壽康主演の新妻四郎は此の篇中に於ては何等考へを持たせる程出演して居ない。唯だ其の偉大なる體格と特殊な容貌によつて觀客をして戰國時代の豪者蜂須賀小六を偲ばしむるには充分であつた。實質上の主役になつた楠英二郎は長江半之丞としての容姿必ずしもこれに適しては居ないが、其の表情の適確さでこれに應へた所は賞讃ものである。中村登政志の針賣少年は殊によると俳優中第一の出來だつたかも知れない。

◆此の映畫の脚色は功罪半ばして居ると見てよからう功はあの割合に起伏に乏しい長い小説の中から映畫的な、と云ふよりは大衆劍劇映畫的な事件だけを巧にピックアップした事と全篇に見られる良き省略とである。缺點は長さに制限された故か事件の發展が少しチヤチすぎる事と亂鬪のための亂鬪に溺れすぎた事である。監督としての高橋氏は前半に於て松之助時代に見る如き古い手法を見せて悲觀させたが後半に於ては巧みな場面の轉換に樂々とした氣持よさを感じさせて居る。

◆此の映畫で最も觀客の心を惹くものはカメラの巧みな驅使である。唯濟暗明を用ひずして全部ダブルで通したのは少々鼻につく。◆とにかく絶對的大衆劍劇映畫である【島田生】

ゆふべプラチナでパテーベビーの試寫會を催し阪妻の「影法師」封切▲近日公開の「敵」公開の「東京行進曲」は遂に次週公開と決まる▲南帝國館主は十七日に歸連したが土產は何か？西洋物蕃殖説が傳へられてゐるが▲演藝館で次週上映する「敵討道中双六」は帝キネものとしては未曾有の本格的映畫だとのこと▲映畫人秋村宇野湖君近く安東へ轉職するとのこと名物が一つ減る淋しさ

四重奏團來演

杉山長谷夫氏を中心とする室内樂の權威ハイドン、クワルテットは來る八月一日東京驛發滿洲地方の巡演に赴くことゝなつた、巡演豫定地は大連を振り出しに奉天、撫順、ハルビン等であるがメムバーのうち多忠亮氏病氣靜養中なので樂部の安倍季巖氏が代役を引受けることに略決定した

滿洲日報

子規全集

子規の人格と藝術は現代に聳立す。彼の把握は現代人の尤も高貴なる任務だ。彼によりて人生の本源を摑め!!

—實物縮寫—

今直ぐ最寄書店又は本社にお申込下さい

第一回配本
隨筆篇
目下配本中

次回配本
第九卷 隨筆篇(下卷)
壹々五百數十頁

全十八卷 一冊一圓

改造社
東京芝區愛宕下町 振替東京八四〇二
電話芝 自一一一一 至一一二四

本日〆切

遠隔の地は本紙御覽次第御申込下さい

相馬御風著

義人生田萬の生涯と詩歌

四六判 三八〇頁 定價壹圓八拾錢 送料十二錢

天保年代の大饑饉に際し、身を以て越後の窮民を救つた義人生田萬の悲壯な生涯と、その詩歌の一部を世に傳へんが爲に相馬氏は此書を編まれた。大鹽平八郎と併稱される慷慨の人生田萬は、歌人としては驚ぐ可く純美悲痛の境地を拓いてゐる。茲には、其兩面が著者の感激深い筆で、遺憾なく說かれてゐる。猶、卷末に添へた生田萬を取扱へる講談は、まことに得難き珍本である。

相馬御風著
一茶と良寛と芭蕉 價一・八〇 送料・一四
良寬坊物語 價一・八〇 送料・一四

吉江喬松著

自然讀本 全三冊

四六判 上製
▼[第一卷]價一・五〇 送料・一二
▼[第二卷]價一・八〇 送料・一四
▼[第三卷]價一・〇〇 送料・一〇

(一)春・夏
(二)秋・冬
(三)自然論

人間界の狂燥汚濁を他處に、自然は飽く迄美しい。そして自然は、みづ〳〵しい、柔かな、情緒にみちた呼吸を我々の生活の中に吹き入れる。我々を甦らす自然、我々に希望を與へる自然、吉江氏は、その愛深い觀照と味ひある筆致とを以て、この自然を、靜かに茲に再現した。春、夏、秋、冬の、それぞれの相と特色とが、流麗の筆につくされてゐる。「自然論」は、自然の歷史的硏究であり、自然と文藝との關係を說いたものである。海へ、山へ、——自然に最も親しむべき時、特に本書の愛讀を祈る。

山邊習學著

釋尊とその弟子達 全二冊

四六判 上製 定價(各)壹圓五拾錢 送料(各)十二錢

本書は、「佛教概說」「救濟教主世尊」及び「教團の人々」の合本である。何れも著者の心血を注げる名著であり、「佛教概說」に於ては、廣大深遠な佛教の敎理を、巧みにその眞髓を捉へて平易に要約し、「救濟教主世尊」に於ては、一切衆生濟度のため、無限の精進と法悅とに終始せる世尊の生涯を說いて遺憾なく、「教團の人々」に於ては、過去二千年の久しきに亘つて人類の精神界を支配した佛教思想の普及のために、その一生を捧げた譽れ高き佛弟子達を細敍した。正しく佛教を理解し、興深くその眞理を會得する上に於いて、本書は絕好の快著である。世に佛教の書は數多いが、斯くの如く概括せられて平易なるはない。類書中の白眉として之を廣く天下に推薦する。

春秋文庫

一冊五拾錢

▼晩近の心理學に限り壹圓
三五判總クロース 送料一冊八錢

ギッシング著 藤野滋譯 ヘンリ・ライクロフトの手記
デ・クェンシィ著 辻潤譯 阿片溺愛者の告白

◇既刊書◇

▼永井潜著 科學的生命觀
▼出井盛之著 經濟學說史
▼久保良英著 晩近の心理學(壹圓)
▼阿部重孝著 教育學
▼入澤宗壽著 教育史
▼高野辰之著 民謠童謠論
▼美濃部達吉著 選擧法概說
▼宮島新三郎著 文藝批評史
▼住谷悅治著 社會主義經濟思想史
▼瀧本誠一著 日本經濟學史
▼深作安文著 倫理學概說
▼荻原井泉水著 俳句趣味論
▼五來欣造著 政治哲學
▼賀川豐彥著 宗教教育の本質

以下續々刊行

目錄進呈

東京・麴町・內山下町
振替東京二四八六一
電話銀座五六五二・五六五三

春秋社

更に大增刷!! 〆切後も申込殺到す!!

一平全集 第二回配本

漫画漫文小說集(第三卷)

行く處・座する處・山に海に・必ず一平全集を・そして此の愛とユーモアの明るい避暑地に銷夏しませう

單行本四冊以上の內容 時價八圓のものが 一冊壹圓三十錢

●へぼ胡瓜 ●ござう地獄
●泣虫寺の夜話 ●深川踊の話
●漫畫の世の中 ●佗びしき時は汽車ごつこ
●泥醉漢の始末書 ●お稽古の中止
●指一本

三色版口繪入 約五百頁

第三回配本
第五卷
探訪漫画集
紀行漫画集
スポーツ漫画集
八月上旬配本

○富田屋八千代を觀る記—紛釣見本—殿様の猟狩—大阪界隈—東京及復興篇—舊東京の回顧—大阪スケッチ—海の底へ—鯨を獲る記—嫌打見物—足尾銅山—京都の神社佛閣めぐり—赤城小品—海邊雜記—柄の津の鋼網その他數十篇
○往く春を追ふて—欠伸をしに—犬社詣り—今の東海道五十三次—赤城へゆく迄—新らしい袍抱えて—霧中漫旅行—近江八景—安房上總—濱名湖めぐり—二人の旅—善光寺めぐり
○學生スケッチ—取的時代—馬の稽古—相撲の稽古—富士騎馬登山試乘記—怪物取組取組囊譜大會雜興—寶贊がられる學生—髥の女學生(その他數十篇)

細民哀話

椎名龍德著

病める社會

定價壹圓八拾錢 送料十二錢

其日の糧を得られる方は幸福です。この書を讀んで哀れな人達のために泣いて下さい。著者は一行書いては涙し、二行書いては儘ならぬ浮世を嘆ぜしといふ世にも尊い實話集です現代無上寶の修身訓話として全國小學校女學校より團體注文が殺到してゐます。

目次

罪の審判——親の無い子——涙に癲く母性愛——落ち行く女性に救ひの御手——子故の闇路——さ迷ふ小羊——世は様々——明るき世界に出でて——巣立のあと——悲しい追想は——病棟は二葉より香し——不思議な婦人——弱き者は泣く——育てる其の頃——廻り合ふまで——病める社會に惱む特殊兒童に就て

賜天覽台覽
參拾版

先進社
東京・本鄕・駒込・上富士前
振替東京六五二三八番

最新刊

坂崎坦著 日本畫論大觀 實價十圓五十錢送料三十六錢
大塚政長著 增補 販賣廣告政策 實價四圓二十錢送料二十[illegible]
矢野恒太著 日本國勢圖會 實價一圓五錢送料十四錢
岡本一平著 指先人形 實價一圓五十七錢送料十[illegible]
荒木米一郎著 三十三日世界一周 實價一圓三十六錢送料八錢
長谷川時雨著 處女時代 實價一圓三十六錢送料十[illegible]
鹽田力藏著 近代の陶磁器と窯業 實價三圓六十七錢送料十二錢
饒平名智太郎著 性の跳躍 實價一圓二十六錢送料六錢
子母澤寛著 新選組遺聞 實價二圓十錢送料十二錢
滿川龜太郎著 ユダヤ禍の迷妄 實價一圓五十七錢送料八錢
水谷次郎著 幕末外交と井伊大老の死 實價一圓五十七錢送料八錢
島崎藤村著 新選島崎藤村集 實價一圓五錢送料八錢
田中忠夫著 支那內國爲替 實價二圓六十二錢送料六錢
尾山篤次郎外一名著 昭和一萬歌集 實價二圓四十七錢送料十二錢
南信好著 英和商業法政經濟辭典 實價五圓四錢送料十八錢
熊崎健翁著 戀愛の神秘 實價一圓三十六錢送料六錢
矢田挿雲著 太閤記(四) 實價二圓四十二錢送料十二錢

最新刊

レージ・マルクス主義批評論 ユネフ著 實價一圓五十七錢送料六錢
高田德佐著 受驗參考 答案式化學問題解法辭典 實價一圓八十九錢送料八錢
榎本秋村著 英雄研究 ナポレオン秘史 實價一圓五十七錢送料八錢
主婦之友社著 パンの作り方三十種 實價六十三錢送料四錢
久保虎賀壽著 エミール・ラスリ 判斷論 實價一圓七十三錢送料十四錢
マグドナルド著 議會と革命 實價一圓五錢送料六錢
ヴァルガ著 世界經濟年報 實價一圓五錢送料八錢
讀賣新聞社著 日本名寶物語 實價二圓十錢送料十錢
西條八十著 新選西條八十集 實價一圓五十錢送料八錢
三浦藤作著 參考東洋教育史 實價三圓六十七錢送料十四錢
永島價雄著 戀愛の神秘 實價一圓五十七錢送料四錢
二葉主人著 平凡 實價十錢送料二錢
蘇峯德富猪一郎著 第十冊 新聞記者と新聞 實價五十二錢送料四錢
蘇峯德富猪一郎著 土佐の勤王 實價六十三錢送料四錢
一岸一太著 神道の批判 實價一圓七十八錢送料六錢

きのふロシヤ軍のため滿洲里もろくも占領さる

通信杜絶＝大混亂に陷る

在留邦人の消息全く不明

(ハルビン十九日發電)十九日午後二時滿洲里は脆くもロシヤ軍のために占領さるゝに至り同地は大混亂に陷つた、通信杜絶し同地の在留邦人は孤立に陷り消息全く不明である

ポクラニチナヤ地方で露軍遂に砲火を浴す

昨朝十時＝住民は戰々兢々

【ハルビン十九日發電】ポクラニチナヤ方面で支那と對峙中の露軍愈々積極的軍事行動を起し今朝十時を期し遂に火蓋を切りポクラニチナヤでは殷々たる砲聲轟き住民大恐慌を來しつゝありとの報當地に達した

ア人中には日本の旅館に遁れる者或は急遽露領に引揚ぐる者又は南滿方面に避難する者續出の有樣である、尚支那側では不法行爲を虞れて所有家屋財産を急に日本人名義に書換へ、日本國旗の下にその安全を圖りつゝある

危險迫り居留邦人婦女子哈市に引揚ぐ

【ハルビン十九日發電】ポクラニチナヤの支那軍は石と土砂を以て同地のトンネルを埋め砲列を敷いてロシア軍と對峙して居り危險刻々に迫りつゝあるので同地の邦人婦女子廿數名は本日特別列車でハルビンに引揚げた

武力では勝算無しとて支那側悲觀論に傾く

外交部方面では強硬論

【南京十九日發電】今回の露支國交斷絶は南京に非常な衝動を與へ、殊に政府方面は當事者たる王正廷氏不在のため周章狼狽見るも氣の毒な程であるが、政府部內一般の意嚮は事態こゝに至れる以上武力對抗の外なしと主戰論を唱へてゐる、然し軍部方面の意嚮は大要左の如くで悲觀論に傾いてゐる、即ちロシアは精鋭な豫備軍五十六萬を有し其半數を支那に對し動員し得ること、ロシアの一師は支那の四師に相當する戰鬪力を有し張學良氏の廿五萬では到底勝算無しとしてゐる、若し兩國開戰となれば支那側としては

一、ロシアは有力且つ精鋭なる軍隊を庫倫を經て張家口方面に進出せしめ馮系殘軍と連絡する惧れあること

二、蒙古人が民族自決の爲め好機到來せるを見逃さぬこと

三、外蒙は既に完全にロシアの勢力下に在り此處を根據としてロシアが西北方面に進出すべきこと

其他支那は內部より崩壞の惧れあり到底武力對抗は不可能なるを知つてゐるが、ロシアが同じく戰爭出來ぬ事情ありと見て強硬論を唱へてゐる有樣である

支那は米國に縋らん

【南京十八日發電】露支の國交は斷絶されたが露支共に兵火を用ふるなく此處暫くは睨み合ひの姿を持續するであらうが、此間に於て國民政府は某方面を通し日本の調停方を依賴したりと傳ふる者あるが、相變らず支那一流の近攻遠交の政策を用ひ此際米國に縋つて活路を求めんとするものゝ如く既に其運動を開始せりと信ずべき筋がある

國際聯盟に裁斷を仰ぐ

成べく武力解決を避け

【上海十九日發電】露支係爭に關する國民政府の態度は未だ決定せぬが支那としては此際出來る丈け武力解決を避け、ジュネーヴの國際聯盟に訴へて平和的解決の裁斷を仰ぎ、萬一露國側より火蓋を切らば國際聯盟規約第十條侵略に關する條項を適用し聯盟加入國の援助を求むべしとの議論が政府要路間に相當有力である

哈市民留邦人の現地保護はせぬ

露支開戰とわが當局

【東京十九日發電】我當局は若し露支開戰せば國境方面にある邦人をハルビンに引揚させ、若し戰亂ハルビン地方に及べば長春方面まで引揚しむる事とし現地保護はなさゞる模樣であるが長春以南に戰亂の各[illegible]

保護打合せ

【ハルビン特電十九日發】露支關係の空氣が益々切迫しつゝあるため八木日本總領事は二十日當地特務機關をはじめ民會、商業會議所等の各機關代表者を招集し時局に對する緊急打合せ會を開き、萬一の場合に邦人保護を遺憾なからしむる事を協議した

哈市市民戰々兢々

【ハルビン特電十九日發】今やハルビンは謠言の巷と化し就中ロシ[illegible]

支那の行動の背後に列強

(露都言論界の觀測)

【モスコー特電十八日發】露紙イズヴエスチヤは左の如く論じてゐる

政府が十七日に執つた對支斷行はその對支通牒の第一の結果として見るべきものであるが、これはこの他に尚他の結果の生れ來る可能性のあることを暗示するものである、何となれば今全に支那と關係の斷絶されることは我ロシアの東方國境の可成の地域に對する安全問題を惹起するからである

尚その他の諸新聞紙は支那の對露國交を徹頭徹尾コキ下してそれを兒戲に等しい不正直なる行爲と言つてゐる、而して支那の回答は東支鐵道奪取問題を論ずる代りに露國內に於て多數の支那人が抑留せられてゐるとの全く新らしい問題を發明するに至つたと述べてゐる、尚露紙は何れも支那の行動の背後には米國其他列強が在るものとしてゐる、對支強硬を主張する各種デモンストレーションは十八日終日行はれ同樣の決議も續々舞ひ込んでゐる

東部國境の邦人昨夜引揚げ開始

露支軍交戰の虞あり

【ハルビン特電十九日發】東支東部線ポクラニチナヤ國境における露支兩軍の對峙が漸次交戰狀態に入らんとする虞があるため、同地日本人約六十名は十九日晩から漸次ハルビンに引揚に決した

露支軍艦出動す

三岔口方面に

【ハルビン十九日發電】露支國境三岔口方面にロシア軍艦數隻出動したので支那東北艦隊も直に同方面に出動し水雷を敷設したと

斥候を捕虜し更に支那税關を占領

赤衛軍が露支國境で

【ハルビン特電十九日發】勞農側は若し露支開戰の場合は西部方面は國際關係の惹起を虞れ、先づ第一に東部ポクラニチナヤ國境方面及び松花江下流方面から支那領土內に侵入し、ハルビンへ進擊する計畫であるものゝ如く、既にポクラニチナヤでは支那軍の斥候十五名が赤衛軍のために捕虜とせられ、又松花江下流のラハスス支那税關は赤衛軍のために占領せられたとの噂がある

北滿各地のロシア領事檢束

【ハルビン十九日發電】ロシア軍が東西國境より疾風迅雷的に一齊攻勢に出たので當地は今や修羅場と化した、この報に支那要人は色を失ひ緊急會議を開いた結果、北滿各地に於けるロシア領事を檢束するに決し張景惠氏がメリニコフ總領事を強制的に抑留したものである

メ總領事外三名を支那側、各自宅に監禁す

【哈爾賓特電十九日發】支那側はロシヤが宣戰の布告なしに十八日ポクラニチナヤにて支那兵を射擊したのを理由として總領事メリニコフ氏、東支副理事長チルキン氏、理事イズマノフ氏、元職業組合同盟代表テレケンコ氏の四名を十九日午後四時各自宅に監禁した

メ勞農總領事行方を晦ます

支那側が旅券を下附せず身柄監禁の氣配に

【ハルビン特電十九日發】メリニコフ露國總領事は本國政府の命により十九日午後六時三十分發當地を引揚げる豫定であつたが、支那側は旅券を下附しないのみならず國交斷絶に昂憤して同氏の身柄を監禁せんとする氣配があるのでメ氏は十九日朝來行方をくらました、傳へらるゝところによれば目下北滿ホテルに避難し身邊の安全を計つてゐると

支那公使館引揚準備

【モスコー十八日發電】在露支那公使館並に各地十五の領事館は目下引揚準備中である

露支兩國が愼重に日本の態度を探る

見極め後最後的行動

現在の北滿事情より觀てロシアは四箇軍團を支那軍隊擊破のために出動せしむる事は地方警備上不可能である、然るに支那は萬一の場合は主力を全部國境に集中することが出來るから有利であるといはれるが、現在の事情より觀れば兵を動かすことは一種の示威運動に過ぎぬ、但日本の態度及び南京政府がソウエートに對して如何なる態度を持つかを知るのが必要である、故にその見込がつけばモスコー政府は最後的態度を決定するであらうと觀られる、一方支那は飽く迄つつぱり主義ではあるが、それも八分迄で、あとは外交手段によつて決しやうとし支那としても

戰意はない、かゝる事情によつて露國は武力によつてでも東支鐵道における權益を維持することを得ず一時その力を失ふで[illegible]

支那官憲の夜間警戒嚴重

旅行者哈市に立往生

【ハルビン十九日發電】國際通路は今や全く封鎖されて居るので群がる旅客は進退谷り日支露の各ホテルは之等旅行者で充滿して居る 一方時局切迫と共に流言百出して居るので支那官憲の夜間の警戒嚴重を極め物凄い光景を呈して居る

あらう、支那はかくの如きことを豫想して既に東支鐵道の幹部范其光氏に命じて赤系露人がストライキを行ふに於ても列車の運行が出來るやう白系露人及び支那人によつて東支鐵道を掌握し經營する手段を樹てゝゐる、このドサクサに於て白系露人が緩衝地帶を作るといふ噂はあるが、それ程の實力は疑問である、それは彼等としては此の際赤系露人を追出して東支鐵道に自己の生活の資料を得るための手段にすぎまい、而して目下の事情より觀れば露支兩國共に日本の態度を極めることにつとめてゐる模樣である

斷然露軍を國境內に入るな

歸奉の途中張學良氏攻防司令に打電す

【奉天特電十九日發】歸奉の途にある張學良氏は張作相、萬福麟[illegible]攻防司令あて「露支國交危機に迫る、若し勞農にして挑戰行動をとれば我軍は斷然露軍をして一歩も國境內に入らしむる勿れ」と電命して來たが、他方蔣介石氏あて露支國境には既に增兵し萬一にそなへるほか外蒙に別動隊を潛行せしめたりと電報したといふ、但しつとめて和平解決を外交の根本義とせんことを附言してゐると

護照所持邦人を捕縛せよと示達

入蒙は事實上禁止

近來支那官憲は日本人の蒙古地方旅行乃至諸調査のための入蒙に關し表面形式的には護照を發給し不干涉を裝ひ乍ら先般の洮南における滿洲醫大診療團一行の入蒙拒絶の如く實際に於ては事每に不當なる口實の下に日本人の

入蒙を 妨害阻止しつゝあり事實上入蒙禁止を爲せると同樣の狀態にあるが、最近に於ても滿鐵地方部土木課本庄進氏及工業專門學校鷲尾氏等が洮南より約二百四十支里の圖什業圖方面視察の爲め同地に赴かんとせし所、突泉縣知事は地方警察官憲に命令して同氏等一行を發見次第捕縛し突泉縣に伴れ來るべしとの亂暴なる示達を行ひ爲めに一行は已むなく中途より引返すの餘儀なきに至つた事實あり、先に何等の理由なく公共的醫大診療團の入蒙を阻み今又合法的な

護照を 所持せる邦人の旅行を亂暴な警察權の發動を以て威嚇する等近來の支那側官憲の著しい反日的態度は各方面から注目されてゐる

木下長官懇親宴

木下長官は廿日正午から旅順ヤマトホテルに旅大各新聞通信社代表者を招待し納涼懇親宴を開催すると

駐日露支大公使

きのふ幣原外相を訪ふ

【東京特電十九日發】汪駐日支那公使は十九日午後六時半幣原外相を訪ひ政府の訓令により露支關係に就き詳細説明、支那側の態度の不當ならざるを力説し日本の態度をたゞした、これに對し幣原外相は日本は全く第三者の立場にあり調停等につきみだりに嘴を容れぬが、東洋平和のため和平解決を

切望す と答へ、汪氏もこれを諒として同七時五十分辭去した、會見後汪氏は語る

不祥事起らば責めは露國に

汪支那公使會見後語る

訓令に基づき東支線問題の經過と支那側の見解を述べ日本政府の見解を聞いた、今回の事は支那が利權問題のため行つたにあらず、露國の赤化宣傳防止のためであるに拘らず露國は壓倒的に國交斷絶の暴擧に出で、武力解決の氣勢を示せるは

不法こ 云はねばならぬ このため不祥事起らばそは露國の責任である、國民政府は日本に調停を依賴する事は決してない、ロシヤが暴擧を續くる時は支那は已むなく自衛手段に出で國際聯盟に訴へるかも知れぬ、しかし日米なぞ個々の國に依賴する如きことはない

我國の嚴正中立

ロシア駐日大使希望す

【東京十九日發電】トラヤノフスキー駐日ロシア大使は十九日午後四時外務省に幣原外相を訪ひ、モスクワ政府の訓令に基きロシアは飽くまで平和的解決方法を講ずる方針であるが、今後露支關係が如何に發展するか豫測し難きも日本政府は嚴正中立を守られたき旨希望せるに對し、幣原外相は北滿に於ける帝國の權益と在留民の生命財産に關せざる限り露支兩國の關係に對しては素より何等干與すべき筋合のものでないと言明する處あつた

定例閣議

【東京十九日發電】十九日の定例閣議は午前十時半より開會、濱口首相以下各閣僚出席、井上藏相より地方債許可方針の趣旨を植民地にも適用し一大緊縮整理を行ふべきであるとて新規事業起債は災害豫防、復舊豫算、失業救濟の如きもの丶內、緊急なるものに限り認め既に起債を許可したるものも極力中止打切の方法を講ずべしと提議したが、植民地は其特殊的事情から內地同樣に行ひ難き點あり本案に就ては藏相並に松田拓相に一任し適宜具體案を作成することを申合せ、次で藏相より本年度實行豫算査定案に就き詳細説明する處あり、之に對し各閣僚より意見出でたが兎も角各省は査定案に基き充分研究の上大藏省と協議し濱口首相の歸京後閣議で決定することに決した、次で財部海相より軍縮問題に關し政府の方針を述べ一旦休憩後午後一時再開、軍縮問題につき大體意見を纏め幣原外相よりも露支問題につき情報を報告協議を重ねた

植民地起債許可方針を訓電

【東京十九日發電】拓務省では十九日の閣議に於て各植民地の起債許可方針に關し左記に決定せる內地地方債許可方針を適用するに決したるに就き、同日午後直に松田拓相より各地長官宛左の如く訓電を發した

一、新規事業の起債に就きては災害豫防及び復舊事業並に失業救濟事業の如きものにして眞に緊急さくべからざるものゝほか之を許可せざる事

一、既に起債の許可をなしたる事業と雖も極力之が打切り又は繰延を實行する事

植民地補助金削減

【東京十九日發電】大藏省査定の各植民地(臺灣を除く)に對する補助金二百五十萬圓削減案は大體本日の閣議で容認された內譯は左の如し

關東廳 五百萬圓中五十萬圓を削減

樺太廳 三百六十萬圓中二百萬圓削減

なほ朝鮮、南洋は調査の上決定の筈である

三審議會幹事長決定

【東京十九日發電】定例閣議で三審議會幹事長を左の通り決定した

社會政策審議會幹事長 潮 內務次官

國際貸借審議會幹事長 河田大藏次官

關税政策審議會幹事長 河田大藏次官

本年度實行豫算總額七千萬圓の節約

【東京十九日發電】大藏省の本年度實行豫算査定案は施行豫算より約八千萬圓を減額してゐるが、各省に於ては逐次復活要求をなすべく之に對し大藏省は豫算編成方針を楯に原案を固執すべき意嚮であるから、二十六日濱口首相の歸京迄に交渉が纏まるとしても結局中止繰延べの總額は七千萬圓を下るまいと見られてゐる

節約額は公債發行豫定額に充當

【東京十九日發電】大藏省査定案により約八千萬圓の減額整理を斷行しそれだけ歳出を節約する時は同時に

一、諸官衙の建築費

一、陸軍の土地建物整理費

等では別財源を伴ふものありて約二千萬圓の歳入減を來す事となる、而して本年度は地租營業收益税の豫定的輕減廢止により一千百萬圓の歳入增加を見込み得るので差引七千萬圓の餘裕財源を得る譯であるからこの七千萬圓を以て一般會計の公債發行豫定九千百萬圓の減額に充當する

臺灣總督の後任

樺山氏が有力となる

【東京十九日發電】川村臺灣總督は一兩日中に正式辭表を提出する事になつたにつき、其後任は石塚英藏氏に內定してゐた處薩派は樺山資英氏を極力推薦しつゝあり或は同氏の起用を見るものとの觀測が有力となつて來た

土曜講座

關東廳學務課主催の土曜講座は廿日午後七時から大連常盤尋常小學校で開催森本地方法院長の「陪審法に就いて」と題する講演があると

藤內家不幸

大連署會計主任藤內喜市氏長女衣子(二五)は病氣のため郷里別府市外龜川に於て療養中十八日午後四時二十分死去十九日午後五時聖德街一丁目一五九自宅に於て追悼會を行ふと

辭令

【東京十九日發電】

外務省通商局第三課長 大橋忠一

兼任拓務書記官(三等)拓務局勤務を命ず

人事

▲牧田太猪藏氏(新任普蘭店民政支署警務課長)轉任挨拶のため十九日市內各方面廳訪、廿一日出發赴任の筈

▲庵谷忱氏(奉天商工會議所會頭)十九日朝來連遼東ホテルへ

▲中尾新六氏(住友肥料技師)同上來連ヤマトホテルへ

▲大津尚氏(關東廳療病院長)今回歐米視察一ケ年の留學を命ぜられた同氏は二十日午前七時三十五分旅順發赴連、ハルビン丸にて一應歸國し八月横濱發渡米すると

▲千秋寬氏(鞍山製鐵所長)十九日急行にて來連ヤマトホテル投宿

▲島屋進治氏(本社編輯局員)奉天支社詰めとなり十九日二十二時發列車にて赴任した

安樂椅子

きのふ辭任挨拶に前觸れもなく大連に姿を現した木下長官が ▲滿鐵を訪ふて「けふは關東長官でやつて來たが、そのうちにまた木ノ謙でやつて來るよ」と面目躍如たる言葉を殘して行つた ▲そろ〳〵大相撲が近づいたので角負師のお茶屋を中心に常の花、大の里、武藏山等の花形力士の後援會で切符賣りつけに火花を散らしてゐるが ▲大相撲の先乘りに來た檢査役の山科親方は持病の神經痛が再發して ▲昨今の暑さに遼東ホテルで大きな圖體を持て餘してゐるので好角家から大いに同情されてゐる。

本日廳報を添ふ

滿洲日報

露支紛爭と我國の立場

支那側の東鐵管理局回收の手は露西亞側の最後通牒なるものを眼中に置かざるもの丶如く、急轉直下的に其範圍を擴大して遂に電政より進んで鐵道用地中八萬町歩の回收をまで斷行するに至り、最早や完全に東鐵は支那側の手中に歸した觀がある、又既に支那側からの露西亞に對する回答文は發送されたが、これによつて本案解決の曙光を認め得たとは斷ぜられない、何んとなれば、回答文の內容以外に支那側が何等の警告を與へずして突如としてクーデターを斷行するに至つたその決意の某點が「多年の懸案を解決すべく交涉の開始を速かならしめんがための示威的手段」としてであるか將又「交涉を目標とせず露西亞の反抗を眼中に置かず東鐵回收そのものを目標としての直接行動」であつたかによつて支那側の態度が當然異らなければならぬからである。若し假りに前者即ち「交涉へ」の一手段とすれば、案外泰山鳴動的に和平解決を告げらるべき可能性あることが豫想し得るが、之に反し後者即ち「武力回收」そのものが基點であつたとすれば露西亞側との間に交涉が開かれても露西亞側が絶對讓歩せぬ限り、これは「交戰への一道程たる談判破裂」を實現せんための交涉となる外ないであらう。

◇

以上の二つの場合を前提として滿蒙に於ける我日本の受くべき影響は何れにしても益々多事であるを免れないであらう、露支交涉の開始により和平解決を望み得るは既に事實上支那側が東鐵の實權を手中に回收した今日として「露西亞側の絶對屈服」ある場合を措いて無い、そしてこの露西亞側の絶對屈服による和平解決を告げんか支那側は其勢ひを驅つて方向を東轉し、從來の反日運動に一層の輪をかけるのみならず、或ひは露西亞に對したに近い手段をまで用ひて滿鐵及び旅大に向ふであらうことは「相手方が讓れば何處までもつけあがる」國民性がなさしめる從來の外交振りによつて容易に推察し得るところであり、更に又交戰となつて支那側が一擧に露軍を擊碎し、武力回收の實をあげ得た場合の反日振りが如何なる程度にまで深刻を極むるかは言ふべくもない。そして又、露西亞が窮鼠猫を嚙む底の成功を收めて東鐵から支那側を驅逐し日本と長春に直接する場合ありとすれば、赤化防止の緩衝地帶は取り除かれて思想的に經濟的に日本の受ける脅威も亦尠少でないであらう。

◇

斯く觀じ來るとき我等はその結果の如何に拘らず、今回の東鐵事件が滿蒙に於ける日本の權益の上より露支間にのみ限られたる一紛擾として傍觀すべく餘りに重大であることを痛感せざるを得ない。

札免公司の林區問題は解決
支那巡警近く引揚ぐ

【哈爾賓】札免公司林區問題は解決成立した模樣で、林區警戒の任にあつた支那側巡警も近く引揚げることになつたと

商業支部長の更迭を斷行
范新管理局長の切味

[illegible]支那側副支部長であつた蘇鈞氏は今回哈爾賓に轉勤を命ぜられその後任として荆玉璞氏就任し、支部長が着任するまでは荆氏が支部長を兼務することゝなり十八日から事務を開始した、又罷免された支部長モロゾーフ氏は依然附屬地を去らず身の處置に窮してゐる

[illegible]く天津、上海、ボクラニチナヤ、奉天の東支商業支部長を十五日附で罷免しモロゾーフ氏奉天商業部支部長の後任として近く着任することゝなつてゐる、一方奉天商業[illegible]

セ全權の着哈
二十一日以後になる
途中で重要協議會

【哈爾賓】目下來哈の途中にあるセレブリヤコフ全權は當地において東支問題に關する交涉を支那側と正式に開始する以前に今回の事件に關する詳細なる事情を聽受るとゝもに、更にそれにより正式會議に對する方策を豫め決定して置くため折柄歸莫の途にあるチタにある前東支管理局長エムシヤノフ、同副局長エイスモンド、總務課長クニゼフ及びハバロフスクから派遣の哈府政廳並に軍部代表等と會合協議を開くことゝなり、當地からは東支監理ズナメンスキー氏が南滿行き中止しエムシヤノフ氏等出發後の最近事情を携へ急遽同地へ向け出發したと傳へられてゐるので、從つてセ氏の來哈は二十一日以後となり當地における露支會議も自然遲れることになつた

閉鎖された勞農機關
殘務整理に努む

【哈爾賓】さきに閉鎖を命ぜられ[illegible]

飜譯課を縮小

【哈爾賓】東支鐵道管理局總務課所屬の飜譯課は日、英、支、蒙の各課に分れ課員十數名を使用してゐたが、支那側が管理局を回收したので同課の縮小を行ふことになりバスネヅナイコ、ユーリエワ、スケルストの四名を除く外の課員全部を罷免した

た極東貿易部、石油シンジケート及び國營汽船などの勞農商業機關は僅に十日間の殘務整理期日を與へられたのであるので、目下晝夜兼行の姿で整理に忙殺されてゐる

八木總領事

【哈爾賓】八木總領事は十六日メリニコフ勞農總領事並に蔡哈爾賓交涉署長を訪問し時局問題に關し懇談した

長距離電話を打切る

【哈爾賓】支那側は時局に鑑み哈爾賓、チタ間及び哈爾賓、滿洲里及び綏芬までに打ち切つた模樣で、十六日晚から同地以上は通信不能に陷つた

「北支那は平穩奉軍入關せず」
傅司令の訓示

[illegible]互頭の西山會議から時局が何となく不安に感ぜられたが傅作義司令は各機關其他の上級職員を召集し蔣、閻、張互頭會議の經過を說明し今後北支の局勢は大體に於て和平を維持する事が出來、奉天軍の入關や平津地方の地盤接收は絶對に無い事で今後關內の動搖は殆ど無いと看得る故、各機關職員は此際徒らに謠言風說に迷はされず安心して部下を督勵して公務に服する樣にと一場の訓示をなした

ジーキ氏
逮捕を免れ
哈爾賓に潛入

【哈爾賓】東支鐵道の前經濟調査局長として東支の高等政策にも關與して辣腕を振つたジーキ氏は伯林より莫斯科に歸還すると同時にゲペウの手に逮捕撿禁中であるとの報道は大分以前から當地に傳へられてゐたところであるが、最近同氏の消息につき更に傳へられるところによれば、同氏は巧に莫斯科を逃げ出し白系避難民を裝つてブラゴエスチエンスクから黑河を經由し數日前富市へ潛入して來たといはれてゐるが、住所並に詳細については尙不明である

太平洋國交研究會成立

【吉林】既報吉林法政專門學校教務主任董其政氏等歐米留學出身の教育界首腦者の發起に係る太平洋各國代表會議に對する研究會は每週日曜日に續開することゝなり一般有識者の加入を勸誘中であるが會名を「太平洋國交討論滿蒙問題吉林研究會」と制定した

記者團一行はその後青島を經て內地長崎に向つたが、途中東支鐵道問題の急變を聞きその中シムス、フオーレスの兩氏は十八日安奉線急行にて急遽來奉し同日急行で北行哈爾賓へ向つた

ダリバンクの營業を妨害せぬ
張行政長官の布告

【哈爾賓】當地ダリバンクはさきに支那官憲の取調べを受けた結果預金者に不安を感ぜしめ時局に關連して多少動搖の色があるので、今回張長官は左記の如き布告を發して預金取附けを事前に防止するに努めてゐる

遠東銀行（ダリバンク）は蘇聯國家の營業機關であり、且今回總領事館で押收せる文書中には該銀行に宣傳行爲及び黨費供給の義務ありと記せるものもありたるをもつて、調査したるが右の事實なきこと明になれり、故に官憲においては銀行の營業を妨害する意志は毫もないから此旨特に布告し一般商民の不安を除く

日本製護謨靴に銷場稅賦課請願
打擊を蒙つた吉林の支那靴製造業者から

【吉林】日本製護謨靴護謨足袋は價格低廉で而も耐久力があつて履心地が良いと云ふので近年來非常の輸入高となつて居るが、嚢に哈爾賓及び吉林に於ても護謨靴は衞生上有害であるなど途方もない宣傳を流布するものがあるに拘らず吉林省城に於ける該品の賣行は依然非常なもので、其結果として支那側靴鞋製造業者に大打擊を與へ失業者三百餘名を出し、之れが直接間接人民の生活、地方の治安に脅威を及ぼすに至つたとて斯業者救濟の一策として、日本製護謨靴の販賣に對し銷場稅を課して貰ひたいと請願書を此程吉林總工會を經て稅捐局に提出した

拒毒運動大會
排外心を煽る

【吉林】吉林省城に於ける各機關團體は今回拒毒運動の爲め全國を巡回しつゝある中華民國拒毒會總幹事黃嘉惠氏の來吉を機とし吉林拒毒運動大會を十七日より三日間續行するが、之れに先だち省立通俗教育館を中心とする吉林拒毒聯合會では各種の宣傳ポスター及標語を印刷して市內一圓に貼付したが、彼等は之れを不平等條約撤廢の宣傳に利用してゐる、其最も甚だしいポスターは「不平等條約と云ふ鐵條網を以て租界と云ふ大樹木を圍繞し其大樹木に煙窟嗎啡窟海洛因巢金丹などの鳥が巢を作つて居る所を表し其の周圍に「取消不平等條約」「掃除毒品貿易」等大書して居る又宣傳標語では「同胞莫要忘了鴉片戰爭的國恥」「拒毒是爭國際之地位」等々排外心を煽るようなものが多い

ブラオン會社
天津に進出

【天津】嚢に天津日本租界水道の爲め鑿井に美事成功したる日本ブラオン會社の作業は一般外人の大なる注目をひき、今度英租界工部局水道のため十四吋七百尺の鑿井工事を請負つたが、十五日午後外人には珍しい古神式に則つた莊嚴な地鎭祭を行ひ內外人多數參列の上着工した

米記者赴哈

【奉天】この程來滿し各地の視察をなせる米國

白樺と樺の樺太
風薫る大泊、豐原
（六）　全日本周遊視察前記

大泊町は大泊港を抱く本島南部の市街で近來出入船舶の激增と共に市況著しく發展し今や人口二萬一千、首都豐原迄二十四哩五分樺太南方の關門をなし海上九十浬を隔てゝ北海道稚內に對し省營の連絡船が通ふてゐる內は東部縱貫線の起點として豐原、落合、元泊、知取等に連なる谷眞線に依りて西海岸線に接續すると同時に西海岸交通の基點として灘內の各地と結び西の本斗、眞岡と共に本島の三大港である、市街は神樂山を抱擁して半圓形を畫き多くは高低起伏して平地に乏しく楠溪方面は官衙學校多く榮港に近き榮町附近には銀行會社商店等多く經濟の中心をなして居る、大泊驛の東北一帶の丘陵を神樂岡と稱し丘陵の周圍は一面に雜木林で市街に抱擁せらるゝので五、六月の候に至れば各方面より登攀して清遊するものが多い、丘上は殆ど起伏なく大泊の市街を脚下に俯瞰するを得可く近くは豁谷の清流留多加の原野を指呼し遠くは渺茫たる亞庭灣を隔てゝ西部山脈の高低起伏し遙かに南に延びて海に終る處西能登呂岬をも一眸の中に收め得、展望絶佳を極む

◇

豐原の市街は南樺太の中央平原即ち鈴谷原野の中央に位し東西十三丁南北十四丁に及び鐵道線の分岐點に當り樺太廳あり本島の首都である、市街は東西南北の縱橫に十五間の大通りを設け十間道路を以て之を六十間四方の區劃とし更に其中央には八間道路を設け之を小區に分つ、市街中最も繁華なのは大通及西一條通であつて商店工場旅館旅亭劇場銀行會社等軒を連ね樺太廳を始め諸官衙學校住宅等は主に東一條以東に在る、樺太神社は皇國の極北樺太を安けらく守護し給ひ大國魂命、大己貴命、少彥名命の三柱を祭る、本島唯一の官幣大社である、宮は豐原停車場通りを東へ進むこと二十數丁の地旭ケ岡の中腹に鎭座し境內は高燥且つ幽邃の地であつて背に寄り鈴谷平原を一眸の中に收め、豐原市街は歷々として指呼の間に在り神燈幾十級宮柱太しく高びて社殿の莊嚴なる神威自から身に迫るものがある（寫眞は豐原神社より豐原市街を望む）

滿日詩壇

偶成　吉川鐵華

截星早曉度牛腸、踏月黃昏歸草堂、只樂貧前村酒有、微吟淺酌苦辛忘

西園觀胡藤花　吉川鐵華

西苑胡藤到處開、風吹綠葉送香來、三三五五賞花客、知是佳人去也回

錢鈔

○定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	九三〇	九三五	九三〇	九三五

出來高　期近　百四十二萬圓

○現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九三五	三三四〇	三三〇〇
二時半	九三三	三三三五	三三四〇

出來高｛銀對金　一萬七千圓｛銀對洋　三千圓

商品

後場（出來不申）

神戸特產物（十九日）

大豆現物	七四五
先物	六四五
豆粕現物	二一八
先物	四六一
滿洲小麥	七〇一
豆油現物	二二一〇

東京株式（長期）

	後場寄	後場引
東株	一二九二〇	一二九一〇
東新	一〇七八〇	一〇七八〇
五品	一二五〇〇	一二四〇〇
中	不申	一二三〇〇
先	一二七〇〇	一二五〇〇
豆信新	一三四〇〇	一三四〇〇
中	不申	不申
先	一二三八〇	一三八〇〇

東京株式（短期）

	後場寄	後場引
新	一三四〇	一三四〇
中	不申	一三八〇
先	一三八〇	一三八〇

	後場寄	後場引	高値	安値
五品	一二七〇〇	一二五〇〇	一二七〇〇	一二五〇〇
東新	一〇七五〇	一〇五九〇	一〇七六〇	一〇五九〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八二二〇	八二一〇
大新	六九三〇	六八七〇
鐘紡	二四九五〇	二四九八〇
新	一一八五〇	一一七九〇
日糖	不申	六七三〇
郵船	六四五〇	六四〇〇
東新	一〇七七〇	一〇七四〇

大阪綿糸

	後場寄	後場引
七月	二四一〇〇	二四一一〇
八月	二四〇〇〇	二四〇六〇
九月	二三三一〇	二三三〇〇
十月	二三六〇〇	二三六一〇
十一月	二三〇九〇	二三〇七〇
十二月	二二八八〇	二二九〇〇
一月	二二七二〇	二二七三〇

神戸期米

	後場寄	後場引
七月	二七二九	二七二一
八月	二六八一	二六七六
九月	二六〇五	二六六〇

東京期米

	後場寄	後場引
七月	二七二一	二七五三
八月	二六八四	二六八〇
九月	二六六四	二六五七

大阪期米

	後場寄	後場引
七月	二六七九	二六六九
八月	二六七八	二六六七
九月	二六六八	二六五八

橫濱生糸

	後場一節	後場二節
七月	一三三九〇	―
八月	一二八四〇	―
九月	一二七〇〇	―
十月	一二七〇〇	―
十一月	一二六九〇	―
十二月	一二六九〇	―

衞生

今、旺んに繁殖する「皮膚病菌の話」
一番よい『豫防と手當法』

梅雨季から暑中が一年中で最も黴生物の繁殖に都合のいゝ氣候であるから諸種の傳染病などが猛烈に蔓延し貴重な人命を奪ひ去ることが多い、皮膚病の如きもこの季節に一番發生し易く傳播の速力も一番早い、であるから一般家庭にあつては充分注意して不快な此の病氣に罹らぬ樣にせねばならぬ、不幸にして罹つた場合にて放置せずに適當な手當を施し全治を期すべきである　以下、少しく皮膚病の性質と療法などに就て書いて見よう。

（疥癬虫の圖）

掻くのは最も危險

皮膚病の初期は多く皮膚の一部に痒いものとか赤い腫れとかゞ現はれる、それを掻くと益々痒くなり周圍に擴がる、それで一時凌ぎにいゝ加減な藥をつけたりアルコールの類で拭いたりするが却つて刺戟のために增惡するものである、それは要するに皮膚病の知識がないからで、かゝる些細なものも深く體質の變化や內臟との關係に原因することを忘れてはならない。

小兒には特に注意

この場合よしんばそれが多少惡性の皮膚病菌によるものであつても一少部分に止つて居る時、充分有効な皮膚藥を用ゐれば直ちに殺菌の目的を達し擴がることはないが無暗なことをすると遂には全身に波及して取り返しの付かぬことになるのである。特に小兒にあつては知らず識らず患部を掻き拗りそのため皮膚變化を起して病症を復雜なものにし治り難いことになるから親達が常に注意して少しでも痒いとか腫れたとかいふ場合には先づ良い藥を塗つて經過を見るのが一番いゝ。

最も良い皮膚病藥

一概に皮膚藥と云つても、その中には恐るべき副作用を伴ふものやひどく刺戟の強いものがあるから子供などには滅多なものを用ゐてはならない、刺戟性もなく中毒などの危險もなく、それで充分の殺菌力、消毒力を有し。皮膚の組織を荒らすこともない樣なものが最も理想的なものであるのは言ふ迄もない、この點から云つても安心して用ゐ得るものは『ヨーチ水』である。この藥は殺菌力も充分あり消毒は勿論防腐の力もあつて而も比較的刺戟性が少から皮膚病の症狀を惡化せしめたり蔓延させたりする樣な懸念はない。從つて小兒などに用ゐる藥としては最も安全で多少でも皮膚病ではないかといふ、疑のある場合や或は虫などに螫されて癢みや腫れを生じた時などに塗付してやれば別にイヤがることもなく自然に治り同時に皮膚の保護になるのである

化粧との二重作用で美くしい肌をつくる健膚藥

この藥は極く稀薄な茶褐色を帶びた液で塗付しても皮膚に色が着かずベタ〳〵する感じもないから如何なる場合にも用ゐられ、皮膚の生吹出物のし易い人とか癡深い人に皮膚病菌を殺す目的の外にも化粧料としての價値を有してゐる平アレを防ぐ力も相當に強いから單などが適用すれば何時となく皮膚が養はれ美しくなるから婦人の化性下として普通の化粧水などよりも遙かに有效である。

初期の手當が大切

要するに皮膚病といふものは單に皮膚の表面に生じただけの輕い病氣ではなく全身的の連絡があるもので濕疹とか水胞症とか癩疹とかいふものと內臟病との關係、或は花柳病との關係、結核や中風との關係など色々復雜してゐるのであるから決して油斷してはならない、最初に於ての手當は後の治療に大影響があるのであるから決して內容の知れない皮膚藥などを濫用して悔を招かぬ樣に用心すべきである先づ、田虫、水虫、いんきん、たむし、くさ、がんがさ、あせも、ひぜん、蚤虫の害などであつたら『ヨーチ水』で治療するのが一番安全確實である、猶これから暑くなるにつれて、あせもや吹出ものに惱まされる人々はヨーチ水の使用を忘れてはならない。これを塗付した上に打粉の類を撒布して置けばあせもに苦しめられることはないと云つてもよい。

慢性胃腸病に苦しむ人よ
是非ともアイフを服用せられよ

慢性胃腸病は人目にはさ程大病らしく見えぬも何しろ長い間胃腸の故障を捨て置きたるため其の機能をすつかり損傷せしめ内壁には恐ろしき疵やたゞれを生じ少しの刺戟にても直ちに痛みを覺え

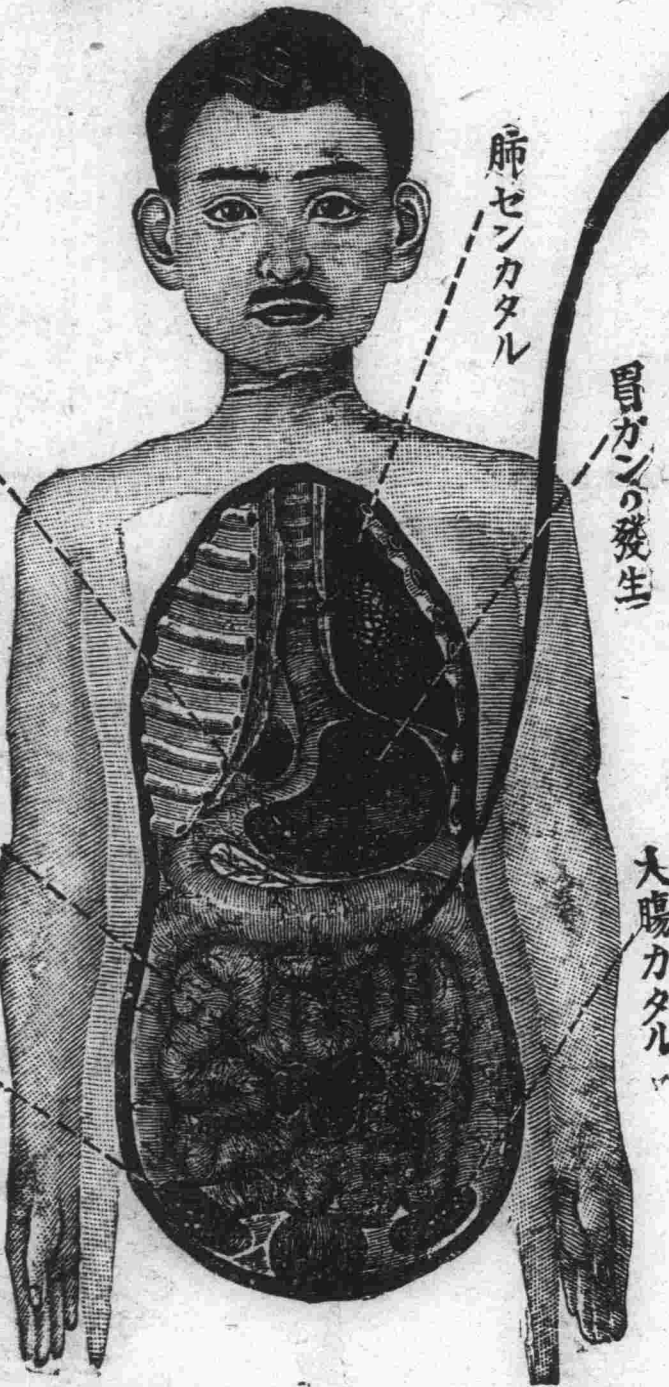
●食慾進まず胸先つかへ嘔つきげつぷ出で
●常に下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ
●腹はり放屁多く出でゴロゴロと鳴り下腹痛み
●滋養物を食するも身につかず身體益々衰弱し
●元氣衰へ顔色惡しく神經過敏にて氣短となり
●肺尖肋膜に故障を起し熱出で夜眠られず
●少しく飲酒や不消化物を食するも覿面下痢し
●重症にて痛み甚しく便に血液膿汁を混じ胃癌又は腸結核等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用して根本的治療せられよ

●アイフは胃腸病に對し最も親切に調劑せる良藥にして其主藥は加答兒の原因たる腸胃内壁の爛れて居る部分に附着して創面に薄皮を張り炎症を鎭め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ大腸に於ては硫化水素と化合して硫化蒼鉛となるから自然と胃腸の弛緩を引しめ蠕動を制し下痢を止め痛みを鎭靜する特効がある。故に胃腸病者は此のアイフを内服すれば胃腸を健全にし食慾を進め血色を良し榮養の吸收を佳良にするから從つて體重を著るしく增加し服用後目に見えて健康を回復し隨分の重症でも必ず滿足なる大効果を得べし。

胃腸良藥

アイフ

この胃腸病はアイフで治る

肺センカタル
胃ガンの發生
大腸カタル
胃擴張腹ハリ
腸内壁タダレ
腸結核と下痢

アイフの主治藥効

急性胃加答兒、慢性胃加答兒、胃酸過多症、胃擴張、胃アトニー症、胃液缺乏症、胃下垂症、胃潰瘍、胃癌、急性腸加答兒、慢性腸加答兒、大腸加答兒、粘液性下痢、神經性下痢、腸結核、腸潰瘍下痢性盲腸炎、下痢性腹膜炎、食傷り、水傷り、冷腹より起る腸胃諸症に用ふれば下痢を制し、腹内を整え、食慾を進め、体重を増加するの効あり。

藥價
普通アイフ　四日分　七十五錢　八日分　一円五十錢　十七日分　三円　四十五日分　七円
重症用特製　十一日分　五円　二十三日分　十円　三十六日分　十五円　八十日分　三十円

本舖へ御注文の方は藥價を郵便爲替又は振替大阪三四五番順和公司宛へ御拂込あれば對金引換直ちに發送す

發賣本舖　大阪市東區淸水谷西之町　三六五　振替大阪三四五番　順和公司　電話東五六四・五〇〇二・五〇〇三番

各地代理店

大連市浪速町	日本賣藥會社
大連市浪速町	井上誠昌堂
大連市監部通	東瀛大藥房
大連市伊勢町	脇川延壽堂
大連市東鄕町	尾野島藥局
奉天小西關	廣濟堂藥房
奉天小西關	井上誠昌堂
奉天浪速通	鶴原藥局
營口永世街	東瀛大藥房
鞍山赤城町	溝上支店
遼陽修家街	安達大藥房
遼陽本局前	並木文光堂
撫順明石町	福田藥舖
旅順靑葉町	宮竹藥舖
鐵嶺鼓樓西	平記大藥房
安東縣市場通	井上誠昌堂
安東縣市場通	晃榮堂藥房
長春東一條	西澤藥舖
天津南旭街	正文洋行
天津北旭街	丸二大藥房
北京東單牌樓	東亞公司
哈爾賓傅家甸	長壽堂藥房
哈爾賓傅家甸	旭昇號
齊々哈爾	稻野富山堂

教育欄

學校の夏季休暇と其の存在價値（上）

青山生

各學校が毎年傳統的に繰返してゐる行事の中にかなり其の意義の曖昧なものが少くない。夏季休暇もその一つである。

◇

學校の夏季休業は之を常識的に考へると、夏季は暑熱が甚だしく兒童生徒が學習に堪へられないから酷暑の間だけ授業を休止するのであるといふやうにも想像される。しかし夏季休暇を設けてある理由が單に暑熱のみであるとしたならば、そこにはいろいろの不合理が發見される。

◇

先づ身體が比較的幼弱で抵抗力の弱い小學兒童よりも身體の立派に成熟した抵抗力の強い中等學校專門學校及びそれ以上の上級學校生徒に對しより多くの休暇が與へられてゐるといふことが不合理の一つである。それから殆ど寒帶から熱帶に亘つて存在する日本全國の各學校が殆ど同期に殆ど同期間の休暇が、與へられてゐるといふことは第二の不合理である。現に大連の如きは盛夏と雖も堪へられぬ程の暑熱は全く無く學習に堪へられないやうな日は殆ど無いと言つていゝ。斯う考へて來ると暑熱を夏季休暇の理由とすることはどうも當らないやうである。

◇

近年各小學校を見るに、一ケ月間の夏季休暇を其まゝ休養に消費してゐるところは殆どなくいづれも此の期間を特殊教育の唯一の機會として海濱聚落に温泉聚落に、林間學校に、早起會にいろいろの名目の下に、思ひ思ひの教育事業が行はれてゐる多くの人々は之を以て學校教育以外の仕事であるかの如く考へてゐるやうであるが、それは教育といふものを教室の中學校の中に於てのみ行はれるものであるといふ謬見に基くものであつて海濱聚落と言ひ温泉聚落といふも決して教師の遊び半分の仕事ではなく兒童の保健を唯一目的とする眞劍な教育の營みなのである。

◇

斯うした教育の特殊施設が日常教育の延長とし或は補足として夏季休暇中に行はれるとすれば從來の夏季休暇といふものは少からず其の存在價値が失はれるわけである。

◇

勿論之等の夏季の特殊教育施設は多分に流行的色彩を帶びてゐる。そして他の學校がやる以上自分の學校も何かやらなければならないだらうといふ一種の義務觀念からお座なりにやつてゐる學校もないでもないやうだが昨今のやうにいろいろの施設を競爭的にやつてゐる狀態をその形から見ると小學校の夏季休暇は明かに短縮された形を取つてゐる。之は夏季休暇の存在を否定するものではないだらうか

◇

此の種夏季教育施設は、各學校が當局者よりの指令に基いて實施してゐるのではなく、もと/\學校當局者の自由意志によつてやつてゐることであるから休暇をそのまゝ休暇として完全に兒童も休ませ教師も一ケ月ゆつくり休むとが出來るわけであるが、最近學務當局者の態度は各學校に對して何等かの夏季施設を要求し全然休暇を安息に費消することは出來ないやうな傾向になつてゐる。つまり監督官廳は何等か休暇中の教育施設を各學校に要求してゐる。かくて夏季休暇なるものはいよいよ其存在價値が怪しくなつてくる。

夏と兒童……（二）
滿洲の兒童には學習よりも保健

蕉林生

大地の親しみ

昔ローマ人は土を母と考へて居つた。又ルソーも「兒童には土をいぢらして置け」と云つた。吾々も子供時代に土遊びから受けた印象は今以て中々忘れられない。それ程子供と大地とは仲のよいものである。彼の運動場や公園などで大勢の子供が石ころを鉛筆代りに遠慮なく大きな繪を描き放し、然も彼等相當に批評もし、鑑賞もして樂しんで居る樣子は、日々隨所で見受けるのである。是等の兒童に取つては大地は實に金のかゝらぬ自然の大黒板である。若しそれ與ふるにシャベル、鍬の類を以てせば直に掘り始める。山も造ればトンネルも掘る。家も建てれば鐵道も敷く、其の立體化の手腕には到底大人の想像も及ばぬものがある。然しこれは子供の惡戯であつて全身泥まみれになり、着物を遠慮なしに汚す事から申せば母親に取つては此れ程迷惑な事はないのである。けれ共一歩進めば植物を友として、種子だ水だと云ふ風に自から動植物愛好の美徳を養ふのである。斯くして兒童の世界を擴げつゝ他面には空氣、日光に觸れ不識不知の間に保健法を行つて居るのである。これも夏の自然の恩惠の一つであらう。

睡眠

子供は睡る、食ふ、遊ぶと云ふ三つの特權を所有する。睡眠は生理上哺乳動物に缺くべからざるもので犬猫等の家畜類は三日間睡眠を與へないと病氣になつて斃死するに至ると云はれて居る。人間も同じ樣に殊に幼兒程睡眠時間を要するのであるのだ。一般に都會の兒童は睡眠が不足勝ちの傾きがある。別けて夏季に此傾向が著しい。是れは都會たるの原因、例へば雜沓地域であるがため騒々しくてよく眠れぬ。或は炎暑くて床に入れない等の不可抗的な事もあらうが、多くは夕食後間食するとか、或は夜更かしの仲間入りをするとかの結果だと思ふ。

然らばどの位寢かしたらよいかと云ふに、學齡兒童になると十時間——十一時間を適度とする。五六年頃の兒童でも九時間は睡らさねばならぬ。勿論睡眠は時間許りでは極められぬ。其深さと申して所謂熟睡する事を要するのである。學校兒童でも神經質、虚弱兒童は概して睡眠が深くない。私が此五月に調査した兒童二九二名中には夜よく眠れぬと云ふ兒が二一名あつたが、體質は薄弱者若くはそれに近いのが多かつた。若し健康兒であれば大抵寢入りばな即ち就寢後二三時間は睡眠が深くて、夜明け方に淺くなる。然るに夜更かしをする癖のある兒はこれと反對に寢付きが惡い。從つて朝方に睡眠が深くなる。それを無理に起すから朝食が欲しくない。睡むいから凡てに注意することが出來ぬ。行動も不活潑になるのである。要するに早寢早起は夏の子供には極めて大切な慣習である。

食物

夏季になると健康者でも一體に疲勞を覺えて何となく身體がだるく、食慾の進まぬものであるが、此の傾向は兒童にも同である。大人でも子供でも六月—八月の間は概して身長は伸びるが、體重の最も少い即ち[illegible]の緩漫な季節となつて居る。斯う云ふ季節に疾病に罹つたり、不規則な不攝生な生活をさせると胃ゝ發育が緩漫、許りでなく體温が低下する　然らば、子供の夏の食物としてはどんなそしてどれ丈けの榮養素を要するかは專門家の教に俟たねばならぬが、兎に角胃腸の活力の鈍い季節であるから、消化不良の爲に胃腸の中で異常分解をする樣な食べ方をさしてはならぬ。

私の調べた結果によると、前記二九二名中の一五九名（五五%）が毎日間食をして居る。然るに夕飯のまづいと答へたものは僅に二五名（八%）しかなかつた（兒童食物の好惡は調査の時期によつて異る）。これは夏の日永のため腹が空るからだと思ふ。

故に夏季には相當の間食を給與する必要がある。然し間食は其與ふる時刻と分量とを誤つたら必ず夕飯に影響するものと思はねばならぬ。尚肉類の厭なが四八（一三%）魚類一〇六（三六%）卵三二名（一一%）豆類三九名（一三%）味噌汁五五名（二〇%）などから見ても夏は總じて淡泊なものを欲する傾向があるやうだ。要するに夏の滿洲兒童には學習よりも保健を先にしてやるべきだと私は考へる。

教專讀物調査會 推薦兒童讀物

一、狼少年　動物の世界を描いてこれ程想像の豐かなものはないしかもこの内に常に正しいものゝ力と善良さとが動いて居り、讀むものゝ心を明るくする。キツプリング作、小島政二郎譯、金の星社發行、四六版[illegible]、尋常四年以上、價一圓二十錢

二、世界少年立志傳（外國の卷）　ホーレングリーリー、ジエムス・ガーフィルド、ジエムスワツト、ベンヂヤミンフランクリン、アイザツクニユートン、ウイリアムリグレー、グラツドストーン、エブラハムリンカーン以上八人の立志成功物語で、行文流麗にて物語も興味深きものである。修身の教材としてもよいもの、久米元一著、金の星社刊、四六版裝幀中、尋常五六年以上、價一圓五十錢

三、少年世界地理文庫　地理の書物でこの位面白く書いた本は尠い。專門的な記述ではないが大人にも興味深い好い本である。寫眞が幾分不鮮明ではあるが數多く挿入されてあることや、索引が附いてゐることも便利である。西龜正夫著厚生閣發行、裝幀中、五年以上、價一圓五十錢

▲推薦せざりしもの　學校用沙翁劇脚本（三浦成作厚生閣）少年日本外史南北朝の卷（三浦和川、金の星社）デンマルク童話集（大戸喜一郎、金蘭社）新しい學藝會（奥野庄太郎、集成社）母と讀本（家庭教材研究所、博文館）小學生年鑑（川村耕助、北隆館）兒童文章學一—六（菊地知勇、文録社）短い對話と小さい劇（長尾豐、厚生閣）女流十人集（佐伯孝夫、寶文館）

夏の隨筆 蓄音機

園山良之助

◇

去年の夏休日中蓄音機攻めに遭うて、とうとう神經衰弱になつた。二週間程海岸へ行つて癒やしたが、今年も亦蓄音機攻めに遭うらしい。借家住居のなさけなさ。あゝ、郷里へ歸りたい。折角多少滿洲に落付いた氣持になつたのに、又々懷郷病に襲はれる。

蓄音機攻めといふのは私の借家（市營住宅）の四方から晝も夜ものべつに蓄音機に攻められる私の身の上をいふ新熟語である。

◇

蓄音機について考へる。そのレコードで主人の趣味の程度が窺ひ知られる。趣味の高い人が高尚な音樂を好むと同時に、なんと低級なレコードを揃へてゐる人のあることよ。私の神經衰弱になるのはこの低級のジャズ物の連續に攻められるが爲めである。あゝたまらぬ今夜もまた始まつた。暑いけれども窓を閉ぢて居ると多少は音が小さくなる。好いレコードが（獨り聞く程度の音量で）かすかに風に流れて來るのは、讀書の合間々々、時には感謝しながら聞く。惡いジャズをのべつにやられるのはもう腹の立つ域を通り越して身の置き所もなく、とうとう我家を他に外出してこの環境からのがれる。あゝ修養が足らぬ。私はこの蓄音機の音を苦にする程平凡な讀書子である。

◇

その低級のジャズ音樂を晝も夜もやるのは子供のお守のためなのかとよく見ると、たゞそう好きであるかららしい。一方蓄音機が鳴つて居り、一方そこの人々は話したりなにかしてゐる。敢てその音樂を聞いて居るのではない。不思議なる蓄音機病者である。

そこでこの蓄音機の子供に及ぼす教育的結果を眞面目に考へた。

家族が蓄音機の騒音中にゐることを好むから子供も敢てそのレコードを聞くのではなく等しくその騒音中に遊んで居る。この子供は物に專心になり得ない精神の統一が出來ぬ。斯うした子供は學校へ行つて一心に先生のお話を聞く事が出來ない。心が常にそのジャズレコードの中に育てられる如くフラフラとして騒々然雜々然たる心境に夢化しつゝあらう。

◇

そこで蓄音機についての結論をつくる。レコードの精選。なるべく子供の精神の落ちつく樣な音曲を選ぶがよい。それは西洋の名曲がよい。さすがに西洋の名曲は何時きいても、何度きいてもいゝ氣持である。日本物には子供にすゝめる樣な物は一寸見當らない。所謂子供向に賣られて居る曲は感心されぬ。學齡に達しない子供にきかすレコードもやはり西洋名曲がよいと思ふ。ジャズ式の童謡曲から教育的價値は認められぬ。學齡に達した子供には學校で教はる歌ほどで澤山だ。家庭で童謡曲のレコードによつてまで教へなくともよいし、聞かせなくともよい。童謡は名の如く童謡で、そんなに尊いものではないのである。子供は一日々々伸びつゝある。一年生の童謡をいつまでもよろこんできいたり作つたりする樣では駄目である。

◇

蓄音機の聞かせ方。苟くも蓄音機をやるなら（ラヂオも同樣です）專心傾聽せねばならぬ、そして曲を味はふのである（雜話しつゝ、又は何か他のことをしながら蓄音機をやつてはいけない）音はさうして名曲を聞くうちに自然に解る樣になるし又その名曲のために高雅なる品性が陶冶されるのである。

次に蓄音機をやる日をきめる。レコードの夕とかして一週一回土曜の晩、或は二回水土位にして、家族一同打寄つて專心愉快にきくがよい。毎晩同じレコードを聞かなくとも、子供の手本にもなるから讀書をするがよい。子供のない人も讀書せらるゝ樣にお勸めする。又一回に何十枚と財産全部やらずとも五枚とか七枚とかやつたらよからう。所謂知足安分をおすゝめする。いかにこゝは滿洲だとて然く享樂氣分になることは郷里の父母に對して[illegible]の感無きや、と申したい。

奬學會員の金剛山探勝
八月十二日出發

大連奬學會研究部では毎年夏季に會員の視察旅行を行つてゐるが本年は八月十二日大連を出發朝鮮各地の視察及金剛山の探勝を行ひ歸途は芝罘及威海衛方面を見學二十二日歸連の筈、一行は左の十二名である

藤田藤五郎（伏見臺）金栗良二（日本橋）下田茂七郎（常盤）外河勝良（大廣場）甲斐清作（春日）木村稻次（南山麓）山口福次郎（沙河口）小林德次郎（大正）川所竹一（周水）三橋正文（土佐町公）岩本幸吉（沙河口公）外に本部より一名

滿洲水產會社重役 愈よ辭職に決す

きのふ關東廳へ認可方を申請

不正事件に絡んで

司直の手によつて明るみにさらけ出され遂に專務取締役佐治大助氏の收監を見たる滿洲水產會社並に關東州水產會に絡まる不正事件は各方面に意外な波紋を描いたが、水產會社重役連中も甘んじて職にあるを快しとせず、十九日取締役たる高田友吉氏に對し各重役全部はそれ〴〵

辭表を 提出するところあつたので、高田氏は即日右辭表を取纏め監督官廳たる關東廳あて辭任認可の手續を申請した、なほ辭任を申請したものは左の如くである

取締役 高田友吉氏（大連）
同 相生由太郎氏（同）
同 山口世基氏（旅順）
同 平井大次郎氏（大連）
監査役 相生常三郎氏（同）
同 三井權三郎氏（同）

右につき當の高田友吉氏は一應關東廳の認可を經なければ

辭める わけに行きません、やめる理由ですか都合によつてやめるんです、矢張り知らない顔も出來ずやはり責任を感じたんでせう

と多くを語らなかつた

收監の三名 保釋さる

水產事件の渦中に卷き込まれ收監中であつた高橋德造、鐵山貞藏、木野村間太郎の三名は十九日午後五時半ごろ保釋それ〴〵歸宅を許

夏の港風景

太公望の舢舨取締りに「手を燒く水上署」

夏の涼風に身心を委ね竹竿一本握つてあいなめ、ちぬ、めばる等を漁るも近頃の港風景の一つであらう、釣魚シーズンに入つて埠頭防波堤外から北大山通り海岸より一文字一帶にかけて最近、釣魚ファンの舢舨が殺到してどの舟もく面白い程釣り上げてゐる殊に夜釣りの興味は一度經驗したものには忘れられない魅力がある、從つてそれ等の釣舟の中にはウカ〳〵と禁漁區域の防波堤內に侵入し航行船舶の交通妨害となる向きも少くないので當地水上署でもこれが取締に手を燒いてゐる

張學良氏第二夫人 ゆふべ避暑に來連

張學良氏第二夫人は大連に避暑の目的をもつて十九日十三時半離奉、廿時三十分大連驛着、南山麓なる別莊に向つたが一行は夫人ほか四名である（寫眞はゆふべ大連驛で）

先づ關西大學 滿倶に惜敗

きのふ第一回戰績

2A――1

關西大學對滿倶第一回野球戰は十九日午後四時二十分より關大先攻にて中央公園內滿倶球場にて擧行二A對一にて滿倶の勝に終る、球審岩瀬、壘審安藤（兄）、田中三氏

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
關大 得點	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
關大 安打	1	0	0	1	2	0	1	1	0	6
關大 敵失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滿倶 得點	0	0	0	0	0	1	0	1	A	2
滿倶 安打	1	1	1	0	0	1	0	2		6
滿倶 敵失	0	0	1	1	0	0	1	1		4

▲第一回 關大豐田三振、三木左飛、櫻井右中間に三壘打、坂井左飛△滿倶吉野左前テキサスに出で永澤の犧打に進壘、長澤三振、片岡二飛（兩軍零）

▲第二回 關大本田二飛、小田遊飛、小西二飛△滿倶井上三振後兒玉二壘上を拔く安打に出で綠川中飛、吉富三振（兩軍零）

▲第三回 關大小寺三飛、川村中飛、豐田右直△滿倶疋田三振後吉野遊飛一失に生き永澤の投手足下を拔く安打に進壘、長澤三振、吉野三盜、片岡の右飛に二者殘壘（兩軍零）

▲第四回 關大三木中飛、櫻井二飛、坂井三壘の頭を越すゴロの安打に出でしも本田三邪飛▲滿倶井上三振後、兒玉二飛失に出で綠川の遊飛に封殺 吉富二飛（兩軍零）

▲第五回 關大小田遊飛安打、小寺の二飛に三進、小西の犧打に進壘、川村の右前適時安打に小田最初の一點を擧ぐ、川村二盜の時捕逸に乘じ一擧三壘に走りて刺さる▲滿倶疋田中飛、吉野遊飛、永澤三振（關一滿零）

▲第六回 關大豐田中飛後、三木死球に出で二盜に刺され櫻井中飛▲滿倶長澤中飛片岡左中間を拔く絶好の三壘打に出で（井上に代りて濱崎起つ）濱崎の右犧飛に片岡生還同點となる、兒玉三振（關零滿一）

▲第七回 關大坂井三飛、本田二飛、內野安打、小田の遊飛に重殺さる△滿倶綠川遊飛暴投に一擧二進せんとして一壘手にタツチされ吉富三飛、疋田遊飛（兩軍零）

▲第八回 關大小西遊飛後、小寺投手頭上を拔く直球安打し直ちに二盜せしが川村の投飛に二三間に挾殺、豐田遊飛△滿倶吉野右中間に二壘打し野手のトンネルに三壘に達す、永澤三振後、長澤のバント絶好の內野安打となり吉野生還、長澤二壘手の留守に乘じて二盜し、投手の暴投に更に三進、片岡の二飛に長澤本壘に走りて刺され二死片岡一壘に據る、濱崎右飛（關零滿一）

▲第九回（濱崎プレートに起つ）櫻井三振、坂井四球ピンチヒツター飛田一邪飛、ピンチヒツター出島立ちしも坂井の牽制球に釣られて死し萬事休す、時に閉戰六時五分

（關大）

打順	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
4	豐田	4	0	0	0	0	1	0	1
6	三木	2	0	0	0	0	0	1	1
H	飛田	1	0	0	0	0	0	0	0
3	櫻井	4	0	1	0	0	1	0	1
9	坂井	3	0	1	0	0	0	1	0
1	本田	3	0	1	0	0	0	0	0
p.H	出島	0	0	0	0	0	0	0	0
7	小田	3	1	1	0	0	0	0	0
8	小西	2	0	0	1	0	0	0	1
5	小寺	3	0	1	0	1	0	0	0
2	川村	3	0	1	0	0	0	0	0
	計	28	1	6	1	1	2	2	4

（滿倶）

打順	選手	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
5	吉野	4	1	2	0	1	0	0	0
4	永澤	3	0	1	1	0	2	0	0
6	長澤	4	0	1	0	1	2	0	0
2	片岡	4	1	1	0	0	0	0	0
7	井上	2	0	0	0	0	2	0	0
71	濱崎	1	0	0	1	0	0	0	0
17	兒玉	3	0	1	0	0	1	0	0
8	綠川	3	0	0	0	0	0	0	0
9	吉富	3	0	0	0	0	1	0	0
3	疋田	3	0	0	0	0	1	0	0
	計	30	2	6	2	2	9	0	0

二壘打 吉野一　三壘打 櫻井一 片岡一　殘壘數 滿倶九 關大三　併殺數 長澤―永澤―疋田　審判 岩瀬（球）安藤兄、田中（壘）　試合時間 一時間四十五分

關大對滿倶二回戰

けふ午後四時＝滿倶球場で

スタンドから

船の渡れが非常に影響を與へたので あらうが關大の本多を助けるバツクメンは餘りにも弱かつた、あれでは本多投手が如何に奮鬪したとしても到底勝味は少いで あらう、關大の選手は餘りにも本多投手に頼りすぎてゐる、今少し各自が各自の力をみがいてほしい、本多投手はそのスピードのある左投手特有のシユートボールは完全に滿倶の打擊を封じてゐた▲この日の滿倶は芥田宗正の兩選手が病氣不出場のため實に其の外野は淋しかつた、そしてそれは打擊方面にも可なりに大きな打擊であつた、加ふるに兒玉投手の調子は同君としては決して好い方ではなかつたスピードも少く直球に自身なく多くはインコーナに這入るアウトカーブで攻め立てたが、それを全く打ちあぐんでゐた關大の打擊は一概に船に疲れてゐたからとは言ひ切れぬと感ふ▲結果に於て勝つたから良かつたが七回綠川のアウトは一壘コーチヤーを責めねばならぬ、即ち無死綠川の遊匍は三木一寸フアンブルして一壘に暴投し球は後の見物席前の塀に當つて彈き返り運良く一壘手の前に來た、綠川はてつきりパスボールと思つて二壘に走らうとスタートをつけたそして一壘が既に球を持つたのを見て走壘を止め亦思ひ返して走らうとしたが既に其の時球を背中にタツチされアウトとなつた、球場規則は取り次第である實に輕視出來ない失策である、殊に先日同じ樣な失策が片岡によつて行はれたに於ておやである

された

小銃射擊會

あす擧行する

第三十一回小銃射擊會は雨天のため延期のところ二十一日午前八時より市內春日池射擊場に於いて擧行されるが、曩に中村西郡兩幹事より寄贈の優勝盃もあり會員は勿論一般の參加も多數あらう

清水選手歡迎會

滿鐵硬球部では二十一日中央公園コートに於ける清水善造氏歡迎試合終了後直に西園亭に於て清水氏の歡迎晚餐會を開催の筈で出席希望者は二十日迄に體育協會又は滿鐵硬球部三浦氏宛申込まれ度いと

防空演習

火蓋を切る

【名古屋十九日發電】名古屋市防空演習第一日は午前五時頃より乙國（攻擊軍）の根據地たる三方ケ原飛行場と甲國（名古屋防禦軍）の飛行根據地小畑原より相互に偵察機を飛ばし敵機の來襲に備へる內午前十時敵機六機三方面より名古屋市を襲ひ盛んに爆彈を投下し市內各所の高射砲之に應戰し小畑原より十七機之を邀擊するなど大戰亂となり市內各所に火災起り（假裝）市民自衞隊の消防演習が行はれた尚二回目の襲擊には毒瓦斯演習を爲し今夜は燈火管制をして敵の夜襲に備へる筈である

河童連の人氣を呼んだ 母島への競泳大會

愈よ明日眞砂浦海水浴場で擧行

讀者へ福引券贈呈

眞砂浦海水浴場では明二十一日の日曜には來場者非常に多かるべきを豫想し昨報のごとく同日午前十一時より同海水浴場前方約千五百米突の地點にある母島より海水浴場までの競泳大會の

壯擧を 試むべく發表したところ、各方面に非常のセンセーションを惹起し、昨日のごときわざ〳〵實地檢分に赴いた者もあり、競泳には強い自信を有する大連運動場プールの常連も出場したいと意氣込んでゐる、母島より岸までは三十分以上四十分前後にて橫斷し得らるべく出發點より既に

視界の 裡にあるのであるから、海水浴場に游泳してゐる者は一目してその競泳狀況を知り得べく殆ど同時刻は滿潮時であるから非常な喝采を博することであらう、更に同日は本紙刷の讀者祭持參者先着一千名に限り會場入口に於いて福引券を引換に交附して午後一時より福引景品の引換を開始する、而して一千本の福引中

空籤は 一本もなく反物類、シヤツ、子供の學用品その他種々の物品ありこれまた海水浴歸りにふさはしいみやげ物を手にすることも出來、湧くやうな賑はひを呈するであらう

マストが折れて 損害の擦り合ひ

英汽船と滿鐵埠頭で

船のメインマストが折れて、その損害がどちらにあるかと、一英國船と滿鐵埠頭との間で問題になり早廿日を爭ひの裡に過してゐるカウオーシップコンパニー所有ゴゴベール號（四五八二噸）は本月一日上海より大連入港、三十番バースに繫留され三日午後六時過ぎ硝子類、鐵器類の

荷揚中 約一噸餘の鐵板を揚げた拍子に後部甲板のメインマストが約八尺許りの邊よりクニヤリと曲がつて荷役中止のやむない狀態に陷つた、右につき船長ジヨンウイリアム氏は

本船は航海中常にステイ（マストを張つてある綱線）を航海中張るが荷役の時は外すのを常としてゐた、でこのステイを外してゐても五噸位は

平氣で 積めるのだ、どうも荷役振りが亂暴だつた樣に思ふ

と頑強に滿鐵埠頭側の非を鳴らしこれに對して埠頭では

ステイを外して荷役をするなんて初めから間違つてゐる、殊にあの船のマストは一軍張りで二軍に張つてないのから既に間違つてゐる

とこれまた斷然ゆづらず一先づロイド保險のステム氏の斡旋を經て滿洲ドックに入渠約四千圓を投じてマストを修理したが、船長は「俺のサインが無いのに

矢鱈に 船を變造するとは怪しからん前通りにせよ」と迫り漸く一昨日出渠して來た、この間全部の損害高は約一萬二千四百餘圓、船側では滿鐵側に出費を迫り滿鐵では當然船が支拂ふものであると頑張つて今日なほ紛糾中であるが、船は一切を當地領事館に委ね廿一日出帆すると（寫眞は問題の英汽船）

GOGOVALE

青島中學野球團 けふ大連着

午前十一時着榊丸で

中等學校野球滿洲豫選會に出場すべき青島中學校野球部一行十五名は江島野球部長引率の下に今二十日午前十一時入港豫定の榊丸にて來連することゝなつた

庖丁を振ひ 人妻を脅迫

犯行後十時間で犯人捕はる

十九日午前二時ごろ大連常陸町五六人力車夫趙義かたへ年齡廿四、五歲、一見苦力風體の支那人強盜現はれ折柄留守中の妻趙氏へ對し刄渡り五、六寸の庖丁を突き付け「金を貸せ」と脅迫の上、枕下に隱して置いた白布包の大洋二十圓を强奪し逃走した、同十時ごろ附近日本橋派出所ではこの屆け出に接し搜査中、同日午後零時十分ごろ奧町八五泰東日報社裏に一名の怪支那人が潛伏し居るを發見、針木、小泉兩巡査が協力し格鬪の上逮捕し嚴重取調べた處

この者は原籍山東省沂州府莒州府當時住所不定無職宮玉山（二四）と云ひ右眞犯人たる事は勿論常陸町五六菓子製造業宋永祥（五五）の教唆を受け行つた事を自白したので宋永祥も同時に取り押へられ直ちに大連署に留置された、目下引き續き取調中

取調べ中の犯人 隙を窺ひ逃出す

きのふ大連署の失態

大連署では十八日午後五時ごろ名古屋事局の勾引狀により逮捕した大連西公園町四齋藤法律事務所事務員寺出注吉を取調中、突如隙を狙つて逃走された失態事件があつた、右勾引狀は名古屋檢事局から當地檢察局へ執行方依賴し來つたもので

檢察局 からの命で大連署司法保安刑事が身柄を同行と同時に刑事室において取調中、小便を催したので居合した巡捕に見張りを依賴し便所に行つた隙に乘じ脫兎の如く逃げ出し姿を晦まされたものである、事件は大連署に於て極秘に附してゐるので罪名の如きも判明しないが詐欺罪らしく、目下各方面に手配し搜査してゐるが未だ發見逮捕には至らない、尚寺出は來連と同時に堀出と僞名してゐたものである

けふのラヂオ

昭和四年七月二十日（土曜日）

自午後三時五十分 野球連絡放送（滿倶對關大二回戰）

自午後七時三十分

一、ニユース

二、趣味講座（童謠舞踊基本練習）櫛木龜二郎

三、講話（夏休中に於ける小學兒童の保護者へ）嶺前尋常小學校長 榊原參藏

四、ハーモニカ（二重奏イ、ロングアゴーロ、荒城の月、三重奏ラ、パロマ）グレートダイレンハーモニカソサイテイ 廣瀨進、增本京平、田崎英雄、小川良平

五、浪花節（肉付面）木村近衛

六、支那唱（十八枉）唱劉金順、師付王鎭泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

第參拾貳回決算公告

貸借對照表（自昭和四年一月一日 至昭和四年五月卅一日）

貸方（負債之部）

科目	金額
株金	七五〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	二九、三五〇・〇〇
償却積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
社員退職資金	[illegible]
身元保證金	[illegible]
證券保管借	[illegible]
擔保貸借	[illegible]
取引店借	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂手形	[illegible]
支拂手形	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
遼東勘定	[illegible]
當期純益金	[illegible]
計	一、一四二、五八九・〇二

借方（資産之部）

科目	金額
土地建物	[illegible]
機械器具	[illegible]
貯藏品	[illegible]
有價證券	[illegible]
振替貯金	[illegible]
銀行貸借	[illegible]
支社支局勘定	[illegible]
新聞未收金	[illegible]
廣告未收金	[illegible]
印刷未收金	[illegible]
假拂金	[illegible]
受取手形	[illegible]
金銀有高	[illegible]
奉天日勘定	[illegible]
紳士錄勘定	[illegible]
計	一、一四二、五八九・〇二

株式會社滿洲日報社

長男千里儀永らく病氣の處藥石効なく昨十九日午後三時半死去仕候間此段謹告仕候也
追而葬儀は今二十日午後三時半途中行列を廢し沙河口常安寺に於て執行可仕候
大連市山城町三
父 行谷 藤吉
外親戚友人一同

祖母所琴儀豫而病氣之處養生不相叶昨日午後三時永眠仕候に付此段謹告仕候也
追而本二十日午後四時沙河口西照寺に於て葬儀相營み申候
昭和四年七月廿日
喪主 琴子
しげ
五郎
親戚 一同
友人 一同

愛慾の窓（44）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

金（四）

小日向台町の高台の中腹に、不細工なボール函を伏せた様な恰好で、二階建の西陵アパートメントは建つてゐた。草野久彦はそこの二階の一室に、獨身生活の簡易な下宿生活を送つてゐた。

昨夜、邦樂座の「妖花アラウネ」を中途で逃げ出すと、彼は苛々しながらも、自らすゝんで小森と仁科美知子の危險な間へ飛び込む勇氣のなかつた自分の弱氣に愛想をつかして、餘り飲ける口ではなかつたけれども、半ば自棄的な氣持で、カフエーを二三軒歩いた。まるで手に負へない泥醉漢がさうであるやうに、彼は緒子を失うて以來、バアやカフエーの梯子飲を習慣としてゐた。知らず識らず、亡き初戀人の面影を求めて、それからそれへと知らぬカフエーの闇を押て歩き廻つてゐるのであつた。そしてこの悲しむべき習慣から、久彦はもう當分は逃れることが出來ないやうな氣がして、それがまた二重に彼を悲しませるのだつた。昨夜も、住居の西陵アパートメントへ戻つて來たのは何時頃であつたらうか、彼はそれほど飲んでもゐなかつた割には、いつもよりひどく心身共に疲れて、上衣だけを向うやら脱ぐと、そのまゝ寢床へ倒れ込んでぐつすりと寢込んでしまつたが、朝、窓懸にかあつとあたつてゐる陽の光に眼を醒すと、咽喉の渇きと頭の疼きが、急に感じられて來たので、ふら〳〵と床を離れ、小卓の上の水[illegible]手を伸ばすと、そこに一通の手紙を發見したのである。

取上げてみると、帝國ホテルにゐる友永からの速達だつた。大分部厚な内容の角封筒だつた。いふまでもなく、昨夜のうちに屆いてゐたものにちがひない、昨夜戻つて來た時に、既にその小卓の上に置かれてあつたのだらうが、氣が付かなかつたものと見える。御直披としてある文字も物々しい。久彦は額にうるさくかぶさつて來る髮を掻きあげると、どかりと椅子に腰を落して、友永からの手紙を讀んだ。

それは久彦も豫期してゐたとほり、小森英輔の身元調査の一件に對する督促であつた。もう約束の期日だから、この間から他の所用もあるにかゝはらず、いつ何時君からの電話があるか、或ひは來訪を受けるかも知れんと思つて、外出もせず心待ちにしてゐたのにとか、何度社の方へ電話を掛けても通じないので、お宅の方へ二度も掛けたが、もうそろ〳〵お歸りの時分ですが……といふ返事で君は留守だつたとか、諄々と恨み言を連ねた後に、さてとペンを改めて友永は次のやうに書いてゐた。

——君の方は一向に要領を得させてくれないんだが、ふとしたことから小森英輔君の素行上、ひんしゆくすべき事實を知り得たので、僕はむしやくしやしてゐるんだ。君に會ひたい。會つて君の意見も伺ひたい。勿論小森に關する事件は、倭文子には絶對祕密に知らさずにゐる。知つたら彼女は嘆くだらう、悲觀するだらう、といふのは、僕の察するところでは、妹は心ひそかに小森を愛してゐるらしいから……

久彦は、唇を歪めて暗い微笑を洩らした。

あの美しい——亡き初戀の女に似てゐる婦人が、小森に愛を寄せてゐる、さう思ふと、久彦は憂鬱だつた。それに手紙の文面からも察しられるが、友永も困惑してゐるらしいので、何か事件が生じたのであらう、よし、今から訪ねて行つてやらう……と、久彦は痛む顳顬を指でおさへながら、力無く椅子から腰を擡げた。と、そこへ受附のばあさんに案内されて、久彦には思ひも設けなかつた美知子が姿を現したのである。

「……お！これはく！さ、何卒おはいり下さい！」

滿日文藝

滿日柳壇

「扇風機」　高橋月南選

奉天　連樂
扇風機向け直された客が來る
招財猫の背一ぽいに扇風機

撫順　卓坊
客人も手傳つてゐる扇風機
扇風機前を小猫は丸く避け

大連　桂馬
外交員一と風入れる扇風機

大連　久代
香水の自慢扇風機へすがり

旅順　辰雄
社長室扇風機だけ同じ型

旅順　蓮水
孫乳が背中でうける扇風機

金州　背月
大廣間電扇だけの[illegible]の音

大連　農夫
地下室は扇風機丈の風で生き

旅順　天幕
暑さから黙つたやうに扇風機

春川　鶯樓
買ひに來た店に嬉しい扇風機

旅順　夏山
扇風機得意で語る課長の子
顔なしみ女給が向ける扇風機

新刊紹介

▲西陲哀話血は麗らかに躍る（新納元夫著）惡鬼羅刹の[illegible]君に仕へる姫百合の如き[illegible]り、一國一城の危難を[illegible]なるに加へて艶麗花の如[illegible]從ふ若侍二十人の殉死の[illegible]一國の悲慘な最後、[illegible]等の魂魄が荒涼たる地上の姿を現はし[illegible]力に對する[illegible]の抗爭人情風俗の千態萬[illegible]重疊を極む・因に著者は[illegible]生んだ文人にして[illegible]文は熱あり氣品あり近[illegible]たるを失はぬ（定價二圓　特價一圓八十錢大連市[illegible]通商工會議所深谷英一[illegible]）

▲アラビアンナイト（中島[illegible]世界童話全集中の一册）[illegible]ンの英譯本中から代表[illegible]白いものゝみを選み多數[illegible]を入れて話は數よりも[illegible]を出來るだけ詳しく譯[illegible]處が特色でたまらぬ插畫[illegible]夏讀者として大人にも[illegible]さるゝであらう（非賣品[illegible]所東京市神田牛込區若松[illegible]近代社）

夕刊 滿洲日報 七月十九日

露支折半の妥協提議を勞農側は一蹴し去る
呂督辦とチ副理事長の會見 遂に物別れとなる

【ハルビン十八日發電】東鐵副理事長チルキン氏は本國への引揚を前に十八日東鐵督辦呂榮寰氏と東鐵問題につき最後の評議をなしたが、督辦が露支協定に基き總て露支折半主義で平和的に解決を圖るべしと妥協的態度に出たるに對し、チルキン氏は折半主義ならば露國は赤衞軍を北滿に入れ露支兩軍で東鐵の守備に當るべきであるが、斷交を宣言せる今日既に遲しと逆襲し、露國の決意固く物別れとなつた露國が國際法上正當の權益擁護のため最後の手段に愬へるに際し日本の中立態度嚴守の件につき日露間に諒解成立したものと一般に解されてゐる

國民政府は十九日中に東鐵事件を中外に聲明
昨夜首腦會議にて決定

【上海特電十九日發】國民政府はロシアが對支第二次通牒を發して國交斷絕を宣言したとの報に接するや十八日夜、蔣介石、胡漢民氏等の首腦部參集して緊急會議を開き協議の結果、國民政府は近く宣言を發して東鐵事件の經過を世界に向つて聲明するとともにロシアが若し支那に向つて軍事行動に出づる場合あらば是れ曚かに不戰條約に違反するものであるから支那は正義のため奮鬪し防衞に努めるといふことを附言し世界各國の同情を希望するに決した此の宣言書は十九日に發表を見るであらう

支那側妥協空氣濃厚

【南京十八日發電】國民政府部內には今一度兩國會議を提唱し勞農に反省を促すべしとの空氣濃厚なりと傳へられてゐる

對勞農方針纏まらず

【南京十八日發電】外交部より國交斷絕の報を受けた蔣介石氏は午後三時官邸に胡漢民、孫科、戴天仇氏等以下の國民政府要人を集め緊縮最高會議を開き之が對策につき協議し午後六時に至り漸く散會したが、各要人の意見區々で纏まらず明日王正廷氏の歸京を待つて更に會議を開くことゝなつたが取敢ず張學良氏に對し國境嚴重警備方を電命した

斷交中の權益保護依賴
露支兩國より獨政府に

【ベルリン十八日發電】勞農政府はドイツ政府に對し露支外交斷絕の期間中支那における勞農の權益を保護されたき旨要求した、又支那政府もドイツ政府に對し同樣露國における支那の權益を保護されたいと申し出た、而してドイツ政府は露支兩國の要求に同意せるものと解せらる

勞農の太平洋政策失敗
支那に築いた勢力は遂に崩壞

【ハルビン十八日發電】ロシアは建國十有餘年來國力の充實を圖りつゝ國策遂行の見地から對外的には平和政策を識ぜんとして來たが、對西歐策に失敗して以來東洋は西歐を埋める穴なりとの故レーニンの遺訓に基き太平洋政策の遂行の爲め從來アウリンヨツフエ、カラハン氏等の一流外交家を支那に送り晴天霹靂の感ある一大勢力を支那に扶植し列國を驚嘆せしめたが、東支鐵道問題を轉機として愈々對支國交斷絕を宣言するに至つた、斯くてロシアが千九百二十九年七月十八日を期して支那より完全に手を引いた事は種々の意味に於て國際史上に新エポツクを出すものであるとされてゐる

日本の理解ある行動を望む
駐平勞農代理大使談

【北平十八日發電】露國大使館は露支國交斷絕館員引揚の命令に接し天津總領事館を始め各地關係者に右命令を傳達すると共に引揚準備に忙殺されてゐるが代理大使スベルワニツク氏は往訪の記者に左の如く語つた

本國政府より今日午後對支外交關係斷絕及引揚命令に接したが鐵道不通の爲日取は未だ決定してゐない、白系露人は何等關係なくホルワツト、セミヨノフ氏等の策動說は全然問題ではない余等の引揚後本國政府が如何なる行動に出るか御想像の通りで十分勝算はある、露國は何れの國でも壓迫するものに對しては容赦はしない、此際日本に望む處は露國と理解ある友好關係を保たれん事である

荻川放談(69)
東支鐵道(其二)

遣支支那の哈市露國總領事館捜索は縱し此必要があつたとしても其遣り口はまずい、殊に捜索の結果を東支鐵道沿線に於ける露國共產黨狩に持つて行くにも露國との國交を踏みつけた傾きがある、云ふ勿れ露國とは國交斷絕じやと、之を國民政府は云ひ得るかも知れん、併し東北四省の政權を代表する奉天官憲は現に奉露協定に基き、露國と北滿に交友の誼を保たんとするもの、此官憲から國交斷絕の口實は理に合はぬ、況んや此共產黨狩を機會に露支合辦たる東支鐵道の事業に斧鉞を入れし如き露國の憤怒を招くは當然である。

◇

尤も露國は東支鐵道に共產黨を養ひ、之で過去の如く再び支那を赤化せんと企て、それが奉露協定に牴觸せしことは否まれぬ同時にまた東支鐵道經營の上にも同協定を遵守せぬ點があつて支那は之に對し幾度か抗議を重ねて居る、併し共產黨狩は治安維持の爲で、東支鐵道の經營とは別箇の問題に屬す、それで縱し對共產黨狩に多少國交を踏つけた傾きあつたとしても、露國は之に向つて餘り强くは出られまいが、これと共に別箇の問題たる東支鐵道に踏込んだので、支那は露國に抗爭の緒口を與へた。

◇

如何に露國が東支鐵道經營に奉露協定を遵守せねばとて、國家治安關係と違つて、其解決には、それぞれ機關が備はる、若し這次國家治安關係とともに、本問題にも解決を與へんと欲したなら、それも惡いとは云はぬが、一應は當該機關を通して先方に其豫告こそ國際の禮儀なるべきに、支那は之を爲さなんだ、近時支那の外交は皆此遣り口で、對者に頓着なき放縱振り、夫れ此等を暗黑外交と謂ひ、支那は實に本外交を露國に學び、今これを其師匠に使向す、露國も憤怒しながらに苦笑を禁ぜられまい。

◇

こゝに露國と支那とは暗黑外交で抗爭す、誰か烏の雌雄を知らんやで、而も北滿では東支鐵道を中心に、一方が他方を互ひに奉露協定破壞者呼はりして、裏に違つた魂膽あり、乃ち支那は東支鐵道を無理に自己の掌中に收めんとし、露國は此處を極東赤化の根城たらしめんとし、醜き喧嘩の起るもこれからである、露國としては、在ゆる權益を支那に返附すると云ひし、レニンの聲明に戾るが如きとて支那が其聲明に附込んで、此行爲より、支那から喧嘩を賣られるは止むを得ぬが、されば一たび之が爲めに改められた東支鐵道の新協定、乃ち奉露協定を蹂躙する如きそれが褒めたことでないのみか、刻下に支那が要望しある外資などは其邊の危惧より終に支那に入らないことゝもならん。

敵對行動を避けて滿足な回答を待つ
勞農、和戰兩樣の準備

【ロンドン十八日發電】エクスチエンヂ、テレグラフ通信社の報道によると、赤衞軍は休養地より急に呼び返された、其理由は

一、勞農が滿州國境に策動のため有力航空隊を集中する事
二、國境にある步騎タンク隊を增援する事
三、レーニングラード及莫斯科の衞戍兵を增援する事
四、和戰兩樣の準備をなし置く樣警告する事

勞農政府は此示威手段を執ると共に實際に敵對行爲に出る事は成るべく避け同政府の公文に對しては支那より鄭重なる回答の來る事を待ち受けてゐる

北滿に在住する白系軍人は七萬
連絡して再起の機を待つ 前東鐵長官ホ氏談

【北平十八日發電】露支國交風雲の急に乘じセミヨノフ將軍は北滿に分散せる白系軍人を糾合して緩衝國を建設すべく、當地墺太利公使館に隱遁中の前東支鐵道長官ホルワツト氏にも蹶起を促したが、ホ氏は訪問の記者に對し美事な長髯を撫しつゝ語る

今回支那が赤露の赤化宣傳を防止する爲め起つたのは正當な行爲で赤露は世界の敵である、日本は未だ直接赤化の害毒を受けてゐないが支那が赤化すれば次で日本に侵入するは必然である此機會に日本は愼重に考慮して善處せんことを望む、滿洲シベリアには現に七萬の白系軍人があり相互に連絡して機會を待つてゐたものである、只軍資金缺乏の爲め旗擧げ困難であつたので今次余に對し頻に奮起を慫慂してゐるが、未だ其時機でないと回答してゐる次第である

英米對策協議

【ハルビン特電十九日發】十七日當地アメリカ領事は英國代理總領事を訪問し長時間に亙つて密談を遂げた模樣であるが、右は今回の東支問題に關しては列國共に頗る重大視してゐる關係上同問題に關し本國政府からの訓令に基きアメリカ領事が英國側の意嚮を聞いたものであらうと

歐亞聯絡遂に杜絕

【滿洲里特電十九日發】歐亞聯絡急行列車は遂に十八日より不通となつた

奉天の勞農官憲今夜引揚ぐ
大連經由で本國へ

【奉天特電十九日發】奉天駐在勞農總領事館は十八日午後五時駐日勞農大使館より引揚命令來着せるにより總領事代理マルテノフ氏ほか館員家族約十三名は十九日夜發大連經由歸國の途につくに決定した、不在中の事務は奉天領事團首席英國總領事ツール氏に依賴の筈尙東鐵商業部のモロゾーフ氏は奉天附屬地木曾町の自邸に在り、未だ我領事館に旅券査證に來らず、引續き奉天に滯在するものと觀らる

國交斷絕の諒解を求む
駐日勞農大使

【東京十九日發電】ソウエート大使トラヤノフスキー氏は十八日午後四時半外務省に幣原外相、吉田次官を訪問し露支國交斷絕の事情につき諒解を求むる處があつた

築港と製鋼所實現陳情

【新義州特電十九日發】新義州商業會議所に於ては十八日午後評議員會開催、昭和製鋼所及び多獅島築港等の重要案件を附議した結果濱口首相ほか各要路並に上京中の加藤會頭あて國家百年の大策上より愼重に考慮して是非之が實現を期すべき樣特に配慮ありたき旨打電した

三審議會の官制
十八日附で公布さる

【東京十九日發電】十八日公布された三審議會官制左の如し

・・・社會政策審議會官制

第一條 社會政策審議會は內閣總理大臣の監督に屬し其諮問に應じて社會政策に關する重要事項を調查審議す
第二條 審議會は會長一名、委員十五名以內を以て之を組織す、特別の事項を調查審議する爲め必要ある時は臨時委員を置く事を得
第三條 會長は內閣總理大臣を以て之に當つ、委員及臨時委員は之を勅命す
第四條 會長は會務を總理す、會長事故ある時は內閣總理大臣の指名する委員其職務を代理す
第五條 審議會に幹事長及幹事を置く、內閣總理大臣の奏請に依り內閣に於て之を命ず、幹事長は會長の指揮を受け職務を幫理す、幹事は上司の指揮を受け諸務を整理す
第六條 審議會に書記を置く、內閣に於て之を命ず、書記は上司の命を受け諸務に從事す
附則本令は公布の日より之を施行す

・・・關稅審議會官制

第一條 關稅審議會は總理の監督に屬し其の諮問に應じて關稅改正に關する重要事項を調查審議す
(第二條以下前に同じ)

・・・國際貸借審議會官制

第一條 本審議會は總理の監督に屬し其諮問に應じて國際貸借の改善に關する重要事項を調查審議す
(第二條以下前に同じ)

山本總裁の赴奉日程變更さる

山本滿鐵總裁は既報の如く二十一日着連二十三日午前九時奉天へ行く筈であつたが日程を變更し二十二日午後九時半急行にて赴奉尙奉天發も二十三日午後一時四十分大連着午後八時半に變更せられた

木下長官辭任挨拶
十九日朝來連

木下關東長官は十九日午前九時半滿鐵本社を訪ひ松岡副總裁始め各理事部長と會見し辭任挨拶をなし約半時間にして引揚たが尙大連市內各方面へも同樣挨拶をなした尙滿鐵では二十日松岡副總裁以下各重役が旅順に木下長官を訪問し挨拶を述べる筈である

國境の露支兵力
赤衞軍約四萬の本據はダブリヤ
支那側の兵數は五旅

【ハルビン特電十九日發】極東における赤衞軍の兵力は全部で約四萬でダブリヤ、チタ、ブラゴエスチエンスク及び浦鹽に分駐し時局によつて守備線は東部においてはグロデコーに主力を置きバラノフスカヤ、ニコリスク、ウスリスキーから虎林對岸に亙り西部では依然ダブリヤを本據にマツエフスカヤを前線としてゐる、又北部はブラゴエに主力を置いてゐる、之に對し支那側の國境守備は西部滿洲里には目下三旅の兵力を有し、東部綏芬並に北部黑河には各一旅で目下國境方面において示威的に對峙してゐる兵數は露支兩軍とも略同數であるが武器並に戰鬪力からいへば勿論支那は露國の敵でないといはれてゐる

綏芬、虎林に支軍集中

【ハルビン特電十九日發】露國側の東部國境方面への示威的軍事行動に對抗するため、支那側でも東部沿線各地の護路軍を綏芬に集中する一方當地駐屯の第二十二旅中一團約千三百名を十六日松花江によつて虎林へ送つたが黑龍江省でも萬福麟司令は黑河、滿洲里の國境守備のため目下奉天當局と打合せ中である

吉林軍二個聯隊出動

【ハルビン十八日發電】ポクラニチナヤ國境にて兩軍衝突の入電あり同時に長春駐屯の吉林軍步兵第五聯隊及步兵第十聯隊に出動命令下り今夜寬城子上り軍用列車にて輸送される事となつた

引揚赤系露人で哈市驛頭大混亂
列車每に殺到して

【ハルビン十八日發電】メリニコフ總領事は在留民に對し十九日中に本國に引揚ぐべしと命じたので赤系露人は列車每に停車場に殺到し驛頭は泣き騷ぐやら喧嘩やらで大混亂を呈してゐる

張學良氏、突如消息を絕つ
歸奉途中錦州附近で

【奉天特電十九日發】張學良氏は再度蔣介石氏より至急歸寧東鐵問題に善處せよとの電命に接し十八日避暑地北戴河發歸寧の途についたが錦州に下車せるものと見え今朝までには未だ着奉せぬ、因に張氏隨行者は外交顧問胡若愚秘書長王樹翰軍事顧問于珍東北指導委員吳鐵城等である

實行豫算繰延べ九千萬圓に上る
大藏省査定額を內示

【東京十九日發電】本年度實行豫算の大藏省査定額は十八日各省に內示されたが、夫によると節約繰延額は各省合計九千萬圓にして之に對しては復活要求をなす省もあるので其結果は尙相當の變更を見るものと觀られてゐる其內譯左の如し(單位千圓)

外務四五〇、內務二二、〇〇〇、大藏三、〇〇〇、陸軍二〇、〇〇〇、海軍一〇、〇〇〇、司法三六〇、文部三、五〇〇、農林五、五〇〇、商工一、六〇〇、遞信二〇、〇〇〇、拓務三、三八九

實行豫算審議の經過を報告
藏相、首相を訪問して

【東京十八日發電】井上藏相は十八日午後四時濱口首相を官邸に訪問し、本年度實行豫算審議の大藏省議を終つたのでその經過內容を說明して諒解を求めた

大觀小觀

◇國交斷絕の頭には既に銃砲の御見舞が飛んでゐるのが日本式。露支兩國ではなかなか簡單には參らぬ。

◇突然毆られたロシアが憤るのは不戰條約の精神に反するさうだ。ソレで毆つた方に同情せよと世界に訴へる。

◇斯樣な屁理窟を附けねばならぬほどの窮地に在る點にでも同情して見やうか。

◇國民政府俄に弱音を吐く。今度はロシアが附け上る番だ。

◇製鋼所爭奪運動が漸く猛烈となつて來た。此の邊に新內閣の手加減の餘地があるわけ。

◇明日より土用、いよいよ酷暑に入り、河童連活躍の舞臺。

天氣豫報

二十日 晴れ後曇り南東の風
日出四時四十二分日沒七時十六分
滿潮前九時五十分後十時
干潮前二時四十五分後四時四十分

各地の溫度

	十九日	昨日最高
大連	三〇、九	二九、一
旅順	三〇、九	二八、六
營口	二三、五	二四、七
奉天	二一、二	二一、一
長春	二五、四	二三、八

全國の覇權を目指し 若人の血は燃える

滿洲豫選大會迫る

來る廿二日本社で主將會議

全國中等學校優勝野球大會出場校を決する全滿中等學校野球大會は既報のごとくいよ〱來る二十四日より四日間本社主催のもとに擧行されることゝなつた、出場校は何れも甲子園の晴の舞臺を目ざして豫選會に覇權を掲ふものであるが、孟夏の炎威に屈せず練りに練つた妙技に加ふるに學生の本領とする純眞なるスポーツマンスピリツトを遺憾なく發揮して善戰すべく、開會の日を胸轟かしつゝ待侘つゝある、參加校は大連商業、奉天中學、青島中學撫順中學、安東中學の五校で明二十日着連する青島中學を筆頭に安東、奉天兩中學は二十二日朝それ〲着連することゝなつてゐる、而して二十二日正午より本社に於いて主將會議を行ひ組合せ抽籤その他につき打合せをなし、二十四日午後三時より滿倶球場に第一戰を開くことゝなつた

清水選手の歡迎試合

組合せ決る

十五分三方ケ原に歸還した廿一日午後三時より中央公園滿鐵コートにて擧行される、舊日本デビスカツプ選手清水善造氏の歡迎試合の組合せは左の如く決定した

▲ダブル
清水 澤(大連二中)
西山(福昌) 河島
清水 小寺(滿鐵)
谷岡(西川) 築地
清水 藤田(消費)
曾根岸(三井) 澄田(組合)

▲シングル
清水 阿部(滿鐵)
清水 小館(旅順二中)

尚ゲームは各一セット宛にて結局五セツトマツチが行はれる譯である、臨時會員券は五十錢均一

虎疫の脅威 嚴重に檢疫する

濟南にも發生の情報 緊張して來た海務局

上海方面におけるコレラ流行情報が入ると共に當地海務局においては頓に緊張の度を加へ、今後上海方面より入港の船舶に對しては嚴重な檢疫を加へあやしいものに對しては檢疫する事になつた、一方濟南方面にもコレラ流行の情報があるが元來コレラ菌は潛伏期日が三日位であるから濟南方面よりの來連者は恰度大連入港時位に發病する勘定となるので海務局でも油斷は出來ないと云つてゐる

陸軍航空隊 新記錄

爆擊機平壤から歸還

【濱松十九日發電】三方ケ原平壤間長距離飛行の濱松飛行第七聯隊爆擊機は十八日歸還飛行の途に就き午前五時二十五分平壤を發した百二號重爆擊機は千三百五十キロを一氣に飛翔して午後二時五十五分無事三方ケ原に着陸した、飛行時間八時間半で往路に比し二時間を短縮し陸軍航空隊長距離飛行の新記錄を作つた

輕爆擊機三機も午前十一時十五分太刀洗着ガソリンの補給をなし午後零時四十五分發午後五時

仁川沖の海戰を偲ぶ 旗艦千代田の檣

朝鮮博に海軍省からの出品 閉會後は仁川港頭に

【京城特電十九日發】八月七日仁川に入港する特務艦「青島」が積載して來る朝鮮博覽會海軍館への海軍省出品物のうちに古色蒼然たる軍艦マストが橫はつてゐる筈である

此のマストこそ、明治卅七年二月九日の有名な仁川沖の海戰にワリヤーク、コーレツ、スンガリーの三艦を擊破した瓜生司令長官が坐乘してゐた旗艦「千代田」のそれである、老朽艦の星霜廻つて既にふた昔の今日、艦のマストに對して仁川府では追憶を新たに、今更の如く當時の武勳を偲ぶの情に堪えず、博覽會の終了を俟つて此のマストの下附を受け仁川港頭に建設することになり「青島」の入港に際してはマストに對して敬意を籠めた出迎へをする筈である

交通地獄を生む通行人

交通地獄の事故防止策の一助として河原巡査部長が折角創案して建てた常盤橋十字路の標識板〜すぐ目の前に控へた信濃町市場前、街路通行のこの不秩序亂雜さはどうだ、標識板の「左側通行」の文字が炎天下に哭きながら附近の交通巡査に愬へる「これではねエ、事故の發生しない方が寧ろ不思議ですよ」【寫眞は信濃町通行人の不秩序】

自動車を告發

埠頭の取締り

交通事故頻發の折柄當地水上署においてもこれが取締上十八日定期船入港時の雜沓中、群集まるタクシーを片端より點檢したが乙種運轉手にして特定の車體以外のものを運轉しつゝあるもの、車體の手入不充分なもの、勤務先が移動しても所轄警察署に未屆のもの等違反者九件を發見、直に告發つ處分に附した

築堤破損で徒步連絡

洮昂線の一部

洮昂線江橋大興間の嫩江增水のため築堤約三十米突か十九日午前十時頃破損し列車の運轉不可能に陷つた恢復までには約十日を要する見込みである尚同所は目下徒步連絡をなして居る

女給卅一名召喚說諭

風紀を紊す者と無鑑札

最近大連のカフエーの女給が薄物の魅惑的な姿態を武器とし一層風紀を紊すものが多くなつたので大連署では數日前から高等特務をして內偵せしめてゐたが之れ等は主として無鑑札の女給に多い事判明したので十八日午後八時から十九日午前二時までの間、左記の者を順次呼び出して嚴重說諭する處あつた

逢坂町東バー岡田シズ子(一九)▲常盤橋中央食堂岩田モセ(一七)▲同バツカス稲田カツ(一五)同吉崎松子(一八)同金子敏江(二二)▲信濃町チドリ上村花子(二〇)▲磐城町ロンドン鈴木葉子(一五)同小松秀子(一六)同安永アサ子(一六)▲岩代町樂食堂田邊ナカ(二四)▲磐城町ギンネコ伏見芳子(一八)▲信濃町ダイヤ大坪スゞ子(一七)同三谷ヨシヱ(二三)▲磐城町青山カフエー堀藤ミツヨ(二〇)▲信濃町遼東カフエー本田トミヨ(二二)同森川サツ(一九)▲信濃町黒猫小山シズ(二二)▲能登町ドクロ山下芳子(二二)同野田信子(二一)▲三河町オリオン小林アサノ(二二)同木下キヌ(一八)▲二葉町赤オニ吉川テイ(一八)▲奥町リリー金子ツカヨ(一九)同大黒英子(一六)同小野ハツヱ(二二)同倉屋シズ子(三〇)同平木マスヱ(三二)同松村ヒサ子(一九)同西本キミ(一三)▲春日町夜明村上トミ子(二二)

入江と羽月も贈賄に決る

一段落で收監中の兩名保釋 水產不正事件の取調

水產不正事件に關し池內檢察官は既報の通り十八日午前十時から大連乃木町七鮮魚仲買業入江琴次並に西通り一〇四漁業羽月治郎兵衛の兩氏を證人として召喚、種々證言を徵する處あつたが、更に午後收監中の關東廳水產技手柳生大三郞を呼び出し取調べた結果前記兩名の罪狀明白となり、十九日いよ〱兩名とも贈賄に決定した

入江の罪狀は昨年十月所有船入江丸に關東廳より補助金の下附を受くる際柳生に對し吉野町大連亭並に浪速町ほていに於て遊興の贈賄を行つたもので羽月の罪狀は昭和二年所有船滿洲丸の船體檢査を受けゝ際並に昨年第三一清丸、第五一清丸に關東廳より補助金の下附を受くる際、別府並に柳生に對し吉濃町新喜樂並に春日町つるやに於て遊興の贈賄を行つたものである

尚取調べの進行と共に全部の罪惡が擧つて證據湮滅の虞が無くなつたので收賄で收監中の水產會評議員老虎灘漁業高橋德藏および鐵山貞藏の兩名は十九日夕方保釋出獄を許される模樣である

人殺し

自動車判明

去る十六日小平島に於いて支那人を轢き殺し其儘逃走した自動車の行方に就いては當局に於いても極力搜索中十八日午後二時聖德街五丁目ホマレタクシー沙六六の自動車に不審の點があるので運轉手津野久衛(二〇)及び助手河野順一(一八)を引致し嚴重取調べたる處遂に加害者たる事を自白した

尚運轉手津野は轢き飛ばした際停車もせず逃走し助手にも固く口止めして居た者で過日も薩摩温泉前で妙齡の婦人を轢き未解決の儘の、事故常習犯で警察でも注意中の者であつたと

西伯利經由で Z伯號飛來

日本からも數名搭乘

【東京十八日發電】十八日ツエッペリン伯號飛行船飛來に關し獨逸政府より我航空局に對して通達あり、日本領土通過に關する許可及び着陸の許可を依賴して來たがそれによればツ伯號は最初エッケネル博士操縱の下にフリードリッヒスハーフエンより米國のレーキハーストに飛行し同地より東廻りに世界一周飛行を開始する即ち着陸地はフリードリッヒスハーフエン、東京、カリホルニヤ、レーキハーストの四地點である

我國への航路は獨逸より西伯利を經て飛來し三日間滯在の後、千島アリューシャン列島を經て米國に飛行する筈である

我陸海軍遞信各省局等の準備も既に成つたが乘組員は約三十名と旅客十四、五名で日本からは將校一名及で大朝大每電通記者も搭乘する筈で起點レーキハースト發は八月始めとなる筈である

晴衣をつけて短氣な自殺

養女との折合が惡く離婚する筈の人妻が

十八日午後四時頃沙河口霞町四七滿鐵工場仕上工水口太郎(假名)方に於て異樣な臭ひがするので近隣の人が不審に思ひ扉を捻ぢ開けて調べた處家中一杯にガスが充滿し奧の三疊の部屋には妻キヨ(二〇)が晴着に身裝も整然と打伏した儘人事不省に陷つてゐるので直に應急手當を施したが絕命した

自殺の原因は水口家には元來子が無い爲本年五月夫の姪ユリ子(一七)假名を養女に貰ひ受けた處ユリとキヨとの折合が旨く行かず絕えず風波の絕え間が無かつたが、此程キヨは離婚し千九百圓貰つて家を出る事となつてゐたが何時迄も金が出來ない爲氣短のキヨは斯く自殺を圖つたものであると

自轉車取締り

小崗子署に於ては十七日より一齊に管內自轉車取締をやつたが十九日午前中に既に科料一圓に處せられたるもの三十四件、其內大部分は音響器の不完全が多いと

第四夫人と同居の 褚氏はどうなる

劉氏が歸烟して處分

芝罘より來連せる支那要人の談によれば謎の人褚玉璞氏は最近同地劉珍年氏の別邸に移され大連より赴ける第四夫人と同居中であるが赴平した劉珍年氏は曩に部下をして卷きあげしめた身の代金五十萬元及び褚氏生命の處分方につき蔣介石氏より何等かの指示をうけしもの〻如く十九日頃芝罘に歸任の筈で北平に於ては褚氏を釋放するかの如く傳へ芝罘に在る劉軍の幹部は恐らく銃殺されるであらうと見てゐると

繪筆に親む名流夫人 華鬘草社作品展

けふから三越で開催

滿鐵理事夫人梅野、藤根同理事夫人安子、石本美子、西野のり子、吉君子、田中八重子、田中せつ子、向坊つま子、上田清子、國松義子(撫順)前田なつ子、船田春野、古川藻子、三宅鶴子等の各夫人令孃十四名が今回「華鬘草社」なる同人會を創設、日頃親める繪筆の習作など持ち寄り十九日より廿一日まで三日間三越呉服店樓上に於て第一回展覽會を催し十九日は特に招待日とし各方面へ案內狀を出し鑑賞を乞ふたが、出品數は九十三點で一人三、四點づゝを出展してゐるが何れも女性の優美さがトアルの上に反映して就中三宅鶴子夫人の作品など素人はなれした技々の出來榮えで目を引いた(寫眞は會場)

滿洲豫選 參加チームの物語 【五】

運動精神を目標に 侮り難い實力

連日血の滲むやうな猛練習 撫順中學チーム

「勝敗は眼中にない、意氣と熱との化身となつてスポーツそのものを最後の目標に精進する」と監督の人は言つてゐるが、其の實力は可なりに充實したものである事が知れる 創立日尚淺くしかも本年度のチームは全然今春新しく組織されたものであり其の練習の苦さも察するに餘りはある、今春來清水、勝木兩氏の熱心なコーチと西本教諭の涙ぐましい指導によつて連日血のにじむ樣な猛練習をつゞけてゐる、撫中四百健兒の名譽を雙肩に擔ひ炎熱九十五度の炎天下で汗と土に塗れ見分けもつかなくなつた十數名の野球部員は今やフリーバッティングに精進してゐる。

◇―◇

寺西、佐士原、加藤そう云つた連中が遠慮容赦もなく素晴らしい長打をカン〱〱と飛ばしてゐる、打擊の練習がすむと少しの休む暇もなく直とシートノックが開始される、捕手寺西は僅十八歲としてしかも身長五尺八寸、體重二十六貫の巨軀を利して一軍を叱咤し糸を引いた樣な眞直な球を二壘に投じてゐる、本大會の花形であらう、清水コーチの猛烈なノックは選手の疲れを問題にせず、倒れてしまふまで續けてゐる。

◇―◇

內野の守備では吉野主將が矢張り一段と光つてゐる、確實な其のゴロの構へ、外野に擲ひも擲つて腕足を集め何とかして敵の長打を喰ひ止めんとしてゐる。然し何と言つても同軍の一番の強みはバッテリーではあるまいか。投手寺西に配する第一投手下田はインシュートのスピードボールと外角に大きく落ちるアウトドロップに眞正面から三振主義に改めんとし、第二投手生田はオーバースローの速球を時に交へるスローボールに依つて投手の第一要件とも言はれるチエインヂ、オヴ、ペイス(緩速交々主義)の巧味を發揮し將に下田を凌がんとしてゐる。

◇―◇

兄貴分とも言ふ可き全撫順の試合を常平生に見せられてゐる同軍に走壘の拙からう筈はなく、亦所謂試合上の駈け引にも玄人筋を驚かすものがあるであらう何れにしても熱と意氣とを誇りとし撫生チームの本領の發揮を目的として今夏初めて參加する撫中軍が健鬪の日を心から期して待つてゐる。

駒ケ嶽再び爆發

今曉又復大鳴動して

【函館十九日發電】其の後爛漫な噴煙を續けてゐた駒ケ嶽は十九日午前零時又復大鳴動と共に噴煙を開始し降灰甚だしく午前九時には降灰猛烈を加へ熔岩の流出甚だしき爲め山麓の留澤北部地方は逸早く避難を開始し大混亂を極めてゐる

梶棒強盜

周水子を襲ふ

十九日午前二時ごろ大連管內周水子會南山郭家屯八農業郭滿芝かたへ梶棒を所持せる苦力風體年齡三十歲前後の四人組支那人強盜現れ中一人は表玄關に見張をなし二人は暑氣のため明けてゐた窓より侵入し表戶を開き更に一人を招じ入れ都合三名は就寢中の郭を叩き起し梶棒を突き付けて脅迫し衣類箱の中なら小洋十元、衣類十五點時價百圓を強奪、折柄の暗に紛れて悠々逃走した

午前五時屆け出により大連署より星司法主任、上郡山刑事部長以下オートバイを飛ばし現場に急行したが、事件後既に三時間を經過し賊等逃亡の後とて發見に至らず目下各方面に手配搜査中である

編物手藝の講習會

尼子女史招聘

滿鐵社會課及大連市社會課主催、本社後援の下に今回尼子式輕便手編機の創案者である尼子松代女史を招聘して經濟的で趣味に富んだ編物手藝研究講習會を開催するが開會に先だち二十二日午前九時より午後四時まで常盤町市社會館に於て同女史の製作手藝品百餘點の展示を行ひ同時に「婦人と手藝」に就て同女史の家庭講演會を催す筈

尚講習は來る二十三日より三十日まで一週間每日午前九時より正午まで、場所は市社會館、會費は二圓で申込は社會館である

尚ほ講習會終了後八月四日午後九時より午後四時まで會場に於て同會の製作品展覽會を催し希望に應じ販賣もする事になつてゐる

南船北馬

◇…去る十日に通遼監獄に收監中の未決囚十一名が共謀して土塀に穴をあけて脫獄したのを發見し三名を逮捕したきりで大騷ぎをしてゐる【鐵嶺】

◇…京城放送局では新しい試みとして明廿日に仁川デーを催し今後引續き各地の地方色をラヂオで紹介すると【京城】

◇…大連東山町三福昌苦力收容所二九號王振楊かた苦力張明揚は氣狂ひじみたこの頃の天候から病勢昂進しこの十三日頃から精神に異狀を來し戶外に飛び出し通行人を拳骨で毆打し或は刃物をふり廻しては傷害を加へるので十九日大連署の手で伏見臺の癲狂病院に收容した

滿洲銀行が支店を哈爾賓開原に新設計畫
來月末の總會で附議決定せん
注目される北滿進出

滿洲銀行では多年うむところなく整理に沒頭し、他面業務の發展に全力を傾注し今期の如きは前期繰越金を合せて純益三十萬圓を計上する模樣にて五分程度の配當は充分可能性あるものと見られてゐるが

關東廳の態懲もあるので今期は無配となし昭和五年度上半期から幾分の配當を行ふべく、地場銀行として其の業績漸く確立するに至つたので、同行ではこの機會に業務擴張を行ふべく、豫て重役間に於て極秘裡に計畫を進めつゝあつたが、今回その第一手段としてハルビン、開原の兩地に支店を新設するに內定、八月末開催の總會に附議承認を得、本年末までには

開店の豫定で着々計畫を進めてゐる、ハルビン支店の新設は豫て同行に於て計畫中のところ今回漸く具體化したものであるが開原支店新設の議は大正二年鐵嶺支店を閉鎖して以來、同地方との業務連絡に非常な不便を感じ、殊に特產集散市場としての開原を等閑視するは不可能なる狀態に鑑みいよ〳〵同地に

進出す るに決定したものである、一般財界不況の折柄滿銀の北滿進出は相當財界の注目を惹いてゐる、右につき滿銀長谷部取締役は語る

計畫はあるが未だ具體化といふ譯でない、總會に掛けるかどうかも決定してゐないから今暫く待つて下さい

滿洲里經由の歐亞連絡扱中止
支那側の抑留を惧れ
莫斯科發列車滿洲里に來らず

滿洲里經由歐亞連絡は時局險惡で遂に杜絶するに至つたので滿鐵では十九日から同連絡旅客及び手荷物の輸送扱ひを當分中止することゝなつた、尙モスコー發第二國際列車は十七日滿洲里驛着の豫定であつたが未だ到着せぬと右は滿洲里に至れば支那側に抑留される恐れがあるので露西亞側の國境驛マチエフスカヤに停まつて居る模樣である

全滿輸組
上半期成績
いづれも良好

全滿十四都市の輸入組合に於ける上半期中の人員、口數、拂込金等を概觀するに何れの組合も口數及び拂込金額は逐月著しい增加を來してゐるが、人員は異動なく、むしろ都市によつて減少を來してゐる組合もあるが、これは不良會員が自然淘汰されるによるものである、口數は一月に比し六月末現在では大連の二千餘口の增加を筆頭とし遼陽の九百餘口、哈爾賓の六百餘口、奉天、長春の五百餘口及び旅順、鞍山の三百餘口が主なるもので、拂込金額は何れの都市も殆ど倍加してゐる人員、口數、拂込金額の各組合の總計を各月別に示せば左の如くである(單位圓)

	人員	口數	拂込金額
一月	一、四三六	二四、五〇五	一、〇六〇、三三九
二月	一、四六五	二四、八八四	一、一〇四、九六三
三月	一、四五七	二五、六九八	一、二三一、四八四
四月	一、四三七	二六、六〇〇	一、三三七、四八七
五月	一、四一七	二九、五五〇	一、三九六、九四〇
六月	一、四三五	三〇、五七〇	一、四九六、八八六

朝鮮の稻作
大豐作か
過般の豪雨が却つて役立つ

數日前の豪雨で北鮮の一部は相當の被害を蒙つたが朝鮮全般から見て今年の降雨は稻の植付に對しては絶好の慈雨であつた、昨年は六月中旬に相當の降雨を見たが移植期に入つて旱天が續いた爲め植付に大支障を來したが、今年は最適期たる六月下旬から七月上旬にかけ各地とも二百ミリ以上の降雨があり、近年稀なる好調を呈したので今後の照り込が順調に運べば今年こそ大豐作の實現を期待されてゐる、因に十七日本廳殖產課に達した報告によれば水田九割九分の植付けを終了したと

結局商議會頭には
村井啓太郎氏就任せん
副會頭の横田多喜助氏は重任
高田氏の後任はいまの所未定

別項の如く大連商議では來る三十日午後三時から總會を開き常議員四十名(十名は明年八月迄任期)の改選を行ふが、今回は數名の落選を見、他は再選されるものと見られ結局さきに辭任せる福田、中村、澤田三氏の缺員を合せて十名近くの新顏が現れる模樣である、而して八月一日の會頭互選の常議員會では滿場一致を以て滿銀頭取村井啓太郎氏が互選され[illegible]同氏の承諾を得るものと見られ副會頭は現副會頭横田多喜助氏は重任し、高田副會頭の辭任は確定的にて結局高田氏の後任として何人か推薦されるものと云はれてゐるが常議員中には高田氏の重任を希望する者が多い

會頭互選は來月一日に行ふ
常議員選擧は卅日

大連商工會議所では廿三日午後三時から役員會を開き今期決算報告及び役員改選の件等總會に附議すべき事項を決定する筈である、而して總會は來る三十日開催し、常議員の改選を行ひ、正副會頭互選は八月一日の常議員會に於て行はれることに決定した

南滿銀行解散

鞍山の南滿銀行では七月三十日開催の定期株主總會に引續き臨時株主總會を開き當行解散の件を附議する筈なるが同行は大正九年一月資本金百五十萬圓四分の一拂込を以て創立せられたのであるが間もなく業績不振に陷り結局解散整理を行ふに至つたのである

蓬萊無盡決算
配當は年八分

蓬萊無盡會社では來る二十五日定時株主總會を開くが當期純益金は一萬七千餘圓で株主配當は前期より八厘增配の年八分と內定した利益金處分案は左の如し(單位圓)

前期繰越金	八、〇一二
當期純益金	一七、六五六
合計	二五、六六八

右處分▲法定積立金二、〇〇〇▲營業用什器償却二、〇〇〇▲擔保品處分缺損償却二、〇〇〇▲滯貸付金償却四、〇五五▲株主配當金五、〇〇〇(一株につき五十錢)▲從業員退職手當基金一、五〇〇▲後期繰越金九、一一三

滿銀支店長會議

滿洲銀行では十九日から三日間同行樓上に於て全滿支店長會議を開催、業務の打合せを行つてゐる

露支國交斷絶で銀票反撥す
前日より一圓五六十錢高
場面活況を呈す

大連錢鈔市場における銀相場は頃日來金解禁說による對外爲替の昂騰に刺戟されて、漸落歩調を辿り十九日前場の如きは銀塊安、爲替高の銀安材料を入れて鈔票は遂に九十圓トビ臺に辷り大臺割れも近しとみられてゐたが、後場に至り北滿における露支關係の惡化から俄然露國は國交斷絶を宣するに至つたと傳へられ早くも戰爭氣構へに場の人氣は一變し前場より一圓擱みの高値を示したが、十九日前場に至りては買氣旺盛を極めた材料と上海標金の暴落に色めき立ち倫敦銀塊は四分の一高の廿四片二分の一

紐育は四分の三高の五十三仙四分の一孟買は四分の一高の五十六留比十六分の九と一齊高を入れ、一方對外爲替は日米十六分の三安、米日八分の一安と反落を報じ上海標金亦收材料續出で三百八十二兩二と三兩五安に寄り安値は八十兩臺割れを演じた

高値は

隨つて地場鈔票は是等材料を眺めて一氣に七十錢高の九十二圓四十錢と高寄りし前日止値より一圓十錢高止六十五錢高と續騰し前日前場より一圓五六十錢高を示し場面緊張し商內又活況を呈した

水稻の收穫
十六萬八百二十噸
前年より四千百十噸の減收
第一回農作豫想

東三省に於ける本年度第一回水稻收穫豫想は十六萬八百二十噸で之を前年の實收量十六萬四千九百三十噸に比較すれば四千百十噸の減收である、地方別に示せば左の如し(單位面積は反、收穫は噸)

地方別	作付面積	本年收穫高	前年推定實收量	增減(×印減)
▲南滿地方				
奉天以南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
▲北滿地方				
京奉線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
開原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奉海線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四洮線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
吉長線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
間島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東支南部線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
哈爾賓管區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東支東部線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
松花江下流	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
呼海線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東支西部線	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北滿其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

團體めぐり

組合の努力で建値問題も成功
民營問題も遂に阻止
重要物產取引人組合 (完)

現在組合の有力者としては三菱商事支店、瓜谷商店、獨順厚、三井物產支店、日清製油、東永茂、成裕昌、裕興泰等の日華有力實業家を網羅してゐるが組合長は昭和二年七月以來三菱の支店長寺田虎太郎君が就任してゐる、組合の功勞者としては前組合長迫田彥助君現組合長寺田君及び設立當初より兩君を補佐し、實際の組合事務を處理して來た事務長荻原哲藏君を推さねばなるまい

◇

組合も設立以來今日まで種々の事件に遭遇し波瀾曲折を經過したのであるが、先づ第一の事件が大正九年の臼井豆粕事件、次に大正十一年の丹羽豆粕問題である、この兩問題とも當地財界を騷がした不祥事件であるが、組合は臼井事件のため約三百萬圓を整理資金として借金するの破目に陷りその借金は年々特別手數料から支拂つて來たが未だに約五十萬圓程の殘金があつて當時の創痍に苦みつゝある次第である

◇

次は大正十年山縣長官時代に端を發し、朝野を騷がした金建問題であるが、之れは大連財界における空前絶後ともみられる大問題であつて、同組合はその中心團體であつただけに幾多の迫害を忍び、又犧牲を拂ひつゝ大正十二年伊集院長官の英斷により金銀兩建制が採用されるまで約二年間を紛糾の波に卷き込まれ、惡戰苦鬪を續けたのであつた、結局金銀兩建制は實際において銀建制の復活で組合多數の希望が到達された譯で組合として特筆大書すべき奮鬪史といふべきであらう

◇

最後の問題は大連取引所の民營問題であるが、これは大正十年以來反覆常なく繰返され、今尚未解決のまゝ殘されてゐる問題である組合としては終始一貫之に對し在滿官營取引所存續同盟を組織し一致協力して民營反對運動を續け現在に及んでゐる、近くは五品、錢鈔の合併運動に際しても組合は官營取引所支持の見地から、錢鈔機能合併を組織し五品の錢鈔合併運動を阻止するに努め之に成功した。一部には他社の合併問題におせつかいするとの非難もあるが組合が取引所の官營存續を希望する以上これを對岸の火事視することが出來なかつたのは蓋し當然のことであらう

◇

同組合も過去幾多の磐根錯節を經て今日の基礎を得た、特產界不振の折柄同組合も惠まれた時代ではないが、特產界の消長が直に滿洲經濟界の盛衰に關するものである以上この組合の存立は財界にとつて重大なる意義を有してゐる譯である、組合の過去における健鬪を祝福し將來の發達を祈り筆を擱く次第である。(寫眞は立會中の場面)

黄塵

◇…いづこをみても不景氣な世の中ではあるが殊に油房界ときたら全く悲觀するものがある。

◇…豆の都の大連で昨今油房の操業工場が七八軒とはいかに夏枯閑散期とはいへなさけない話だ

◇…尤も內地ではオラが內閣は沒落したとは言へあの人口に膾炙した「肥料の公平なる分配」のために肥料の自給自足が圖られてゐる。

◇…即ち硫安事業の急速な發達などは右に至る道程であらう。

◇…國內硫安工業の發達は年額三千六百萬圓の輸入を防止すると共に年額八千萬圓の豆粕の輸入をも又漸減せしむるは當然の歸結であらう。

◇…之れは滿洲にとつては大いに考へねばならない問題だと思ふ

市況

特產
銀暴騰につれ三品軟調

頃日來鞘り商狀に推移せる氣先今朝銀の暴騰を眺めて三品共に軟調を呈した、高粱は青島筋の現物買に二十錢方上伸し先物も亦上味、他は平凡大引けであつた

◇定期前場(銀建) ▲大豆(軟調)單位厘 ▲三等大豆(出來不申) ▲豆粕(軟調)單位厘 ▲豆油(軟調)單位錢 ▲高粱(昂騰)單位厘 [figures illegible]

◇現物前場(銀建) ▲包米(出來不申) [figures illegible]

錢鈔
前場(昂騰)

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は廿四片二分の一と(四分の一高)先物は廿四片十六分の九と(四分の一高)紐育は五十三仙四分の一と(四分の三高)孟買銀塊は五十六留比十六分の九と(四分の一高)滙灰は六十九兩七二五、滙申は七十二兩一七五、日米は四十五弗八分の七と(十六分の三安)米日は四十五弗八分の七と(八分の一安)大洋は九十九圓十錢、英米クロスは八十五仙十六分の一と(八分の一安)米支は五十八弗四分の三と(八分の五高)上海標金は三百八十二兩二と寄り三百八十二兩六と止め當市の銀價は昂騰を呈した

◇定期取引(單位錢) ◇現物取引(單位錢) [figures illegible]

商品
前場

蔴袋(堅保合) 產地寄同事錢四分の一安爲替四分の三高と續落を報じたるも地場銀票の聢りを入れ割合に下値淋しく保合から閑散裡に散會した

株式
內地聢りに
五品强保合

今朝北濱諸株の聢り東京短期の新東一圓五十錢高五品廿錢高を眺め當市の五品も定期直共三四十錢高に引締つた、新豆、錢鈔は變らず現物の大新は一圓三十錢尙、新東は一圓擱みの昂騰、鐘紡は保合であつた、出來高定期八百二十枚現物一千五十枚

市場電報(十九日)
銀塊及爲替 / 棉花 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 橫濱生糸 / 神戶豆粕 / 印度麻袋
[figures illegible]

株

內地主力株も三四日來極度の賣込みの反動で急反撥に轉じさしもの下げ相場も漸くこゝに底入れらしい模樣となり今朝の如きも北濱諸株も聢り東京新東も百八圓臺に戾した▲無論財界の大勢は依然として不況を繰返す外なく目先積極的な買材料の出現は到底期待し難き事ではあるが市場人氣は餘りに先走り過ぎたのであるから人氣さへ落つけば相場もこゝに相當の訂正がなければならない筈である▲今朝當市は五品三四十錢高新豆、錢鈔保合と割合に不活潑な商狀を呈したがこゝも又完全に賣過ぎの訂正をしてゐるのではあるまいかと思はれる

豆

銀市場の暴騰を眺めて三品共に軟弱商狀に推移した▲高粱は青島筋の現物買につれ五六錢方上伸し先物も亦それにつれ二十錢方昂騰を呈してゐた▲現物大豆は油坊二十車、三井、瓜谷、裕發祥で八十車、豆粕は三井、瓜谷、昇源で合計一萬五千枚豆油は三井、三菱、志豐永、文盛裕で合計三千五百枚の手合はせがあつた▲今日の油坊生產高は九千枚、操業工場は八軒かくも油坊工場の活動力が鈍つたのはたしかに硫安に壓迫されてゐることにもよるが▲この暑さではとても仕事が出來ないと▲暑中は大分部の工場は休み機械の手入れを充分にし、秋の活動の用意をするのだとか▲決して悲觀するには及ばないそうだ

銀

今朝海外材料としては倫敦銀塊四分の一高紐育四分の三高孟買四分の一高を入れ一方爲替は米日八分の一安と反落を報じ銀高材料の揃ひであつた▲昨後場上海標金は時局懸念に市況保合の所南京政府が正式に國交斷絶の宣言をなすとの入電に人氣惡化し更に日米上げ止まり銀塊高豫想に人氣は戾り賣りとなるとあり▲豫想通り今朝銀塊高爲替亦反落を來したので標金は寄引共三兩據の低落安値は八十兩臺割れを入れて地場鈔票は六七十錢高と續騰した▲露支の兩交斷絶もまさか戰爭までには行くまいとの觀察であるが一般華商側は之れを重大視し材料化するだけに當分相場も露支問題の推移如何に動かされるものとみられてゐる

奧地市況(十九日前場)
特產 ▲大豆 開原 七月限 八月限 九月限 [figures illegible]

上海爲替情報 / 上海標金 / 爲替相場 / 手形交換高(十九日)
[figures illegible]

平安異香 (54)

葉多默太郎 作
中一彌 畫

陥穽 (六)

「昨日誰か使廳から來たさうですね」

邦貞の態度は短刀直入的だつた。利刃を擬して父の懷中へ飛込む——そんな風な態度だつた。兵は神速を尙ぶと兵法にある。一氣呵成に敵陣へひた押しに押して行つて、敵に逃げ口實を考へる暇を與へず一擧に春光赦免の命令書を書かせよう——といふのが、使廳から邸までの馬上で覺悟した邦貞の、父に對する手段だつた。

で、父の顏を見ると直、邦貞は唐突に使廳の判官小串範行の話を持ち出したわけで、流石の師輔も自分の不品行を子に指さゝれて狼狽するかと思つたが、陰謀奸策をもつて處世の秘訣と心得てゐるらしい師輔だ、生白い自分の子供に揚足をとられてまごつくやうなへまはしない。邦貞の鋭鋒を輕くかはして、

「あゝ來たよ、判官の小串範行がやつて來た。が、それがどうかしたのかな」

さらりと流して、事もなげに微笑んでゐるのだつた。

邦貞も負けてゐない、折返し二の矢を番へてきつて放つ——。

「あなたは私をお僞りになりました。先日蒔繪師是信の娘のことに就いてお願ひした時、娘を召すのは止さうと約束して下さつたのでしたね。立派にさう仰しやつておきながら、暴力で以て娘を誘拐なさつた。しかも——」

「待て待て——誰が娘を誘拐したといふのだ?」

「あなたがです。お父樣がです。私には斷念すると約束をしておきながら……」

「待て〳〵。さう激昂してはいけない。何とかいふ若い男が、そんな事を云つて使廳へ訴へて行つたさうだが、それは邸の三左衞門がいつたのだと云つてゐるさうだ。昨日範行からそんな話があつたので、三左衞門を呼んで訊いてみたが、奴血相變へて怒つてゐたよ。何かためにする所のある奴に相違ない。怪しからぬ若僧だと云つてな」

「さうです。使廳へは三左衞門を訴へて出ました。だが我々は——」

「待て待て邦貞、その我々といふのは何だ」

「訴へて出た當人の宮部三郎春光と私とです」

「ふむ、成るほど——それで?」

「我々は始めから娘を奪はせたのはあなただと知つてゐたのです。が、あなたに反省をして頂く餘地をつくつておく爲に、わざと三左衞門を訴へたのです。それも、訴へたのは春光ですが、かういふ手段を提議したのは私でした——春光はたゞ……」

「馬鹿なことをしたものだな——」

師輔は太い眉を寄せて、吐出すやうに云つた。

「實に馬鹿々々しいことだ。も少しおぬしには思慮分別があると思つてゐた。實に輕卒極まる。邦貞將來もあることだ、もう少し考へてくれなきやいけないぞ。わしはおぬしにとつては甘い父親だが、それだけがわしの全部ではない。それと同時にわしは檢非違使の別當といふ要職にある師輔だ。その間の消息も考へて……。それにだ、此度のことなど全然わしは知らない。どういふところからそんな想像が生れたのか知らないが、わしには迷惑千萬な話だ」

「さうなりたいのです。私共の見込が見當はづれであることを祈つてゐるのです。誰が自分のうみの父が、處女を誘拐して、野獸に等しい行ひをしようとしてゐるなどを信じたいものですか——」

「野獸——」

「怒らないで下さい。決してお父さんと指してゐるのではありません。そんな破廉恥なことをする人があれば野獸に等しいといつたまでゝす。私は飽くまでもその野獸をつきとめて、可憐な娘を救はねばおきません。だがそれよりも先に、私は春光を救ひ出さねばなりません。それでお父さんのお力をかりに來たのです。春光と協力して娘の所在をつき止める事が出來れば、自然お父さんの嫌疑は晴れるわけですから、あなたは喜んで春光赦免の命令書を書いて下さるだらうと思つてゐるのです。御異存はありますまいね」

邦貞は一氣呵成に衝きこんで行つて、じつと父の肉肥た顏の動きに目を注いだ。

四重奏團來演

杉山長谷夫氏を中心とする室内樂の權威ハイドン、クワルテットは來る八月一日東京驛發滿洲地方の巡演に赴くこととなつた、巡演豫定地は大連を振り出しに奉天、撫順、ハルビン等であるがメムバーのうち多忠亮氏病氣靜養中なので樂部の安倍季襄氏が代役を引受けることに略決定した

蜂須賀小六

第一篇長江半之丞八巻を見た。監督は高橋壽康主演の新妻四郎は此の篇中に於ては何等考へを持たせる程出演しては居ない。唯だ其の偉大なる體格と特殊な容貌によつて觀客をして戰國時代の雄者蜂須賀小六を偲ばしむるには充分であつた。實質上の主役になつた楠英二郎は長江半之丞としての容姿必ずしもこれに適して居ないが、其の表情の適確さでこれに應へた所は實讃ものである。中村登政志の針賣少年は殊によると俳優中第一の出來だつたかも知れない。

◆此の映畫の脚色は功罪半ばして居ると見てよからう功はあの割合に起伏に乏しい長い小説の中から映畫的な、と云ふよりは大衆劍劇映畫的な事件だけを巧にピックアップした事と全篇に見られる良き省略とである。缺點は長さに制限された故か事件の發展が少しチヤチすぎる事と亂鬪のための亂鬪に溺れすぎた事である。監督としての高橋氏は前半に於て松之助時代に見る如き古い手法を見せて悲觀させたが後半に於ては巧みな場面の轉換に樂々とした氣持よさを感じさせて居る。

◆此の映畫で最も觀客の心を惹くものはカメラの巧みな驅使である。唯溶暗明を用ひずして全部ダブルで通したのは少々鼻につく。

◆とにかく絕對的大衆劍劇映畫である【島田生】

ゆふべプラチナでパテーベビーの試寫會を催し阪妻の「影法師」封切▲近日公開、公開迫る[illegible]の「東京行進曲」は遂に次週公開と決まる▲南帝國館主は十七日に歸連したが土産は何か?西洋物契約説が傳へられてゐるが▲演藝館で次週上映する「敵討道中双六」は帝キネものとしては未曾有の本格的映畫とのこと▲映畫人秋村宇野湖君近く安東へ轉助するとのこと名物が一つ減る淋しさ

滿洲日報

子規全集

本日〆切

遼陽の地は本紙御覽次第御申込下さい

子規の人格と藝術は現代に聳立す。彼の把握は現代人の尤も高貴なる任務だ。彼によりて人生の本源を摑め!!

―實物寫眞―

今直ぐ最寄書店又は本社にお申込下さい

第一回配本　隨筆篇　目下配本中

次回配本　第九卷　隨筆篇(下卷)　堂々五百數十頁

全十八冊　一冊一圓

改造社　東京芝區愛宕下町　振替東京八四〇二　電話芝 自一一二一 至一一二四

相馬御風著　義人生田萬の生涯と詩歌

四六判　三八〇頁　定價壹圓八拾錢　送料十二錢

天保年代の大饑饉に際し、身を以て飢餓の窮民を救つた義人生田萬の悲壯な生涯と、その詩歌の一部を世に傳へんが爲に相馬氏は此書を編まれた。大鹽平八郎と併稱される慷慨の人生田萬は、歌人としては驚く可く優美莊重の境地を拓いてゐる。玆には、其兩面が著者の感激深い筆で、遺憾なく說かれてゐる。猶、卷末に添へた生田萬を取扱へる講談は、まことに得難き珍本である。

相馬御風著　一茶と良寛と芭蕉　價一・八〇　送料・一四

良寛坊物語　價一・八〇　送料・一四

吉江喬松著　自然讀本　全三冊

四六判上製

▼【第一卷】價一・五〇　送料・一二
▼【第二卷】價一・八〇　送料・一四
▼【第三卷】價一・〇〇　送料・一〇

(一)春・夏　(二)秋・冬　(三)自然論

人間界の狂燥汚濁を他處に、自然は飽く迄美しい。そして自然は、みづ〳〵しい、柔かな、情緒にみちた呼吸を我々の生活の中に吹き入れる。我々を醒らす自然、我々に希望を與へる自然、吉江氏は、その愛深い觀照と味ひある筆致とを以て、この自然を、鮮かに玆に再現した。春、夏、秋、冬の、それぞれの相と特色が、流麗の筆につくされてゐる。「自然論」は、自然の歷史的研究であり、自然と文藝との關係を說いたものである。海へ、山へ、――自然に最も親しむべき時、特に本書の愛讀を祈る。

山邊習學著　釋尊とその弟子達　全二冊

四六判上製　定價(各)壹圓五拾錢　送料(各)十二錢

本書は、「佛教概說」「救濟教主世尊」及び「教團の人々」の合本である。何れも著者の心血を注げる名著であり、「佛教概說」に於ては、廣大深遠な佛教の教理を、巧みにその眞髓を捉へて平易に要約し、「救濟教主世尊」に於ては、一切衆生濟度のため、無限の精進と法悅とに終始せる世尊の生涯を說いて遺憾なく、「教團の人々」に於ては、過去二千年の久しきに亘つて人類の精神界を支配した佛教思想の普及のために、その一生を捧げた譽れ高き佛弟子達を細敍した。正しく佛教を理解し、興深くその眞理を會得する上に於いて、本書は稀好の快著である。世に佛教の書は數多い。だが、斯くの如く概括せられて平易なるはない。類書中の白眉として之を廣く天下に推奬する。

春秋文庫

◇既刊書◇

一冊五拾錢

▼永井潜著　科學的生命觀
▼出井盛之著　經濟學說史
▼久保良英著　輓近の心理學(壹圓)
▼阿部重孝著　教育學
▼入澤宗壽著　教育史
▼高野辰之著　民謠童謠論
▼美濃部達吉著　選擧法概說
▼宮島新三郎著　文藝批評史
▼住谷悅治著　社會主義經濟思想史
▼瀧本誠一著　日本經濟學史
▼深作安文著　倫理學概說
▼荻原井泉水著　俳句趣味論
▼五來欣造著　政治哲學
▼賀川豊彥著　宗教教育の本質

以下續々刊行

ギッシング著　藤野滋譯　ヘンリ・ライクロフトの手記

デ・クェンシィ著　辻潤譯　阿片溺愛者の告白

▼輓近の心理學に限り壹圓　三五判總クロース　送料一冊八錢

目錄進呈　東京・麴町・內山下町　振替東京二四八六一　電話銀座五六五二・五六五三

春秋社

更に大增刷!!　〆切後も申込殺到す!!

一平全集　第三回配本　漫画漫文小說集(第三卷)

行く處・座する處・山に海に・必ず一平全集を・そして此の愛とユーモアの明るい避暑地に銷夏しませう

單行本四册以上の內容　時價八圓のものが一册壹圓三十錢

●へほ胡瓜　●ござう地獄
●泣虫寺の夜話　●深川踊の話
●漫畫の世の中　●侘びしき時は汽車ごっこ
●泥醉漢の始末書　●お稽古の中止
●指一本

三色版口繪入　約五百頁

第三回配本　第五卷(八月上旬配本)　探訪漫画集　紀行漫画集　スポーツ漫画集

○富田屋八千代を觀る記―鯛釣見本―殿樣の熊狩―大阪暴興―東京復興錦―震東京の回顧―大阪スケッチ―海の底へ―鯨を獲る記―嫌拝見物―足尾銅山―京都の神社佛閣めぐり―赤城小品―海邊雜記―酒の津の綱網その他數十篇
○花く春を追ふて―大仲をしに―大社詣り―今の東海道五十三次―赤城へゆく道―新らしい鞄抱えて―雪中漫攬行―近江八景―女房上手―濱名湖めぐり―二人の旅―關東寺めぐり
○學生スケッチ―敗的時代―馬の稽古―相撲の稽古―富士騎馬登山試驗記―怪物肝試取組書譜大會觀興―可愛がられる學生―昔の女學生(その他數十篇)

椎名龍德著　病める社會

定價壹圓八拾錢　送料十二錢

細民哀話

其日の糧を得られる方は幸福です。この書を讀んで哀れな人達のために泣いて下さい。著者は一行書いては淚し、二行書いては儘ならぬ浮世を嘆ぜしといふ世にも尊い實話集です。現代無上寶の修身訓話として全國小學校女學校より團體注文が殺到してゐます。

目次

寄判―親の無い子―淚に縋く母性愛―落ち行く女性に救ひの御手―子故の闇路―さ迷ふ羊―世は樣々―明るき世界に出でて―巢立のあと―悲しい追想は―椿嬢は二葉より香し―不思議な婦人―弱き者は泣く―育てる其の頃―語り合ふまで―病める社會に惱む特殊兒に就て

賜天覽台覽　參拾版

先進社　東京・本郷・駒込・上富士前　振替東京六五一三八番

最新刊

坂崎坦著　日本畫論大觀(上)　賣價十圓五十錢送料三十六錢
大塚・坂·進・政・最著(増補)　廣告政策　賣價四圓二十錢送料二十錢
矢野恒太著　日本國勢圖會　賣價一圓五錢送料十四錢
岡本一平著　指人形　賣價一圓五十七錢送料十錢
荒木米一郎著　三十三日世界一周　賣價一圓三十六錢送料八錢
長谷川時雨著　處女時代　賣價一圓三十六錢送料十錢
鹽田力藏著　近代の陶磁器と窯業　賣價三圓六十七錢送料十二錢
饒平名智太郎著　性の跳躍　賣價一圓二十六錢送料六錢
子母澤寬著　新選組遺聞　賣價二圓十錢送料十二錢
瀨川太郎著　ユダヤ禍の迷安　賣價一圓五十七錢送料八錢
水谷次郎著　幕末外交と維新の井伊大老　賣價一圓五十七錢送料八錢
島崎藤村著　新選島崎藤村集　賣價一圓五錢送料八錢
田中忠夫著　支那內國爲替　賣價一圓五錢送料八錢
尾山篤次郎外一名著　昭和一萬歌集　賣價二圓六十二錢送料六錢
南信好著　和英法政經濟辭典　賣價一圓五十七錢送料十二錢
熊崎健翁著　戀愛の神秘　賣價五圓四錢送料十八錢
矢田插雲著　太閤記(四)　賣價二圓四十二錢送料十二錢

大阪屋號書店

最新刊

マルクス主義批評論　ユージ・ネツ著　賣價一圓五十七錢送料六錢
受驗參考答案式化問題解法粹　高田德佐著　賣價一圓八十九錢送料八錢
英雄研究ナポレオン秘史　榎本秋村著　賣價一圓五十七錢送料八錢
パンの作り方二十種　主婦之友社著　賣價六十三錢送料四錢
判斷論　エーミル・ラスク著　久保虎賀壽譯　賣價二圓七十三錢送料十四錢
天下の人物(新雄の卷)　古閑莊主人著　賣價二圓六十二錢送料十八錢
議會と革命　マグドナルド著　賣價一圓五錢送料六錢
世界經濟年報　ヴァルガ著　賣價一圓五錢送料八錢
新日本名寶物語　讀賣新聞社著　賣價二圓十錢送料十錢
新選西條八十集　西條八十著　賣價一圓五十錢送料八錢
參考東洋教育史　三浦藤作著　賣價三圓六十七錢送料十四錢
戀愛の神秘　永島鐵雄著　賣價一圓五十七錢送料四錢
平凡　二葉亭主人著
新聞記者と新聞　德富蘇峯、猪一郎著　賣價十錢送料二錢　賣價五十二錢送料四錢
土佐の勤王　德富蘇峯、猪一郎著　賣價六十三錢送料四錢
神道の批判　岸一太著　賣價一圓七十八錢送料六錢

强がつた國民政府が 早くも進退兩難に陷る

ロシヤ側の案外なる强硬態度に 只管平和的解決を切望

【上海特電十八日發】支那側では東支鐵道回收に際してロシヤを無力と見縊り最後通牒及び國境方面に於ける露軍集中の報に對しても單なる恫喝に過ずと樂觀してゐたが最近に至り國民政府はロシヤの强硬態度が必ずしも單なる恫喝許りでなく、場合に依つては斷然たる措置に出る決意を有するもので、ロシヤは現在決裂を前提とする軍事行動に着手しつゝあるものなるとの確報に接し政府部內では少からず恐慌を來してゐるが之がため國民政府は表面では尙ほ依然として强がりと樂觀的口吻を洩らしてゐるが內心只管平和的解決のみを切望してゐるロシヤの態度が今日の如く强硬なる以上會議交渉による平和的解決を圖るためには一旦回收したロシヤの東支鐵道に對する權利を或る程度まで恢復せしめねばならず、斯くては國民政府は東鐵回收を國民に誇つた手前、今更東鐵の管理權は一時的支那に移した迄でロシアの權利は依然認めるともいへず國民政府は斯くて近き將來に於いて內憂外患に逢着すべしと憂慮されてゐる

武力では勝算無しとて 支那側悲觀論に傾く

外交部方面では强硬論

【南京十九日發電】今回の露支國交斷絶は南京に非常な衝動を與へ、殊に政府方面は當事者たる王正廷氏不在のため周章狼狽見るも氣の毒な程であるが、政府部內一般の意嚮は事態こゝに至れる以上武力對抗の外なしと主戰論を唱へてゐる、然し軍部方面の意嚮は大要左の如くで悲觀論に傾いてゐる、即ちロシアは精鋭な豫備軍五十六萬を有し其半數を支那に對し動員し得ること、ロシアの一師は支那の四師に相當する戰鬪力を有し張學良氏の卅五萬では到底勝算無しとしてゐる、若し兩國開戰となれば支那側としては

一、ロシアは有力且つ精鋭なる軍隊を庫倫を經て張家口方面に進出せしめ馮系殘軍と連絡する惧れあること

二、蒙古人が民族自決の爲め好機到來せるを見逃さぬこと

三、外蒙は既に完全にロシアの勢力下に在り此處を根據としてロシアが西北方面に進出すべきこと

其他支那は內部より崩壞の惧れあり到底武力對抗は不可能なるを知つてゐるが、ロシアが同じく戰爭出來ぬ事情ありと見て强硬論を唱へてゐる有樣である

國交斷絶は意外千萬

理不盡の砲火を開けば應戰せん

＝立法院長胡漢民氏語る＝

【南京十八日發電】露國が對支國交斷絶の宣言を發したとの報を齎らして國民政府を訪へば胡漢民氏は非常に昂奮の面持で語る

露國が國交斷絶の宣言を發したとの公電はないが情報は來た、露國の最後通牒に對し我國は之れを受理した十四日午前四時より三日以內に回答を發し、しかも彼の提議せる兩國會議開催の件を承諾したにも拘らず露國が出し拔けに國交斷絶の擧に出でた事は實に意外千萬である、斷交の結果が直ちに宣戰布告となるか否かは今の處判明して居らぬし、また我國としても武力解決に依つて此の結末をつけるかどうかは今云ふ事は出來ぬ、然し萬一を慮つて國境方面の軍備手配は十分にしてあるから、彼れより理不盡の砲火を開けばこれに應戰する外はない、委細は公電の到着を待つて何分の措置を急速に決定するのであるから今晩中には萬事の決定を見るであらう

支那は米國に縋らん

【南京十八日發電】露支の國交は斷絶されたが露支共に兵火を用ふるなく此處暫くは睨み合ひの姿を持續するであらうが、此間に於て國民政府は某方面を通じ日本の調停方を依頼したりと傳ふる者あるが、相變らず支那一流の近攻遠交の政策を用ひ其際米國に縋つて活路を求めんとするもの如く既に其運動を開始せりと信ずべき節がある

哈爾賓勞農領事館員 十九日モスクワへ引揚ぐ

【ハルビン特電十八日發】露支國交斷絶の報に接した當地では露支双方は元より諸外國人間に今更乍ら非常な衝動を與へてゐるが、當地勞農總領事館では既にこの事あるを豫期してゐたもの如く十六日來館務を休止し引揚げ準備を整へると共に一方ドイツ領事ストツパー氏に一切の後事を託して目下支那當局に旅券請求中で多分十九日モスクワに引揚げるであらう、その他主なる東支社員及び一般商民も目下引揚準備に上を下への大騷ぎをしてゐる

新討赤軍を組織すべく 白系露人募兵に着手す

別動隊となつて外蒙軍に當る

【長春特電十八日發】露支國交斷絶の結果支那當局は予ての計畫に基き白系露人を糾合し新討赤軍を組織すべく白系露人の間に手を廻し募集に着手してゐるが、一露人の談によれば支那當局は沿海州難民協會長ホルワット將軍の名で「吾等は此の機に蹶起して支那軍隊と協力し積年の怨みを晴らすべし」との檄文を配布し應募を勸誘してゐる、これ等白系軍人は支那軍隊とは別行動をとり別動隊となつて外蒙軍に當るべく某方面に向ふもので、曾て張宗昌氏の麾下に從軍した者、特科兵、將校、兵卒の順序で採用し、長春在住白系露人中からも百名近くの應募者有る見込であると

國際聯盟に裁斷を仰ぐ 成べく武力解決を避け

【上海十九日發電】露支係爭に關する國民政府の態度は未だ決定せぬが支那としては此際出來る丈け武力解決を避け、ジュネーヴの國際聯盟に愬へて平和的解決の裁斷を仰ぎ、萬一露國側より火蓋を切らば國際聯盟規約第十條侵略に關する條項を適用し聯盟加入國の援助を求むべしとの議論が政府要路間に相當有力である

ロシヤ盛んに示威

支那側は依然消極的態度を持す

【ハルビン特電十八日發】國交斷絶し露國側では滿洲里、ボクラニチナヤ、ブラゴエチエンスク及び三姓下流方面へ盛に示威飛行を開始し、或は國境附近に裝甲列車を時々驅驅せしめ積極的示威行動に出でゐるが、支那側では依然消極的態度を持してゐるので今のところでは戰鬪行爲に移る模樣はないと

露國斷絶通牒內容

【モスクワ十八日發電】東支鐵道問題に關する露國側の國交斷絶の對支通牒は十七日附勞農政府外交人民委員長代理カラハン氏の署名せるもので其の內容は左の通りである

露國の最後通牒に對する支那國民政府の回答は其の內容に於て不滿足であり其の調子に於て僞善的である故に勞農政府は已むを得ず駐支外交官領事館員其他の官吏を召還する、然し勞農政府は一千九百二十四年の露支北京協約及び奉露協定より生ずる露國側の權利を全部保留する

支那は即時善後會議を開く事を忌避する事に依つて露支係爭問題の有力的解決の可能性を喪失し、更らに一方的に條約を廢棄する行動を承認することに依り露支間の常態的關係恢復の可能性をも喪失した南京政府は露國國民及び其の諸機關に對し不法なる彈壓を加へ然も支那政府は

露國が單に露國內に居住せる支那の間諜や阿片密賣者、賭窟業者、密輸入者其の他犯罪の嫌疑者に對して加へたる取り上ぐるに足らざる彈壓に對し過まれる引例を以て鐵面皮にも自己の不法行爲を正當なりと誣ひんとしてゐる支那政府が東支鐵道の露國人從業員を追放し且つ北滿に於ける露國の諸機關を閉鎖せる眞の目的は所謂プロパガンダを防遏せんとするにあるよりも寧ろ東支鐵道の管理權を獲得せんとするにある事は明白である

露支兩國が愼重に 日本の態度を探る

見極め後最後的行動

現在の北滿事情より觀てロシアは四箇軍團を支那軍隊擊破のために出動せしむる事は地方警備上不可能である、然るに支那は萬一の場合は主力を全部國境に集中することが出來るから有利であるといはれるが、現在の事情より觀れば兵を動かすことは一種の示威運動に過ぎぬ、但日本の態度及び南京政府がソウエートに對して如何なる態度を持つかを知るのが必要である、故にその見込がつけばモスコー政府は最後的態度を決定するであらうと觀られる、一方支那は飽く迄つぱり主義ではあるが、それも八分迄で、あとは外交手段によつて決しやうとし支那としても

戰意は

ない、かゝる事情によつて露國は武力によつても東支鐵道における權益を維持することを得ず一時その力を失ふであらう、支那はかくの如きことを豫想して既に東支鐵道の幹部范其光氏に命じて赤系露人がストライキを行ふに於ても列車の運行が出來るやう白系露人及び支那人によつて東支鐵道を掌握し經營する手段を樹てゝゐる、このドサクサに於て白系露人が緩衝地帶を作るといふ噂はあるが、それ程の實力は事情より觀れば疑問である、それは彼等としては此の際赤系露人を追出して東支鐵道に自己の

生活の

資料を得るための手段にすぎまい、而して目下の露支兩國共に日本の態度を極めることにつとめてゐる模樣である

東鐵社員南下

【長春特電十八日發】露支國交斷絶のため支那官憲の赤系露人に對する彈壓は益々加はり東支鐵道從業員中收監を惧れて逃亡する者續々增加してゐるが、十八日午前七時長春着の列車で課長級の高級社員六名來長、大連に向ひ、午後八時四十分着列車では同じく九名通過南行した

哈市市民 戰々兢々

【ハルビン特電十九日發】今やハルビンは謠言の巷と化し就中ロシア人中には日本の旅館に遁れる者

斥候を捕虜し更に 支那稅關を占領

赤衛軍が露支國境で

【ハルビン特電十九日發】勞農側は若し露支開戰の場合は西部方面は國際關係の惹起を慮り、先づ第一に東部ボクラニチナヤ國境方面及び松花江下流方面から支那領土內に侵入し、ハルビンへ進擊する計畫であるもの如く、既にボクラニチナヤでは支那軍の斥候十五名が赤衛軍のために捕虜とせられ、又松花江下流のラハスス支那稅關は赤衛軍のために占領せられたとの噂がある

露支大衝突の報に 哈爾賓在留邦人緊張す

【ハルビン十八日發電】當地東方露支國境方面に於て露支兩軍前線大衝突したとの報告當地に達したので、ハルビン在留邦人在鄕軍人等緊張し萬一の場合に於ける防備方法につき協議中である

ロシヤ商民 大混雜

【ハルビン特電十八日發】國交斷絶により當地主なる露國商民の中には支那側の不法行爲を恐れて自己所有財産を急に日本人及び其他の外人名義に一時書換へをなすもの、或は家族を南滿方面へ避難させるもの等續出し大混雜を呈してゐる

メ總領事引揚

【ハルビン十九日發電】ロシア總領事メリニコフ氏は十九日午後六時引揚に決定し在留民は獨逸領事に依頼した

在哈邦人 保護打合せ

【ハルビン特電十九日發】露支間の空氣が益々切迫しつゝあるため八木日本總領事は二十日當地特務機關をはじめ民會、商業會議所等の各機關代表者を招集し時局に對する緊急打合せ會を開き、萬一の場合に邦人保護を遺憾なからしむる事を協議した

支那公使館 引揚準備

【モスコー十八日發電】在露支那公使館並に各地十五の領事館は目下引揚準備中である

或は急遽露領に引揚ぐる者又は南滿方面に避難する者續出の有樣で、尙支那側では不法行爲を虞れて所有家屋財産を急に日本人名義に書換へ、日本國旗の下にその安全を圖りつゝある

日本は絶對中立

我居留民の生命財産と 權益を犯されない限り

【東京十八日發電】我關係當局では大體に於て露國が支那に對し國交斷絶を通告するとも內外の事情並に反帝國主義の立場から今直に其の軍隊を國境外に進める事はなからうとしてゐるが、一方東支鐵道が全く露國の手を放れるに於ては軍略上到底沿海州方面を持ち堪へる事不可能となるべく、今回の

積極的

威嚇を背景とする交渉に依るも尙同鐵道の持續若くは優先權の維持が不可能となれば支那領內の反ソウエート露人討伐に名を藉つて斷然國境外に兵を進め武力解決の方途に出るやも知れぬと見てゐる、この場合露國としては極東にある約四萬の兵を以て滿洲里並にボクラニチナヤより相呼應して進擊し一擧に東鐵の中心なるハルビンを陷入れて同鐵道の絶對權を握るの作戰に出るべくこれに對し支那側は治安並に地盤を維持の必要より直に二十萬の全軍を使用し得ざるものと見られるから結局約六七萬の東鐵

護路軍

をして先づ之れに當らしむるより外なかるべく、また假りに全軍を出動せしむるとするも既報の如く我國が嚴正中立を固守するとせば滿鐵線に依る輸送不可能となる譯であるから露國側の作戰奏効は大した難事ではなからうと見られてゐる、然してこの際我國としては嚴正中立を守る事は明かであるが我居留民の生命財産並に國家の權益が侵される場合は露支何れたるを問はず適當の處置に出る意嚮である但ハルビン邊までの軍事行動は我權益に大なる影響なしと

當局で

は見てゐる關係上、同方面に於て露支兩軍の交戰を見るとも我國は恐らく之を默視すべき形勢である

支那の行動の 背後に列强

(露都言論界の觀測)

【モスコー特電十八日發】露紙イズヴエスチヤは左の如く論じてゐる

政府が十七日に執つた對支斷行はその對支通牒の第一の結果として見るべきものであるが、これはこの他に尙他の結果の生れ來る可能性のあることを暗示するものである、何となれば全支那と關係の斷絶されることは我ロシアの東方國境の可成の地域に對する安全問題を惹起するからである

尙その他の諸新聞紙は支那の對露國交を徹頭徹尾コキ下してそれを兒戲に等しい不正直なる行爲と言つてゐる、而して支那の回答は東支鐵道奪取問題を論ずる代りに露國內に於て多數の支那人が抑留せられてゐるとの全く新らしい問題を發明するに至つたと述べてゐる、尙露紙は何れも支那の行動の背後には米國其他列强が在るものとしてゐる、對支强硬を主張する各種デモンストレーションは十八日終日行はれ同樣の決議も續々舞ひ込んでゐる

長春駐屯軍に 出動命令下る

先發隊十八日赴哈す

【長春特電十八日發】長春駐屯の支那軍隊野砲十團、步兵五十團は十八日午後四時張作相氏より即時出動命令に接し外出兵を非常召集を爲し先發隊は十八日夜寬城子を出發したが他は一兩日中に全部哈爾濱に向ふ筈

東部國境の邦人 昨夜引揚げ開始

露支軍交戰の虞あり

【ハルビン特電十九日發】東支東部線ボクラニチナヤ國境における露支兩軍の對峙が漸次交戰狀態に入らんとする虞があるため、同地日本人約六十名は十九日晚から漸次ハルビンに引揚に決した

三審議會委員 きのふ發表さる

【東京十八日發電】政府の三大審議會委員の顏觸れは十八日午後五時左の如く發表された

社會政策審議會 會長濱口首相▲委員(閣僚)安達內相、井上藏相、町田農相、俵商相、(貴族院議員)黑金泰義、蜂須賀正韶、黑田長和男、(衆議院議員)木下益太郎、高木正年、黑田敬一郎、末松偕一郎、(學者)理博藤澤利喜太郎、東京帝大教授矢作榮藏、法博桑田熊藏、法博末弘嚴太郎(幹事長)社會局長官

國際貸借審議會 會長濱口首相▲委員(閣僚)井上藏相、町田農相、俵商相、(貴族院議員)鄕誠之助男、志村源太郎、(衆議院議員)田昌、増田義一(實業家)櫻內幸雄、岡崎久次郎、日銀副總裁深井英五、正金頭取兒玉謙次、門野重九郎、郵船社長各務鎌吉、商船社長堀啓次郎、(學者側)法博渡邊鐵藏、(幹事長)大藏次官河田烈

關稅審議會 會長濱口首相▲委員(閣僚)幣原外相、井上藏相、町田農相、俵商相、(貴族院議員)大橋新太郎、斯波忠三郎男(衆議院議員)武內作平、柳瀨軍之佐、小山松壽、飯塚春太郎(實業家)志立鐵次郎、安川雄之助、三宅川百太郎、堀越善次郎、兒玉一造(幹事長)大藏次官河田烈

尙同官制も同六時發表の筈

護照所持邦人を 捕縛せよと示達

入蒙は事實上禁止

近來支那官憲は日本人の蒙古地方旅行乃至諸調査のための入蒙に關し表面形式的には護照を發給し不干渉を裝ひ乍ら先般の洮南における滿洲醫大診療團一行の入蒙拒絶の如く實際に於ては事每に不當なる口實の下に日本人の

入蒙を

妨害阻止しつゝあり事實上入蒙禁止を爲せると同樣の狀態にあるが、最近に於ても滿鐵地方部土木課本庄准氏及工業專門學校鷲尾氏等が洮南より約二百四十支里の圖什業圖方面視察の爲め同地に赴かんとせし所、突泉縣知事は地方警察官憲に命令して同氏等一行を發見次第捕縛し突返すべしとの亂暴なる示達を行ひ爲めに一行は已むなく中途より引返すの餘儀なきに至つた事實あり、先に何等の理由なく公共的醫大診療團の入蒙を阻み今又合法的な

護照を

所持せる邦人の旅行を亂暴な警察權の發動を以て威嚇する等近來の支那側官憲の著しい反日的態度は各方面から注目されてゐる

臺灣總督の後任

樺山氏が有力となる

【東京十九日發電】川村臺灣總督は一兩日中に正式辭表を提出する事になつたにつき、其後任は石塚英藏氏に內定してゐた處薩派は樺山資英氏を極力推薦しつゝあり或は同氏の起用を見るものとの觀測が有力となつて來た

日本工場の 停業決議

青島に於ける 職工の不穩で

【天津】青島よりの十五日發電に據れば、既報の日紡其他工場に於ける險惡なる風潮は其後愈惡化し爲めに會社側は其の事業を繼續するの不利なる狀況に陷りたるため日本紡績聯合會の六會社、燐寸會社三社、製糸會社一社は前日聯合會議を開催し尙此の上職工側が依然其の態度を持續するに於ては斷然各工場一齊に停業し之に對抗する旨の決議をなし、同地總領事館其他關係官衙に速かに支那官憲に於て嚴重なる取締をなさん事を要請したりと、因に同地工會は既報の如く黨部の指導を受け其狂暴さは益々深刻化しつゝありと

夏期講習派遣 教諭決定

關東廳及び滿鐵の兩學務課から夏期講習のため派遣される各中等學校教諭は左の如く決定したが、關東廳關係は十四名、滿鐵側からは六名に小學校教員五名、保姆四名であつた

▲關東廳側 輕井澤夏期大學、旅順一中倉本茂貞、東京高師、旅順二中麻生茂、日本體育、旅順二中堀井總五郎、東京高師、同上蜂須賀正、同女高師、大連一中有松博、東京高師、大連二中岡田米太郎、奈良女高師、旅順女平野壽作、大阪大手前高女、神明田中瑞夫、輕井澤夏期大學、彌生上村義雄、同、同上津上ツヤ、同、同上岩光好、東京女子體操、神明田中阜子、東京外語、商業篠崎成一、東京高師、同上棚倉純二

▲滿鐵側 北海道帝大、南滿中澤武逸、東京高師、安東高女羽田文次郎、同上鞍山中竹田克治、女子高師、安東高女松田豐祀、同、奉中山下藤次郎、佐賀高等撫中古田康光、東京女高師、本溪湖家政河村キヨ子、東京高師、瓦房訓導中原文敬、奈良女高師、大石橋岸野兵藏、營口津島勝一、廣島高師、長春室町間瀨信昌、東京女高師、大石橋屋葺松子、奉天相澤泉子、大連南山麓幼稚、奈良高女師、沙河口日高綾子

而して七月二十日前後八月十日前後又は八月十二日頃から廿日頃までの各學校夏期休暇を利用し派遣されることに決定した

安樂椅子

きのふ辭任挨拶に前觸れもなく大連に姿を現した木下長官が▲滿鐵を訪ふて「けふは關東長官でやつて來たが、そのうちにまた木ノ譯でやつて來るよ」と面目躍如たる言葉を殘して行つた▲そろ〳〵大相撲が近づいたので最負筋のお茶屋を中心に常の花、大の里、武藏山等の花形力士の後援會で切符賣りつけに火花を散らしてゐるが▲大相撲の先乘りに來た檢査役の山科親方は持病の神經痛が再發して▲昨今の暑さに遼東ホテルで大きな體軀を持て餘してゐるので好角家から大いに同情されてゐる。

満日地方版

鐵嶺

遼西地方へ日貨見本展示團
愈よ巡回に決定す　參加者は十六七名

豫て計畫中であつた鐵嶺輸入組合主催第二回の遼西地方邦商見本展示團は今回滿鐵からも補助金が交附されたので愈決行する事になり十七日夜協議會を開催したるが第二回は地理も充分に判り且つ支那側の嗜好品も知悉されてゐる事とて第一回以上の成績を收め得る見込で參加者十六、七名あり、巡回のコースは法庫門、哈拉沁屯、康平、通江口、金家屯、昌圖城内等全部を巡る筈で、滿鐵からも御園生農務主任が同行すると尚出發に就ては何分にも連日に亘る豪雨であり、道路の破壞河川の增水程度等不明につき豫定を協議する能はず天候恢復を待つて後更に協議する事としたが多分八月初旬となららうと

豪雨による被害
土木請負業者が多い

連日の豪雨で各方面の被害少からざる模樣であるが最も大打擊を受けたのは土木請負業者で殊に今年の鐵嶺は近來に無い工事繁忙の年で、目下工事中のものは志岐組請負の滿鐵クラブを筆頭に今井組の小學校增築、公園前の內權社宅新築、種豚場豚舍增築、從濟寮の防火工事、綠町の社宅改造、苗圃貯藏庫及農具庫改築それに貨物事務所前の道路改修等何れも大工事であるが、特に滿鐵クラブの建築は鐵嶺工事で地下室基礎工事の爲め地下十五尺まで掘下げたとき水脈に掘當てたものか、數本の水道から恰も掘拔井のやうに水が噴出して手もつけられず、こゝへ今回の豪雨で、竣工期日たる十月十七日までの竣工は到底困難なるのみならず莫大な損失を蒙つたであらうと觀られ其他の工事も悉く中止の止むなきに至つた、請負師を殺すに刄物は要らぬとかいふ諺を如實に物語つてゐるかのやうである、尚大矢組は工場と倉庫に浸水し米六十俵、粟二百石が水浸しとなり原動機も使用不能となつて復舊までに一週間を要し約千五百圓の損害を蒙り、陳列館構內の國際運輸倉庫も非常に氣遣はれてゐたが小池主任指揮の下に三、四十名の苦力を督し徹宵排水に努めた効あつて古麻袋若干を濡らしたのみ、綿糸布類には何等の損傷を見ず各戶浸水もあつたが何れも損害を蒙る程度には至らなかつた

天候漸く囘復

さしもに猛威を揮つた連日の豪雨も十八日夕刻に到り漸く霽れて夕陽の光を見市民はホツと一息したが、空は依然として曇勝ち全く晴れたとも見えないが二、三日中には天候恢復するものと豫測されてゐる

金融組合
月末成立か

鐵嶺金融組合設立に關しては十六日同發起人會を開催したる結果、發起人二十名を更に十名追加三十名とし連署設立願書を提出して認可を得次第役員を定め加盟申込を受付け始めて營業を開始する事と

赤痢減少
駐劄隊の

一時非常に憂慮されてゐた駐劄大隊の赤痢は其後日每に患者減少し營內に隔離されてゐた百名は全部隔離解放され現在では衞戍病院に四十二三名の收容患者あり、これも經過良好にして爾來一名の新患者も出ず聯隊では始めて安堵の胸を撫てゐるが連日の豪雨と天候不順の折とて內部では一層嚴重な警戒が施され防止に努められてゐる

鐵嶺財政局長

鐵嶺縣財政局長は候補者三名が過般出奉受驗の結果、鐵嶺縣蓮花泡出身の董振麟氏が合格し十七日就任と決定した、董氏は元于珍氏の秘書官であつたと

馬賊出沒
不安の東豐

東豐縣地方では昨今小嶋馬賊の出沒頻りにして大肚川を中心として隨所に橫行し白晝堂々大膽なる行動を敢てするなど不敵の振舞多く城內と梅西線驛とを通ずる道路の

全滿クレー射擊大會の概評 (上)
湯崗子にて　南里審判員

奉天鐵友會主催本社後援の湯崗子に於ける昭和四年度(第五回)全滿クレー射擊大會は既報の通り雪辱の意氣に燃えてゐた大連軍のため鮮かな大勝を制せられるに至つた、然しこの大勝は

◇…大連軍にとつて三年目で勝つた喜びの裏面には涙ぐましくもまた痛々しい程の練習が秘められてゐる、而して大連軍全員は剛拔けて射擊得點を見せ名譽ある伏見君宮殿下盃及び山本滿鐵總裁カツプ二個までも一人で奪取した全滿に於ける名射手兼頭助市君の奮鬪力戰には無條件で讃辭を送ることを惜まなかつた、いま審判臺上より見た戰跡の概評を試みることとしよう

◇

大連軍主將兼頭君のA部(一個射)に於ける成績は十四點、十二點、十四點、合計四十點であつたがこの三回射擊中十六點乃至十八點の點數が取れなかつたことは、自他共許した主將としての得點責任感から射臺に立つた際幾分堅くなつたゝめで、雪辱戰といつたような場合は所謂この點が非常に不利になる譯である

◇

然し奉天軍の名射手として知られてゐる長山君(前年度の優勝者)の十點、六點、八點、合計二十四點に比し十六點の大差を生じた態々たる勝利は既に第一當伏見宮盃の大連軍奪取だけは殆んど決定的に決定した、このため嘗勝といふ不利な立場から堅くなつてゐた大連軍全選手はスツカリ安心して射臺に立つことが出來るやうになつた

◇

これに反し奉天軍長山主將が最初から振はず「こうではない筈だが」と大連軍の「堅くなる」に對し氏は「あはて」氣味となり從つて一層冴た腕が鈍らせられてしまつた憾みがあつた、殊にA部三回目の最終射擊に當つて放出された瓦器が完全飛行にも拘らず破壞瓦器と見て射擊を控へたことは大失敗で非常に惜しいことであつた

◇

當時の瓦器を破壞ものと見たのは瓦器に殘つてある白亞が瓦器の飛行に當つて脫落したに過ぎず、射擊規則の「破壞」には該當せぬため當時の辻審判委員が有効(零點)判決を固持して射返しの要求に應せず、權威ある審判に汚點をつけなかつたことは大局から見て全滿射擊會のため機宜に適した名審判振りであつた

一寫眞はクレー大會場における大連、奉天及安東軍の休憩所

滿洲繪筆遍路　大野斬文
一、十七一　洞窟の中の湖(本溪湖)

驛から支那街を拔けて約半里「本溪湖」見物に本溪湖生れの野村君の案內で出かけた。廟の裏に洞窟があり三坪程の淸水を湛えてゐる。湖と稱するには餘りに人を食つた水溜りであるが洞口に「誠則靈」とか「感恩」とかの獻額のあるのを見ると湖としての實力(?)も相當あるらしい。

奉天
奉天スポンヂ野球大會規定
二十八日擧行

奉天スポンヂ野球大會は來る廿八日醫大グラウンド、舊グラウンドの二ケ所で奉天體育協會主催の下に開催される事となつたがその規定は左の如く決定した

一、昭和四年度滿實の選手を除く二、申込みと同時にボール代として金五圓を拂込むこと

三、試合は優勝戰までは五回戰とし優勝戰は七回とす

四、ボールは標準小學校ボールのこと

五、申込所は富士町野田運動具店

滿倶野球部陣容を整ふ

奉天滿倶野球部は沿線優秀チームを誇らんとし幹部等は選手の選拔に東奔西走の有樣である、今回鐵道事務所庶務長の下津氏が大連に出張し昨年まで大連滿倶選手をしてゐた早稻田大學選手水原氏を一週間に亘つて交涉の結果奉天列車區に轉勤せしめることゝなり、尚長崎高商出身の原田氏をも參加することになつたので來るべき試合からは新選手としてグラウンドに於て活躍する筈で滿倶は大意氣込みであるがまだ投手がないので目下選擇中である

當分雨天續き
飛田技手語る

昨今は奉天には珍しい雨天續きで全くウンザリするが之につき奉天觀測所の飛田技手は語る

滿洲も十日以來雨期となつてゐる高氣壓の中心は小笠原方面から黃海方面に擴張し一方黃河下流域及び奉天附近に小低氣壓現はれ進路を遮斷されてゐるため滿洲は各地とも雨である、そして降雨量は奉天が最も多く十六日夜來十八日午前中まで八七ミリで坪當り一石六斗を示し長春安奉線は割合に少い、猶この氣壓は一時少康を保つも又氣壓が亂されるので今後二週間位はこの天氣が續く見込である、然し農作物は水害がない限り大丈夫と思つてゐる

三民主義教育

開原縣教育局長は十六日午後二時より管內各學校長を城內に招集し會議を遂げたるが內容は縣下學校職員にして未だ三民主義に通ぜざる者あるを以て、十八日より十日間に亘つて三民主義講習會を開催し出席せしめ、又師範學校卒業同等以上の學力ある希望者にも出席を許し講習後試驗の上合格者には代用教員たるの資格を與へ、一層三民主義的教育の徹底を期するといふにあつた

二名溺死の　プールを改善
但し明年のこと

今年に入つて奉天プールで二名の溺死者を出したが、右プールは設計が正式でないので三千七百圓の豫算を以て明年改善することになり、內容は從來選手用の深さ五米突を三米突にし淺い處を二米突にして危險防止のため鐵柵を作る筈である

大相撲一行
二十三四日興行

常の花一行の東京大相撲は來る廿三、四の兩日奉天滿鐵舊グラウンドの西南隅で開催される事になつたが多年當地において勸進元を勤めてゐた藤城堅太郎氏は今回を以て引退するが一行の先發員稻川關は挨拶旁々當地通信記者を十七日夜梓山に招待した

滿鮮直通列車
事務打合內容

この程京城で開かれた滿鮮直通列車事務打合せ會に出席した奉天鐵道事務所の白井營業長、海上旅客主任は過日歸奉したが左の如く語つた

會議終了後出席者一同は稅關取扱改善につき實地調査のため釜山、下關まで出張し現狀を視察した、會議の內容は七十餘件に亘る提出議案につき種々協議を行つたが先づ長釜直通列車內に擴聲機を使用し驛名又は沿線各地の新ニユースを報道する計畫、從來直通列車內には完全な衞生の設備がないので滿鐵線同樣客車內の寢具類の消毒その他衞生方面の設備をたすこと、歐亞聯絡開通による事務從事員を從來長春、奉天、安東、京城の四個所において交代してゐるのを二ケ所位に限定し乘客の便宜を圖ること、守備隊及び駐屯軍の家族引揚げについて從來種々の手數が掛つてゐたものを內地までの直通取扱をなすこと等一般の便宜を圖るため努力することゝなつたがこの計畫は何れも今秋までには實現する見込である

奉天醫院の入院患者數

奉天醫院の現在入院患者數は三百十五名にてその中普通患者百九十九名、精神患者十八名、結核患者六名、傳染病患者八十名、その他命令患者十二名である、就中傳染病患者中赤痢六十五名、チブス七名、猩紅熱四名、天然痘一名、その他三名となつてゐるが例年によると赤痢病患者は六七月頃からボツ〳〵現はれる處であるが今年は七月に入つて六十五名にも達して益々發生する模樣があるのは未曾有のことで同醫院の傳染病患者室は滿員となりこの上發生するならば廊下の通行を遮斷して收容せねばならぬ狀態にあり係員は此の暑さに之が收容に多忙を極めてゐる

人事

▲齋藤滿鐵理事　十七日夜大連へ

▲森島奉天領事　十七日急行にて哈爾賓へ

▲三浦同副領事　同上

▲奧田陸軍省經理部監査課長　十七日長春より來奉十八日朝安奉線にて內地へ

▲小川衞生檢査員一行　十八日撫順へ

▲東京商大生一行四十一名　十八日大連より來奉大丸旅館

▲慶大キヤンピング團一行十五名　十八日安東より來奉

▲千葉醫大生廿七名　十八日安東より來奉同日撫順往復大星ホテル投宿

▲早大生一行十名　十八日安東より來奉同上

自轉車十數臺竊取

十八日午前七時頃奉天郵便局前で浪速通前田某の自轉車を竊取逃走せんとした一支那人あり、直に逮捕し取調べた處彼は小東門外居住無職温加珍(一八)と稱し市內各所で十數臺の自轉車を竊取してゐた事を自白したので引續き取調中であるが猶共犯者劉德全の行方を搜査中である

郵便事務取扱時間

奉天郵便局では來る廿一日より八月卅一日まで爲替貯金その他現金受拂事務取扱時間を午前八時から正午までに變更することになつたが代金引換小包の受領及び電話料金等の納付は右時間中に限ると

十數名組の賊
倉庫の鉛を盜む

七月十八日午前一時第二發電所鉛工場倉庫內に十數名の賊が侵入し鉛塊二十六個時價四百圓の竊取逃走犯人不明

四平街
通遼の近況
內鮮人の美しい融合

最近通遼の發展は著しく今や鄭家屯を凌駕する大都市となつてゐる、物價は他地方に比較して稍高價なるに拘らず賣行きのよいのは土地の膨脹に伴ふ自然の趨勢であらう、而して各商店のウインド內は殆ど九分までは日本より輸入せられた物資である、居留邦人は內鮮人も加へて居留民會を組織し會長に太田勤、副會長に滿鐵公所の橫尾氏並に通遼病院長李氏をあげ內鮮人は眞に一家一族の如く慶弔禍福は素より互ひに相提攜して發展に努めてゐる、排日の潮流は鄭家屯より洮南を經て當地に浸入するがいつも當地に於て立ち消へとなる珍現象を呈して居る、尤も一部不良の徒は附和雷同するも表面に現れない、奧地と言へば必ず馬賊の跳梁を連想さるゝも當地は地勢の關係と官憲の警備周到なる爲め時々狐鼠泥の被害はあるも他地方に見る如き大部隊の馬賊が襲來せし例は未だ曾てなく一般在住者は安んじて職業にいそしんでゐる

ボーナス月に落した揚高
日支合せて六萬八千圓

どんちやん騷ぎをしたボーナス月六月中の日支各料理屋へ落した金は狹い撫順で無慮六萬八千二百五十一圓で是を平月の五月に比較すると約二萬五千三百四十二圓の激增を示してゐるから豪氣だ、現在各料亭の美人連總數四百八十三人(內鮮人五〇)支人三百七十九名の計五百六十二名であるが揚高の多いのは何としても日本人藝妓連で四萬二千四百四十二圓卅一錢、次が鮮人酌婦の五千七百八十八圓廿錢、支那料理店は簡單多賣主義で三百七十九人の水揚約現大洋二萬圓と云ふのだから萬更馬鹿にならぬ

撫順
正服巡警二名が盜賊を指揮す
ケーブル電話線切斷事件

既報十四日午前一時半千金寨のケーブル電話線切斷事件の犯人の自供及び現場を目擊したる野菜番人柳某の言に依れば、當時の犯人は七、八名にてその指揮者は正服巡捕長銃所持の巡警二名である事判明、今に始まらぬ事乍ら盜賊の指揮者が某國の不良官憲であることには當局もその對策に困りぬいてゐる

一網打盡
十七日の捕物で見込立つ

撫順署では頻發せる強盜檢擧のため一睡もせず東奔西走してゐるが、十七日午後十時歡樂園內で直隸省生れ現住所不定杜廣順、何景玉の兩名を格鬪の後漸く逮捕したが、ブローニング拳銃、實包數十發を所持し居りたるも、犯行の一部を自供したのみで係官を手古摺してゐるが、右兩人の檢擧で撫順の怪盜事件その他の犯人も近

撫順雜俎

柔劍道暑中稽古　撫順靑年團は十八日から向ふ三週間警察道場に於て柔劍道の暑中稽古をなすと時間は午後六時半から九時迄

七月三十日から八月三日まで五日間午後七時から同九時迄補習學校で滿鐵本社華語試驗委員の秩父固太郞氏の華語講習會がある一般の聽講自由

◇

大官橋以東の附屬地を大官町と名づけ將來住宅及び工場地の混合地區となし一般希望者に貸付くる由

煤都餘燼

×

赤痢等の夏季特殊傳染病と飲食物取扱業者とは離れ難い關係がある

×

途上の見地から十五日の衞生デー

大相撲
十七日乘込む

奧原巡査の溺死體
發見せらる

狂犬二頭
十八日發生

排日は人氣取策か

井戸掘有望
三四十尺で湧く

營口
巡警待遇改善

小池氏歸安

朝鮮博覽會に兒童作品出品

安東
小學の弊風改る
手島校長の努力にて

手島大和校長は錢拾得屆出ある毎に學年別に學用品の金錢を所持し

教員選手決定

遼陽
弓術大會
二十八日開催

吉井氏嚴父訃報

農業實習生劍道部

庭球試合中止

一國一人

夏期講習會出席者

撫諭滿洲文學發刊

時計を盜む

旅順
自動車運轉の試驗簡易化二願事が申請

鞍山
都市金融組合發起人組合
十八日開催

輸組が保險代理業務取扱を開始

又も交通事故

撤水自動車

竊盜犯人逮捕

野球の猛練習

いかさま賭博

南京虫驅除を引受

火柴公司新築

東洋大學教授宮森氏講演
二十三日開催

木材業助成金

少年團幹部會

教育欄

學校の夏季休暇と 其の存在價値（上）

青山生

各學校が毎年傳統的に繰返してゐる行事の中にかなり其の意義の曖昧なものが少くない。夏季休暇もその一つである。

◇

學校の夏季休業は之を常識的に考へると、夏季は暑熱が甚だしく兒童生徒が學習に堪へられないから酷暑の間だけ授業を休止するのであるといふやうにも想像される。しかし夏季休暇を設けてある理由が單に暑熱のみであるとしたならば、そこにはいろいろの不合理が發見される。

◇

先づ身體が比較的幼弱で抵抗力の弱い小學兒童よりも身體の立派に成熟した抵抗力の强い中等學校專門學校及びそれ以上の上級學校生徒に對しより多くの休暇が與へられてゐるといふことが不合理の一つである。それから殆ど寒帶から熱帶に亘つて存在する日本全國の各學校が殆ど同期に殆ど同期間の休暇が、與へられてゐるといふことは第二の不合理である。現に大連の如きは盛夏と雖も堪えられぬ程の暑熱は全く無く學習に堪えられないやうな日は殆ど無いと言つていゝ、斯う考へて來ると暑熱を夏季休暇の理由とすることはどうも當らないやうである。

◇

近年各小學校を見るに、一ケ月間の夏季休暇を其まゝ休養に消費してゐるところは殆どなくいづれも此の期間を特殊教育の唯一の機會として海濱聚落に温泉聚落に、林間學校に、早起會にいろいろの名目の下に、思ひ思ひの教育事業が行はれてゐる多くの人々は之を以て學校教育以外の仕事であるかの如く考へてゐるやうであるが、それは教育といふものを教室の中學校の中に於てのみ行はれるものであるといふ謬見に基くものであつて海濱聚落と言ひ温泉聚落といふも決して教師の遊び半分の仕事ではなく兒童の保健を唯一目的とする眞劍な教育の營みなのである。

◇

斯うした教育の特殊施設が日常教育の延長とし或は補足として夏季休暇中に行はれるとすれば從來の夏季休暇といふものは少からず其の存在價値が失はれるわけである。

◇

勿論之等の夏季の特殊教育施設は多分に流行的色彩を帶びてゐる。そして他の學校がやる以上自分の學校も何かやらなければならないだらうといふ一種の義務觀念からお座なりにやつてゐる學校もないでもないやうだが昨今のやうにいろいろの施設を競爭的にやつてゐる狀態をその形から見ると小學校の夏季休暇は明かに短縮された形を取つてゐる。之は夏季休暇の存在を否定するものではないだらうか

◇

此の種夏季教育施設は、各學校が當局者よりの指令に基いて實施してゐるのではなく、もとく學校當局者の自由意志によつてやつてゐることであるから休暇をそのまゝ休暇として完全に兒童も休ませ教師も一ケ月ゆつくり休むとが出來るわけであるが、最近學務當局者の態度は各學校に對して何等かの夏季施設を要求し全然休暇を安息に費消することは出來ないやうな傾向になつてゐる。つまり監督官廳は何等か休暇中の教育施設を各學校に要求してゐる。かくて夏季休暇なるものはいよいよ其存在價値が怪しくなつてくる。

夏と兒童（二）

滿洲の兒童には 學習よりも保健

蕉林生

大地の親しみ

昔ローマ人は土を母と考へて居つた。又ルソーも「兒童には土をいぢらして置け」と云つた。吾々も子供時代に土遊びから受けた印象は今以て中々忘れられない。それ程子供と大地とは仲のよいものである。彼の運動場や公園などで大勢の子供が石ころを鉛筆代りに遠慮なく大きな繪を描き放し、然も彼等相當に批評もし、鑑賞もして樂しんで居る樣子は、日々隨所で見受けるのである。是等の兒童に取つては大地は實に金のかゝらぬ自然の大黑板である。若しそれ與ふるにシャベル、鍬の類を以てせば直に掘り始める。山も造ればトンネルも掘る。家も建てれば鐵道も敷く、其の立體化の手腕には到底大人の想像も及ばぬものがある。然しこれは子供の惡戯であつて全身泥まみれになり、着物を臺なしに汚す事から申せば母親に取つては此れ程迷惑な事はないのである。けれ共、一歩進めば植物を友として、種子だ水だと云ふ風に自から動植物愛好の美德を養ふのである。斯くして兒童の世界を擴げつゝ他面には空氣、日光に觸れ不識不知の間に保健法を行つて居るのである。これも夏の自然の恩惠の一つであらう。

睡眠

子供は睡る、食ふ、遊ぶと云ふ三つの特權を所有する。睡眠は生理上哺乳動物に缺くべからざるもので犬猫等の家畜類は三日間睡眠を與へないと病氣になつて斃死するに至ると云はれて居る。人間も同じ樣に殊に幼兒程睡眠時間を要するのであるのだ。一般に都會の兒童は睡眠が不足勝ちの傾きがある。別けて夏季に此傾向が著しい。是れは都會たるの原因、例へば雜沓地域であるがため騷々しくてよく睡れぬ。或は淡暑くて床に入れない等の不可抗的な事もあらうが、多くは夕食後間食するとか、或は夜更かしの仲間入りをするとかの結果だと思ふ。

然らばどの位寢かしたらよいかと云ふに、學齡兒童になると十時間――十一時間を適度とする。五六年頃の兒童でも九時間は睡らさねばならぬ。勿論睡眠は時間許りでは極められぬ。其深さと申して所謂熟睡する事を要するのである。學校兒童でも神經質、虛弱兒童は概してこの睡眠が深くない。私が此五月に調査した兒童二九二名中には夜よく睡れぬと云ふ兒が二一名あつたが、體質は薄弱者若くはそれに近いのが多かつた。若し健康兒であれば大抵寢入りばな即ち就寢後二三時間は睡眠が深くて、夜明け方に淺くなる。然るに夜更かしをする癖のある兒はこれと反對に寢付きが惡い。從つて朝方に睡眠が深くなる。それを無理に起すから朝食が欲しくない。睡むいから凡てに注意することが出來ぬ。行動も不活潑になるのである。要するに早寢早起は夏の子供には極めて大切な慣習である。

食物

夏季になると健康者でも一體に疲勞を覺えて何となく身體がだるく、食慾の進まぬものであるが、此の傾向は兒童にも同樣である。大人でも子供でも六月―八月の間は概して身長は伸びるが、體重の最も少い即ち發育の緩漫な季節となつて居る。斯う云ふ季節に疾病に罹つたり、不規則な不攝生な生活をさせると營養發育が緩漫、許りでなく體溫が低下する。然らば、子供の夏の食物としてはどんなそしてどれ丈けの榮養素を要するかは專門家の教に俟たねばならぬが、兎に角胃腸の活力の鈍い季節であるから、消化不良の爲に胃腸の中で異常分解をする樣な食べ方をさしてはならぬ。

私の調べた結果によると、前記二九二名中の一五九名（五五%）が毎日間食をして居る。然るに夕飯のまづいと答へたものは僅に二五名（八%）しかなかつた（兒童食物の好惡は調査の時期によつて異る）。これは夏の日永のため腹が空るからだと思ふ。

故に夏季には相當の間食を給與する必要がある。然し間食は其與ふる時刻と分量とを誤つたら必ず夕飯に影響するものと思はねばならぬ。尚肉類の厭なが四八（一三%）魚類一〇六（三六%）卵三二名（一一%）豆類三九名（一三%）味噌汁五五名（二〇%）などから見ても夏は總じて淡泊なものを欲する傾向があるやうだ。要するに夏の滿洲兒童には學習よりも保健を先にしてやるべきだと私は考へる

奬學會員の 金剛山探勝 八月十二日出發

大連奬學會研究部では毎年夏季に會員の視察旅行を行つてゐるが本年は八月十二日大連を出發朝鮮各地の視察及金剛山の探勝を行ひ歸途は芝罘及威海衞方面を見學二十二日歸連の筈、一行は左の十二名である

藤田藤五郎（伏見臺）金栗良二（日本橋）下田茂七郎（常盤）外河勝良（大廣場）甲斐清作（春日）木村舟次（南山麓）山口福次郎（沙河口）小林德次郎（大正）田所竹一（周水）三橋正文（土佐町公）岩本幸吉（沙河口公）外に本部より一名

教專讀物調査會 推薦兒童讀物

一、狼少年 動物の世界を描いてこれ程想像の豐かなものはないしかもこの内に常に正しいものゝ力と善良さとが動いて居り、讀むものゝ心を明るくする。キップリング作、小島政二郎譯、金の星社發行、四六版函入幀乙、尋常四年以上、價一圓二十錢

二、世界少年立志傳（外國の卷） ホーレングリーリー、ジェムスガーフィルド、ジェムスワットベンヂヤミンフランクリン、アイザックニュートン、ウィリアムリグレー、グラッドストーンエブラハムリンカーン以上八人の立志成功物語で、行文流麗にて物語も興味深きものである。修身の教材としてもよいもの、久米元一著、金の星社刊・四六版裝幀中、尋常五六年以上、價一圓五十錢

三、少年世界地理文庫 地理の書物でこの位面白く書いた本は尠い。專門的な記述ではないが大人にも興味深い好い本である。寫眞が幾分不鮮明ではあるが數多く挿入されてあることや、索引が附いてゐることも便利である。西龜正夫著厚生閣發行、裝幀中、五年以上、價一圓五十錢

◆推薦せざりしもの 學校用沙翁劇脚本（三浦成作厚生閣）少年日本外史南北朝の卷（三浦和川、金の星社）デンマルク童話集、大戸喜一郎、金蘭社）新しい學藝會（奥野庄太郎、集成社）母と讀本（家庭教材研究會、博文館）小學生年鑑（川村辨助、北隆館）兒童文章學一―六（菊地知勇、文錄社）短い對話と小さい劇（長尾豐、厚生閣）女流十人物集（佐伯孝夫、賢文館）

夏の隨筆 蓄音機

園山良之助

去年の夏休日中蓄音機攻めに遭うて、とうとう神經衰弱になつた。二週間程海岸へ行つて癒やしたが、今年も亦蓄音機攻めに遭うらしい、借家住居のなさけなさ。あゝ、郷里へ歸りたい折角多少滿洲に落付いた氣持になつたのに、又々懷郷病に襲はれる。

蓄音機攻めといふのは私の借家（市營住宅）の四方から晝も夜ものべつに蓄音機に攻められる私の身の上をいふ私の述懷である。

◇

蓄音機について考へる。そのレコードで主人の趣味の程度が窺ひ知られる、趣味の高い人が高尚な音樂を好むと同時に、なんと低級なレコードを揃へてゐる人のあることよ。私の神經衰弱になるのはこの低級のジャズ物の連發に攻められるが爲めである。あゝたまらぬ今夜もまた始まつた。暑いけれども窓を閉ぢて居ると多少は音が小さくなる。

好いレコードが（獨り聞く程度の音量で）かすかに風に流れて來るのは、讀書の合間々々、時には感謝しながら聞く。惡爲いジャズをのべつにやられるのはもう腹の立つ域を通り越して身の置き所もなく、とうとう我家を他に外出してこの環境からのがれる。あゝ修養が足らぬ。私はこの蓄音機の音を苦にする程平凡な讀書子である。

◇

その低級のジャズ音樂を晝も夜もやるのは子供のお守のためなのかとよく見ると、たゞそうした騷音の中に起居することが好きであるかららしい。一方蓄音機が鳴つて居り、一方そこの人々は話したりなにかしてゐる。敢てその音樂を聞いて居るのではない。不思議なる蓄音機病者である。

そこでこの蓄音機の子供に及ぼす教育的結果を眞面目に考へた。

家族が蓄音機の騷音中にゐることを好むから子供も敢てそのレコードを聞くのではなく等しくその騷音中に遊んで居る。この子供は物に專心になり得ない精神の統一が出來ぬ。斯うした子供は學校へ行つて一心に先生のお話を聞く事が出來ない。心が常にそのジャズレコードの中に育てられる如くフラフラとして騷々然雜々然たる心境に夢化しつゝあらう。

◇

そこで蓄音機についての結論をつくる。レコードの精選。なるべく子供の精神の落ちつく樣な音曲を選ぶがよい。それは西洋の名曲がよい。さすがに西洋の名曲は何時きいても、何度きいてもいゝ氣持である。日本物には子供にすゝめる樣な物は一寸見當らない。所謂子供向に賣られて居る曲は感心されぬ。學齡に達しない子供にきかすレコードもやはり西洋名曲がよいと思ふ。ジャズ式の童謠曲から教育的價値は認められぬ。學齡に達した子供には學校で教はる歌ほどで澤山だ。家庭で童謠曲のレコードによつてまで教へなくともよいし、聞かせなくともよい。童謠は名の如く童謠で、そんなに尊いものではないのである。子供は一日々々伸びつゝある。一年生の童謠をいつまでもよろこんできいたり作つたりする樣では駄目である。

◇

蓄音機の聞かせ方。若しも蓄音機をやるなら（ラヂオも同樣です）專心傾聽せねばならぬ、そして曲を味はふのである（雜話しつゝ、又は何か他のことをしながら蓄音機をやつてはいけない）音樂はさうして名曲を聞くうちに自然に解る樣になるし又その名曲のために高雅なる品性が陶冶されるのである。

先づ蓄音機をやる日をきめる。レコードの夕とかして一週一回土曜の晩、或は二回水土位にして、家族一同打寄つて專心愉快にきくがよい。毎晩同じレコードを聞かなくとも、子供の手本にもなるから讀方をするがよい。子供のない人も讀書せらるゝ樣にお勸めする。又一回に何十枚と財産全部やらずとも五枚とか七枚とかやつたらよからう。所謂知足安分をおすゝめする。いかにこゝは滿洲だとて然く享樂氣分になることは郷里の父母に對して忸怩の感無きやと申したい。

關東廳豫算の削減不可能なる旨打電

十九日拓務省に宛て

神田内務局長、藤原警務局長を始め各課長等の實行豫算に關する最後の打合せ會議は十七日午後三時から行はれたが、警務方面に關する豫算は現在より削減の餘地なく内務方面では上水道費、都市金融組合貸金等二、三はあるが、これとて今更どうすることもできぬ性質のもので拓務省の**要求に**よる土木事業の半減其他の削減は到底實行不可能であることに決定し其旨十八日在京中の西山部長に向け詳細打電した、尚當日は櫻井遞信局長も列席し協議したが遞信局方面の官制改正も全く望みなきものとなつた、因に關東廳官制改正は消防署その他地方費豫算以外のものは全部實現されないことに確定した、從つて財務局、視學官、監察官、民政支署の昇格小學校教師の待遇改善**事務官**一名增、殖産土木の未着手事業に關聯する官有林野整理等は行き詰りとなつたのである

主將を殘して滿鐵軍捷つ

◇—對關西大學劍道戰

關西大學對滿鐵劍道試合は十八日午後三時三十五分より大連滿鐵道場にて擧行、試合前山本滿鐵劍道部監事より關大選手に對し簡單な挨拶があり、直に試合に移つた、初めのころ關大軍は森本二段の健闘に優勢を持したが滿鐵小島三段の奮戰物凄く關大三人を薙倒し大將一人を殘して滿鐵軍の勝利に歸す（審判大連警察木村教士、三本勝負）成績左の如し

關大	滿鐵
○青木二段	山本初段
同	○大園二段
高橋初段	○同
○森本二段	同
○同	篠原二段
副將沖島三段	○副將小島三段
主將中島三段	○同
（不戰）	主將竹下三段

試合後兩軍は互ひに猛烈な地稽古を行つた、なほ關大軍十九日の日程は午前九時より大連警察本部と午後三時より旅順警察本部とそれぞれ試合を行ふ管であると

滿鐵の語學檢定豫備試驗

滿鐵の本年度語學檢定豫備試驗は左の如く大連ほか廿二ヶ所で施行されることになつたが、受驗希望者は八月十日までに願書を提出されたいと

試驗期日、九月八日（日曜）、華語、日本語は午前九時より、露語は午後一時より何れも二時間

これはまた珍漁船

舳は純和船で艫は戎克式

老虎灘靜ケ浦い入江の砂濱に照りつける太陽の直射を浴びながら昨今の炎天下に多數の船大工が槌音高く同型の大漁船二隻をまつ黒くなつて新造してゐる、この船の頗る變つて人目をひく點は船體上半分は從來の支那戎克に見ない純然たる和船で、下半分即ち艫の方は支那戎克の中でも特に珍しい櫓式で、一見恰も元寇の戰ひの際蒙古軍が乘つて來た錦繪に見るものと同じであることだ、これは小崗子の劉聚興の考案で新造する漁船だと云ふ【竣成を急ぐ珍漁船】

名古屋市の防空演習

火蓋を切る

【名古屋十九日發電】名古屋市防空演習第一日は午前五時頃より乙國（攻擊軍）の根據地たる三方ケ原飛行場と甲國（名古屋防禦軍）の飛行根據地小牧原より相互に偵察機を飛ばし敵機の來襲に備へる內午前十時敵機六機三方面より名古屋市を襲ひ盛んに爆彈を投下し市內各所の高射砲之に應戰し小牧原より十七機之を邀擊するなど大戰亂となり市內各所に火災起り（假裝）市民自衞隊の消防演習が行はれた尚二回目の襲擊には毒瓦斯演習を爲し今夜は燈火管制をして敵の夜襲に備へる管である

テンポの早い鮮かな鳥人振り

女流飛行家李貞喜孃が舞踊家に鞍替へ

「京城特信」半島が生んだ女流飛行家としてかの朴敬元孃と共に萬丈の氣を吐いてゐる京城府樓上洞七五李貞喜孃は本年七月五日目出度く二等飛行士の免狀を貰つたが女流飛行家ではそれ以上進級が不可能な上に汝矣島飛行場では飛行機も貸してくれないので晴の鄕土飛行も行へぬ不遇さに業を煮やしたものか今度は毅然として石井漠の舞踊研究所に入つて專ら舞踊研究といふ急轉振で親近者の膽を拔いた、尤も本人は「飛行界を斷念はしません徐ろに機會を俟つて大いに飛躍する考へです」と語つてゐるさうだが、愈上京するといふ七月廿五日が彼女の生涯にどうした意味の記念日になるか興味を以て見られてゐる

小學生が放火し强盜ごつこ

拳銃强盜教員を眞似て

【德島十八日發電】本月十五、六兩日德島市佐古尋常高等小學校に放火したものあり德島署にて嚴探の結果、同校生徒佐古町村山留一が例の拳銃强盜教員松下國雄を倣らつて强盜に化け友達數名を巡査や捕索隊となし、一は追跡を逃れるため塵箱や紙屑に放火し立ちのぼる煙で其の捜査隊の眼を晦まし逃走する泥坊遊びをなした結果と判明留一を取り調べ中

按摩さん組合が規則制定の請願

關東廳の衞生課へ

無資格者無免許者が多いと

鍼灸、按摩術に關する規程は警察署長の許可主義による取締規則以外には一貫した規則が滿洲では施行されてをらないので大連の鍼灸按摩業組合では

（一）無資格者が內地其他から來滿し營業をすること

（二）支那人の無免許可者が多數あり危險である

といふ二點を理由として關東廳衞生課に規則を制定されたいと請願したが滿洲では內務省令に準據した取締規則が施行されてゐるので各地警察署にては矢張二ケ年以上**確實な**師匠に就き修得した者には許可することになつてをり、從つて無免許支那人及び無資格者の取締に關しては充分注意してゐるが之がため有資格者の特權が幾分侵害されることは免れぬらしい、右につき谷警部は語る

大連鍼灸按摩業者が申請して來た點は諒とするが當局としても缺陷のあることは認めてゐるので、何れにしても一定の規則を制定する必要がある、然し無免許支那人又は無資格云々と云ふ理由は第二として**師匠の**許で二、三ケ年も修業したものが完全な資格を得ることに關して試驗制度規則が施行されてをらぬため困るとなれば勿論考へねばならぬであらう、現在では腕が立つても試驗は內地で受けねばならぬのであるから資格者の認可を受けることの不便はある

自轉車の臨時檢査

交通事故頻發に

最近大連に於ける交通事故の傾向を見ると自轉車に依る衝突件數が漸次增加の模樣であるが、之れが原因はつまり不完全な構造裝置の車を平氣で使用してゐる結果で不意の事變に際し臨機の操縱、停車或は信號か意の如くならない爲めで、大連署では之等の原因を除き交通事故の防止を圖る爲め來る二十六日より向ふ三週間の豫定で自轉車の臨時檢査を施行する事になつたから一般所有者も進んで檢査を受けるやうにして貰ひたいと

夏の港風景

太公望の舢舨取締りに「手を燒く水上署」

夏の涼風に身心を委ね竹竿一本握りの興味は一度經驗したものには忘れられない魅力がある、從つてあいなめ、ちぬ、めばる等を漁るも近頃の港風景の一つであらう、釣魚シーズンに入つて埠頭防波堤外から北大山通り海岸より一文字一帶にかけて鱚、鱸釣魚ファンの舢舨が殺到してどの舟も〳〵面白い程釣り上げてゐる隙に夜釣禁漁區域の防波堤內に侵入し航行船舶の交通妨害となる向きも少くないので當地水上署でもこれが取締に手を燒いてゐる

國大に敗る

五A—〇で

安東滿俱軍

【安東特電十八日發】歸國の途にある國大對安東滿俱の野球試合は十八日午後三時卅分より驛前グラウンドにて開始、滿俱終始振はず五A對零にて敗る

朝鮮總督府四階から飛降り厭世自殺

囑託が神經衰弱から

【京城十九日發電】本日午後二時總督府廳舍內ホール東側四階廊下より飛び下り慘死した事件あり取り調べの結果總督府總務課囑託今田貞雄（三七）と判明した、原因は神經衰弱から厭世自殺を圖つたものらしい

下手な自轉車乘り

通行人に衝突負傷さす

十七日午後七時ごろ大連春日町三稻妻タクシー前車道に於て自轉車に乘り逢坂町より進行して來た山縣通り三八帝國通信社配達夫陳玉海（二三）は步行中の逢坂町六三貸座敷花園抱藝妓小茶良こと濱松ヒデ（二〇）を右側から突き飛ばし右手および頸部に治療二週間を要する打撲傷を負はせた

◇

同日午前十一時四十分ごろには信濃町一三四番地前に於て西崗街一一五兩替業趙林三かた店員董永豐（二〇）は自轉車に乘り信濃町郵便局方面から疾走中、橫合より飛び出した信濃町一三八笹川洋服店かたボーイ呂兆甌（一七）に衝突しこれを突き倒して肩の內部に約一週間を要する打撲傷を負はせた

乘客は全部救助さる

青島沖で坐礁のドイツ汽船

獨逸ロイド汽船所有ダブリッザー號（九千噸）が去る十六日深更濃霧のため青島沖合で坐礁した事は既報の如くであるが、十八日入港の奉天丸も青島入港の際同じ地點において濃霧に襲はれ、霧の霽れ間に黃色の煙筒の大きな船が小公島沖で船首を岸礁に乘りあげてゐるのを見たので、直に同船より救助の必要の有無を問ふと「乘客は全部救助された」旨の返電があり、なほ遭難現場には米國潛水母艦及び青島公安局の船が警戒してゐたと

友を救はんとて自分も死す

【静岡特電十八日發】靜岡縣富士郡富岡村丸金製紙工場で十七日午後六時半頃作業中の女工鈴木ヨシ（一七）が誤つてシャフトに捲き込まれ悲鳴を揚居るを救はんとして同じく女工の廣谷ミキ（一九）も之に捲き込まれ兩人とも死亡した

別府技師

長官を訪ふ

小川殖產課長は水產會事件に關し木下長官に經過を報告する處があつたが、別府技師は十八日午後二時出廳し長官に挨拶をした、別府氏は引責辭職の模樣であると見られてゐる

濱松機歸還

【京城特電十八日發】十八日朝五時より同三十分迄に平壤出發歸還飛行の途に就いた爆擊機四機は同八時三十五分前後して大邱を通過したが、機より城東飛行場へ「十時三十分各機無事海峽を通過した」との無線報告あり輕爆機は太刀洗に着陸した

藤內家不幸

大連券會計主任藤內喜市氏長女衣子（二五）は病氣のため鄕里別府市外龜川に於て療養中十八日午後四時二十分死去十九日午後五時聖德街一丁目一五九自宅に於て追悼會を行ふと

淸水選手歡迎會

滿鐵硬球部では二十一日中央公園コートに於ける淸水善造氏歡迎試合終了後直に西園亭に於て淸水氏の歡迎晚餐會を開催の管で出席希望者は二十日迄に體育協會又は滿鐵硬球部三浦氏宛申込まれ度いと

庖丁を振ひ車夫の妻を脅迫

犯行後十時間で捕はる

常陸町の華人强盜

十九日午前二時ごろ大連常陸町五六人力車夫趙義かたへ年齡廿四、五歲、一見苦力風體の支那人强盜現はれ折柄留守中の妻趙氏へ對し刄渡り五、六寸の庖丁を突き付け「金を貸せ」と脅迫の上、枕下に隱して置いた白布包の大洋二十圓を强奪し逃走した、同十時ごろ附近日本橋派出所ではこの屆け出に接し捜查中、同日午後零時十分ごろ與町八五蔡東日報社裏に一名の怪支那人が潛伏し居るを發見、針木、小泉兩巡查が協力し格鬪の上

けふのラヂオ

昭和四年七月二十日（土曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後三時五十分　野球連盟放送（滿俱對關大二回戰）

自午後七時三十分

一、ニュース

二、趣味講座　童謠舞踊基本練習　櫛木龜二郎

三、講話（夏休中に於ける小學兒童の保護者へ）嶺前尋常小學校長楠原參蔵

四、ハーモニカ（二重奏イ、ロングアゴーロ、荒城の月、三重奏ラ、パロマ）グレートダイレンハーモニカソサイテイ選手　増本京平、田崎英雄、小川良平

五、浪花節（內付面）木村近衞

六、支那唱（十八扯）唱劉金順、師付王維泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

第參拾貳回決算公告

貸借對照表（自昭和四年一月一日　至昭和四年五月卅一日）

貸方（負債之部）

科目	金額
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
償却積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
社員退職資金	[illegible]
身元保證金	[illegible]
證券借	[illegible]
擔保借金	[illegible]
取引店借	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
遞東勘定	[illegible]
當期純益金	[illegible]
計	一、一四二、五八九・〇二

借方（資產之部）

科目	金額
土地建物	[illegible]
機器	[illegible]
貯藏品	[illegible]
有價證券	[illegible]
振替貯金	[illegible]
銀行貸借	[illegible]
支社支局勘定	[illegible]
新聞未收金	[illegible]
廣告未收金	[illegible]
印刷未收金	[illegible]
假拂金	[illegible]
受入手形	[illegible]
金銀有高	[illegible]
奉日勘定	[illegible]
紳士錄勘定	[illegible]
計	一、一四二、五八九・〇二

株式會社 滿洲日報社

愛慾の窓（44）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

金（四）

小日向台町の高台の中腹に、不細工なボール函を伏せた樣な恰好で、二階建の西陵アパートメントは建つてゐた。草野久彦はそこの二階の一室に、獨身生活の簡易な下宿生活を送つてゐた。

昨夜、邦樂座の「妖花アラウネ」を中途で逃げ出すと、彼は苛々しながらも、自らすゝんで小森と仁科美知子の危險な間へ飛び込む勇氣のなかつた自分の弱氣に愛想をつかして、餘り飲ける口ではなかつたけれども、半ば自棄的な氣で、カフエーを二三軒歩いた。まるで手に負へない泥醉漢がさうであるやうに、彼は緒子を失うて以來、バアやカフエーの梯子飲を習慣としてゐた。知らず識らず、亡き初戀人の面影を求めて、それからそれへと知らぬカフエーの扉を押て歩き廻つてゐるのであつた。そしてこの悲しむべき習慣から、久彦はもう當分は逃れることが出來ないやうな氣がして、それがまた二重に彼を悲しませるのだつた。昨夜も、住居の西陵アパートメントへ戻つて來たのは何時頃であつたらうか、彼はそれほど飲んでもゐなかつた割には、いつもよりひどく心身共に疲れて、上衣だけを向うやら脱ぐと、そのまゝ寢床へ倒れ込んでぐつすりと寢込んでしまつたが、朝、窓際にかあつとあたつてゐる陽の光に眼を醒すと、咽喉の渇きが、急に感じられて來たので、ふらくと床を離れ、小卓の上の水差に手を伸ばすと、そこに一通の手紙を發見したのである。

取上げてみると、帝國ホテルにゐる友永からの速達だつた。大分部厚な内容の角封筒だつた。いふまでもなく、昨夜のうちに屆いてゐたものにちがひない、昨夜戻つて來た時に、既にその小卓の上に置かれてあつたのだらうが、氣が付かなかつたものと見える。御直披としてある文字も物々しい。久彦は額にうるさくかぶさつて來る髮を掻きあげると、どかりと椅子に腰を落して、友永からの手紙を讀んだ。

それは久彦も豫期してゐたとほり、小森英輔の身元調査の一件に對する督促であつた。もう約束の期日だから、この間から他の所用もあるにかゝはらず、いつ何時外からの電話があるか、或ひは來訪を受けるかも知れんと思つて、外出もせず心待ちにしてゐたのにとか、何度も社の方へ電話を掛けても通じないので、お宅の方へ二度も掛けたが、もうそろく、お歸りの時分ですが……といふ返事で君は留守だつたとか、諄々と恨み言を連ねた後に、さてとペンを改めて友永は次のやうに書いてゐた。

——君の方は一向に要領を得させてくれなんだが、ふとしたことから小森英輔君の素行上、ひんしゆくすべき事實を知り得たので、僕はむしやくしやしてゐるんだ。君に會ひたい。會つて君の意見も伺ひたい。勿論小森に關する事件は、後文子には絶對に知らさずにゐる。知つたら彼女は嘆くだらう、非難するだらう、といふのは、僕の察するところでは、妹は心ひそかに小森を愛してゐるらしいから……

久彦は、脣を歪めて暗い笑を洩らした。

あの美しい——亡き初戀の女に似てゐる人が、小森に愛を寄せてゐる、さう思ふと、久彦は憂鬱だつた。それに手紙の文面からも察しられるが、何か事件が生じたので、友永も困惑してゐるらしい。

よし、今から訪ねて行つてやらう……と、久彦は痛む蟀谷を指でおさへながら、力無く椅子から腰を擡げた。と、そこへ受附のばあさんに案内されて、久彦には思ひも設けなかつた美知子が姿を現したのである。

「……お！これはく！さ、何卒おはいり下さい！」

滿日文藝

滿日柳壇

『扇風機』 高橋月南選

扇風機向け直された客が來る　奉天　迦樂
紹羽織の背一ぽいに扇風機　撫順　卓坊
客人も手傳つてゐる扇風機
扇風機前を小猫は丸く遁け　大連　桂馬
外交員一と息入れる扇風機　大連　久代
香水の自慢扇風機へすがり　旅順　辰雄
社長室扇風機だけ同じ型　旅順　葩水
孫兒が脊中でうける扇風機　金州　背月
大廣間電扇だけの響の音　大連　農夫
地下室は扇風機丈の風で生き　旅順　天幕
暑さから欲つたやうに扇風機　春川　鶯樓
買ひに來た店に嬉しい扇風機　旅順　夏山
扇風機得意で語る課長の子
顏なじみ女給が向ける扇風機

新刊紹介

▲西陲哀話血は麗らかに躍る（新納元夫著）惡鬼羅刹のやうな蠻君に仕へる姫百合の如き少女あり、一國一城の危難を救ふ少年なるに加へて、蘭の花の如き女人に從ふ若侍二十人の殉死の壯烈、一國の悲慘な最後、やがてそれ等の魂魄が荒涼たる地上に蓼草の姿を現はし、力に對する正義の抗爭人情風俗の千變萬化波瀾重疊を極む。因に著者は滿洲が生んだ文人にして豪放流麗の文は熱あり氣品あり近來の快著たるを失はぬ（定價二圓三十錢稅一圓八十錢大連市敷島町大連商工會議所内深谷英一宛）

▲アラビアンナイト（中島孤島譯）世界童話全集中の一冊としてレーンの英譯本中から代表的な面白いものゝみを選み多數の挿畫を入れて話は數よりも一つ一つを出來るだけ詳しく譯してある點が特色でたまらぬ裝面白く鋪裝もされて大人にも大に歡迎さるゝであらう（非賣品）（發行所東京市神田牛込區若松町五四近代社）